

大津市庁舎整備に関する 市民アンケート調査報告書

令和4年9月

大津市

目 次

1. 調査実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 各設問の回答傾向（まとめ）・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 庁舎整備の方向性に対する考察・・・・・・・・・・・・ 8～9
4. 各設問の回答詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～96
5. （参考）アンケート用紙

1. 調査実施概要

● 調査の目的

庁舎整備基本構想の策定に向けて具体的な検討を進めていくにあたり、市民の意見を反映することは当然のこととして、市民の理解を深めながら進めていくことも重要です。

そこでアンケートを実施し、『市役所や支所の利用状況』、『市役所庁舎の整備の必要性、重視すること、求める機能』、『市役所庁舎の移転候補地』、『現在の市役所庁舎（本館・別館）』について意見を求めるとともに、理解度の確認も行い、基本構想の策定に留めず、今後の庁舎整備全般の進め方の参考とします。

● 調査の実施要領

実施期間 令和4年7月11日～31日

対象者 18歳以上 / 無作為抽出で1万人
※人口の学区、年齢比率を適用

回答方法 郵送 / インターネット

調査内容

1. 基本事項
(年齢、居住年数、居住地域、職業)
2. 市役所や支所の利用状況
(過去の庁舎利用状況、庁舎についての不満・不便を感じる点など)
3. 市役所庁舎整備の必要性
(必要性、整備において重要視する視点や機能)
4. 市役所庁舎の移転候補地について
(立地場所について重要と考えること、移転候補地)
5. 現在の市役所庁舎（本館・別館）について
(本館、別館の建物の今後のあり方)
6. 自由意見
(庁舎整備に対する意見・提案)

● 調査票回収結果

調査票配布数	回答数 (※)	回答率
10,000	3,880	38.8%

(回答数 : 郵送 2,528 / インターネット 1,352)

※回収調査票には無回答の設問を含むため、各設問の回答総数は回収数と一致していない。

2. 各設問の回答傾向（まとめ）

● 回答者の属性

年齢（問１）

- ・ 全体：70 歳以上 29.5%、60 歳代 19.2%と 60 歳以上が多くを占めている。
- ・ アンケート回答率：年齢層が高いほど回答率が高い。
- ・ 居住地区別：北部・南部は 60 歳代・70 歳代が他地区より多い。
- ・ 居住期間別：居住期間が長いほど年齢層が高い。

居住地区（問２）

- ・ 全体：居住地区ごとで概ね均等に回答されている。
- ・ アンケート回答率：概ね同じ水準の回答率となっているが、南部は回答率がやや高い。

居住期間（問３）

- ・ 全体：20 年以上が 71.0%と最も多く、10～20 年未満が 15.1%と次いで多い。
- ・ 年齢別：20 歳代・30 歳代・40 歳代は 10 年未満の割合から転入者が多い世代と言える。

職業（問４）

- ・ 全体：会社員 29.8%が最も多く、無職 25.2%、パート・アルバイト 15.1%が多い。
- ・ 年齢別：18・19 歳は学生が最も多く、20 歳代から 50 歳代までは会社員が最も多い。60 歳代・70 歳以上では無職が最も多い。

● 市庁舎の利用について（交通手段、施設面や環境面での不満）

利用の際に一番よく利用する交通手段（問７）

- ・ 全体：自家用車が 72.4%と最も多く、京阪電車が 13.9%と次いで多い。
- ・ 居住地区別：中部は自家用車の割合が他地区より少なく、自転車が多い。
- ・ 居住期間別：1 年未満では自家用車の割合が 50.0%と他期間より少ない。

施設面や環境面での不満・不便（問９）

- ・ 全体：「駐車スペースが狭い」が最も多く 58.1%、次いで「目的の窓口の場所が分からない」が 48.7%、「庁舎内が暗い・汚れている」が 43.9%と多い。
- ・ 年齢別：「乳幼児向け設備が足りない」は 30 歳代が他年齢より多く、駐車場・バリアフリー関連・プライバシーなどの 20 歳代未満の不満が少ない。
- ・ 居住期間別：「一つの窓口で要件が済まない」は 1 年未満・1～5 年未満で多い。

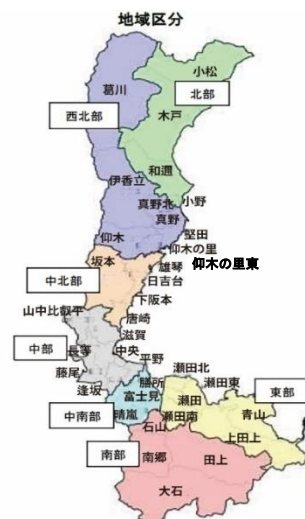
● 市庁舎の訪問用件

直近１年での市役所利用（問５）

- ・ **全体**：「ある」が 60%程度を占めている。
- ・ **居住地区別**：中北部・中部で「ある」が他地区より多い。
- ・ **居住期間別**：1 年未満では「ある」が他期間より多い。

市役所利用者の利用頻度（問6）

- ・ **全体**：「ほとんど来ない」が 49.9%で最も多く、「年に 1 回～2 回」が 42.4%で多い。
- ・ **年齢別**：年齢層が若いほど「ほとんど来ることはない」の割合が多い。
- ・ **居住地区別**：中北部・中部では「毎年 1～2 回程度」の割合が他地区より多い。
- ・ **職業別**：「毎年 1～2 回程度」の割合は自営業・自由業では 60%程度、農業・漁業・林業では 70%程度と高く、それ以上の頻度の割合も多い。



- 北部（小松、木戸、和邇、小野）
- 西北部（葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東）
- 中北部（雄琴、坂本、日吉台、下阪本、唐崎）
- 中部（滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央）
- 中南部（平野、膳所、富士見、晴嵐）
- 南部（石山、南郷、大石、田上）
- 東部（上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田南、瀬田東）

市役所の訪問用件（問 8）

- ・ **全体**：マイナンバーカードが 64.9%、戸籍・住民票・印鑑証明が 31.3%と多い。
- ・ **年齢別**：18・19 歳ではマイナンバーカードが 93.1%と他年齢より多く、30 歳代・40 歳代では保育・子育て支援が他年齢より多い。
- ・ **居住地区別**：戸籍・住民票・印鑑証明は、中部で他地区より多く、北部・南部・東部で他地区より少ない。
- ・ **居住期間別**：マイナンバーカードは 1 年未満で他期間より少なく、戸籍・住民票・印鑑証明は 1 年未満・1~5 年未満で多く、保育・子育て支援は、1 年未満・1~5 年 23.0%・5~10 年が多い。
- ・ **職業別**：マイナンバーカードは学生で他職業より多く、戸籍・住民票・印鑑証明は会社員・公務員で多く、税金関係は自営業・自由業、農業・漁業・林業が多い。国民健康保険・国民年金は自営業・自由業、無職が多い。自治会や地域活動は農業・漁業・林業で多い。
- ・ **利用頻度が月 1 回以上ある方の利用目的**：マイナンバーカードの割合が全体に比べて少なく、マイナンバーカード以外のすべての利用目的が多い。
- ・ **「仕事などの用件」の主な訪問部署・用件**：利用頻度が月 1 回以上では介護保険課・建築指導課・戸籍住民課、保育幼稚園課が多く、年 1~2 回未満では教育委員会・廃棄物減量推進課・生涯学習課が多い。

支所ではなく市役所を利用する場合の理由（問１０）

- ・ 全体：「支所ではなく市役所でしかできない目的があった」が 78.5%と最も多い。
- ・ 居住地区別：中部は「市役所でしかできない目的があった」が他地区より少なく、「支所でできることが不明で市役所のほうがよいと思った」が多い。
- ・ 居住期間別：１年未満・１～５年未満は「市役所でしかできない目的があった」が他期間より少なく、「支所でできることが不明で市役所のほうがよいと思った」が多い。
- ・ 「支所ではなく市役所でしかできない目的があった」方の、市役所の利用目的：マイナンバーカード、戸籍・住民票・印鑑証明が多く、全体の傾向と大きな差はない。

● 支所・デジタル化の利用、今後の市役所・支所の役割

直近１年での支所利用（問１１）

- ・ 全体：「ある」が 71.3%を占めている。
- ・ 年齢別：「ある」が 18・19 歳、20 歳代では他年齢より少ない。
- ・ 居住地区別：「ある」が中部では他地区より少ない。
- ・ 居住期間別：「ある」が 1 年未満では他期間より少ない。

利用した支所（問１１）

- ・ 居住地区別：北部・西北部・中北部・中部・中南部・東部では居住地の支所を大半が利用しているが、南部では中南部・南部の支所に他地区より居住地以外に分散している。

市役所ではなく支所を利用する場合の理由（問１２）

- ・ 全体：「最寄りの支所で用件が済むから」が 93.4%と最も多く、次いで「市役所は遠くアクセスしづらいから」が 30.7%と多い。
- ・ 年齢別：70 歳以上では「最寄りの支所は相談しやすいから」が他年齢より多い。
- ・ 居住地区別：中北部・中部では「市役所は遠くアクセスしづらい」が他地区より少ない。
- ・ 居住期間別：1 年未満では「最寄りの支所で用件が済むから」が他期間より少ない。

デジタル化した市民サービスの利用（問１３）

- ・ 全体：「利用していない」59.5%が最も多く、次いで「利用している」が 20.2%と多い。
- ・ 年齢別：「利用している」は 30 歳代・40 歳代で最も多く、高い年齢層になるほど少ない。若年層は市民サービスを利用する機会がほとんどなく、利用が少ない。
- ・ 職業別：会社員、公務員、自営業・自由業では「利用している」が他職業より多い。
- ・ 回答方法別：「利用している」「今後利用してみたい」の割合はウェブ回答が多く、逆に「利用していない」の割合は郵送回答が多い。

(デジタル化した市民サービスの利用者) 市役所や支所へ行く回数 (問 14)

- ・ 全体: 「減った」 50.4%、「あまり変わらない」 49.6%とほぼ同数である。
- ・ 居住地区別: 北部では「減った」が他地区より多い。
- ・ 職業別: 家事専業では「減った」の割合が他職業より少ない。
- ・ 回答方法別: 「減った」の割合はウェブ回答が郵送回答よりやや多い。

市民サービスのデジタル化により、市役所や支所へ行く回数が減ることへの期待 (問 15)

- ・ 全体: 「市役所や支所へ行く回数が減る」が 37.5%と最も多く、次いで「市役所に行かなくても支所でできることが増えればよい」が 37.0%と多い。
- ・ 年齢別: 若くなるほど「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が多く、70 歳以上は「市役所に行かなくても支所でできることが増えるとよい」が他年齢より多い。
- ・ 居住期間別: 短いほど「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が多い。
- ・ 職業別: 会社員、公務員、学生は「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が多い。
- ・ 回答方法別: 郵送回答は「市役所に行かなくても支所でできることが増えればよい」がウェブより多く、ウェブ回答は「市役所や支所へ行く回数が減る」が郵送より多い。

● 新しい庁舎に求められること

市役所庁舎を整備する際に重要視すること (問 18)

- ・ 全体: 「市民サービスの向上」が最も多く 71.1%、次いで「防災拠点」62.6%、「公共交通でのアクセス」56.6%、「支所との連携強化」46.5%が多い。
- ・ 年齢別: 「支所との連携強化」の割合は 18・19 歳、20 歳代、30 歳代で少ない。
- ・ 居住地区別、居住期間別、職業別: 大きな差はない。

※「支所との連携強化による市民サービスの向上」回答した方の他設問の回答傾向

- ・ 直近 1 年での支所利用 (問 11): 「ある」と回答する割合がやや多い。
- ・ 市役所ではなく支所を利用する理由 (問 12): 「市役所は遠くアクセスしづらい」と回答する割合がやや多い。
- ・ デジタル化した市民サービスに対する期待 (問 15): 「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が少なく、「市役所へ行かなくても支所でできることが増えればよい」が多い。
- ・ 市役所庁舎整備に求める具体的な機能・施設 (問 19): 「市役所に行かなくても、支所やオンラインで用件が済むような環境整備」の割合が多い。

市役所庁舎を整備する際に求める具体的な機能・施設（問１９）

- ・ 全体：「支所やオンラインで用件が済む」が最も多く 53.8%、次いで「利用しやすい駐車場」49.5%、「総合窓口の整備」49.3%、「分かりやすい窓口の配置」47.6%が多い。
- ・ 年齢別：「授乳室・キッズスペース」が 30 歳代で他年齢より多い。
- ・ 居住期間別：「窓口のキャッシュレス化」が 1 年未満、1~5 年未満で他期間より多い。

● 庁舎整備の必要性

新たに庁舎を整備する必要性（問１６）

- ・ 全体：「新たに庁舎を整備する必要がある」が 84.6%を占めている。
- ・ 年齢別、居住地区別、居住期間別、職業別：大きな差はない。

（庁舎整備の必要がないと考える方）必要性がないと思う理由（問１７）

- ・ 全体：「状況は理解できるが、他の事業に優先すべき」が最も多く 48.0%、次いで「状況は理解できるが今は必要性が感じられない」22.4%、「整備を行う必要性が感じられない」21.2%が多い。
- ・ 年齢別：若いほど「整備を行う必要性が感じられない」の割合が多い。
- ・ 居住地区別：中南部は「理解できるが、他の事業に優先するほうがいい」が他地区より多い。
- ・ 居住期間別：「整備を行う必要性が感じられない」の割合は 1 年未満、1～5 年未満で他期間より多い。

● 新しい庁舎の立地

市役所庁舎を整備する際の立地場所について重要視すること（問２０）

- ・ 全体：「公共交通機関で来庁しやすいこと」が 75.4%で最も多く、次いで「車でアクセスが良く駐車しやすい駐車場が十分確保されていること」71.8%、「災害時に庁舎機能を維持できること」57.7%が多い。
- ・ 年齢別：「車でアクセスが良く駐車しやすい駐車場が十分確保されていること」は 40 歳代・50 歳代の割合が高いが、18・19 歳と 20 歳代・70 歳以上では少ない。
- ・ 居住期間別：5~10 年未満では、「車でアクセスが良く駐車しやすい駐車場が十分確保されていること」「災害時に庁舎機能を維持できること」が他期間より少ない。

※「鉄道やバスなどの公共交通機関で来庁しやすいこと」と回答した方の他設問の回答傾向

- ・ 年齢（問１）：大きな差はない。
- ・ 直近１年での市役所利用（問５）：大きな差はない。
- ・ 市役所利用者の利用頻度（問６）：大きな差はない。
- ・ 市役所利用者が利用の際、一番よく利用する交通手段（問７）：自家用車がやや少なく、京阪電車がやや多い。

候補地のエリアとして望ましい場所（問 2 1）

- ・ **全体**：皇子山総合運動公園エリアが 46.1%と最も多く、大津駅・県庁周辺エリアが 26.3%と次いで多い。
- ・ **居住地区別**：皇子が丘公園エリアは、北部・西北部・中北部・中部で他地区より多く、皇子山総合運動公園エリアは、地区の偏りなく多い。大津駅・県庁周辺エリアは中南部・南部・東部で他地区より多く、唐崎駅前エリアは北部・西北部・中北部で多い。

現在の市役所庁舎の今後の取り扱い（問 2 2）

- ・ **全体**：「新庁舎整備を機に解体する」が 67.8%と最も多い。
- ・ **年齢別**：18・19 歳、20 歳代では「新庁舎整備を機に解体する」が他年齢より少ない。
- ・ **職業別**：「新庁舎整備を機に解体する」は、公務員で他職業より多く、学生で少ない。

3. 庁舎整備の方向性に対する考察

● 庁舎整備の必要性

- ・ 年齢・居住地区・居住期間・職業を問わず「新たに庁舎を整備する必要がある」が多数を占めており、庁舎整備を具体的に推進することは妥当性があると言える。
- ・ 現在の庁舎の取り扱いは「新庁舎整備を機に解体する」が多く、解体を軸に検討を進めることも妥当性があると言える。
- ・ 多数が新庁舎整備の必要性や現庁舎の解体を認める反面、必要がないと考える方も一定程度存在するため、必要性や検討の経緯について丁寧に説明・情報発信していくことが重要である。

● 立地面

- ・ 市役所庁舎の整備の際に重視することとして多く挙げられていること、現在も交通手段として一部の方は京阪電車など公共交通機関を利用していることから、公共交通でのアクセスが良い環境とすることが重要である。
- ・ 候補地としては居住地区を問わず多く挙げられた皇子山総合運動公園エリアを軸に具体的な検討を進めることが望ましい。

● 施設面・環境面

（敷地内・庁舎外部）

- ・ 市役所庁舎の整備で求める機能・施設として「利用しやすい駐車場」が多く挙げられており、来庁する交通手段は自家用車が中心で、現在は駐車スペースが狭く駐めにくいという不満も多いため、駐車場、駐車区画の十分なスペースを確保する必要がある。
- ・ 市役所庁舎の整備の際に重視する機能として多く挙げられていることから、防災拠点としての機能の充実が重要である。
- ・ 庁舎近隣に居住する市民は自転車で来庁することも多く駐輪場の確保も必要である。

（庁舎内部の整備）

- ・ 市役所庁舎の整備で求める機能・施設として「総合窓口の整備」「わかりやすい窓口の配置」が多く挙げられている。回答者の半数が市役所の利用頻度は「ほとんどない、数年に1, 2回程度」と回答しており、庁舎が複雑で不慣れな方が多いため、行きたい部署の場所が分かりやすく表示された案内板の整備などによる情報発信や、利用頻度の高い部署は低層階の配置とするなどアクセスしやすくする必要がある。
- ・ 訪問用件はアンケートを実施した2022年7月で一時的に多いマイナンバーカードを除くと、戸籍・住民票・印鑑証明が最も多く、アクセスしやすくすることが望ましい。その他の目的では、税金の申告・国民健康保険・介護保険・障害者支援などが多い。

- ・ 居住期間が短い市民は「一つの窓口で用件が済まない」という不満が比較的多いため、効率的な対応可能となるよう部署の配置が工夫されることが望まれる。

● 機能面

（市民サービス・支所機能の維持拡充・情報発信）

- ・ 市役所庁舎の整備の際に重視することとして多く挙げられていることから、市民サービスの向上・支所との連携強化を実現することが重要である。
- ・ 多くの市民が居住地の支所を利用しており、また支所を利用する理由として「最寄りの支所で用件が済むから」を大半が挙げていることから、従来通り、支所では利用頻度の高い行政サービスを提供することが必要である。
- ・ 支所ではなく市役所を利用する方の理由は「支所ではなく市役所を利用する場合の目的があったから」という回答が多い反面、そのような方の実際の利用目的は回答者全体の利用傾向と大きな差はない。「支所でできること」の維持拡充とともに、「市役所でしかできないこと」の情報発信について検討の余地がある。

（市民サービスのデジタル化）

- ・ 市役所庁舎を整備する際に求める機能・施設として「支所やオンラインで用件が済む」ことが多く挙げられていることから、市民サービスのデジタル化の推進は重要である。
- ・ デジタル化した市民サービスの利用率は 20%程度と低い、働き盛りの 30 歳代・40 歳代が高い。利用率の低い若い年齢層が市民サービスを利用するようになる働き盛りの年齢になると、利用率が高くなると考えられる一方、現在利用率が高い 30 歳代・40 歳代が高齢者になっても利用率が低くなるとは考えにくい。このためデジタル化した市民サービスの利用率は今後高まると考えられる。
- ・ デジタル化したサービスの利用により、市役所や支所へ行く回数は減ると回答する人が 50%程度存在し、その割合は若くなるほど多い。デジタル化した市民サービスの普及が長期的には市役所・支所の業務の軽減に大きく貢献すると考えられる。
- ・ デジタル化が拡充しても市役所あるいは支所で用を済ませたいと考える層は一定程度存在するが高齢者が多いため、長期的には減少することが予見される。

4. 各設問の回答詳細

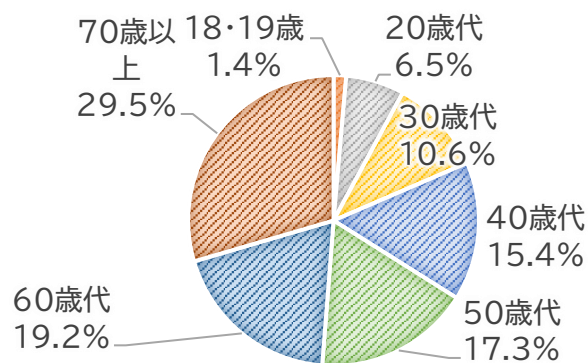
【問1】現在の年齢をお伺いします。

1. 18・19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

● 全体集計

- ・ 70歳以上 29.5%、60歳代 19.2%と年齢層が多いほど多くを占めている。

	全 体	1 8 ・ 1 9 歳	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以 上
全 体	3,874	1.4	6.5	10.6	15.4	17.3	19.2	29.5

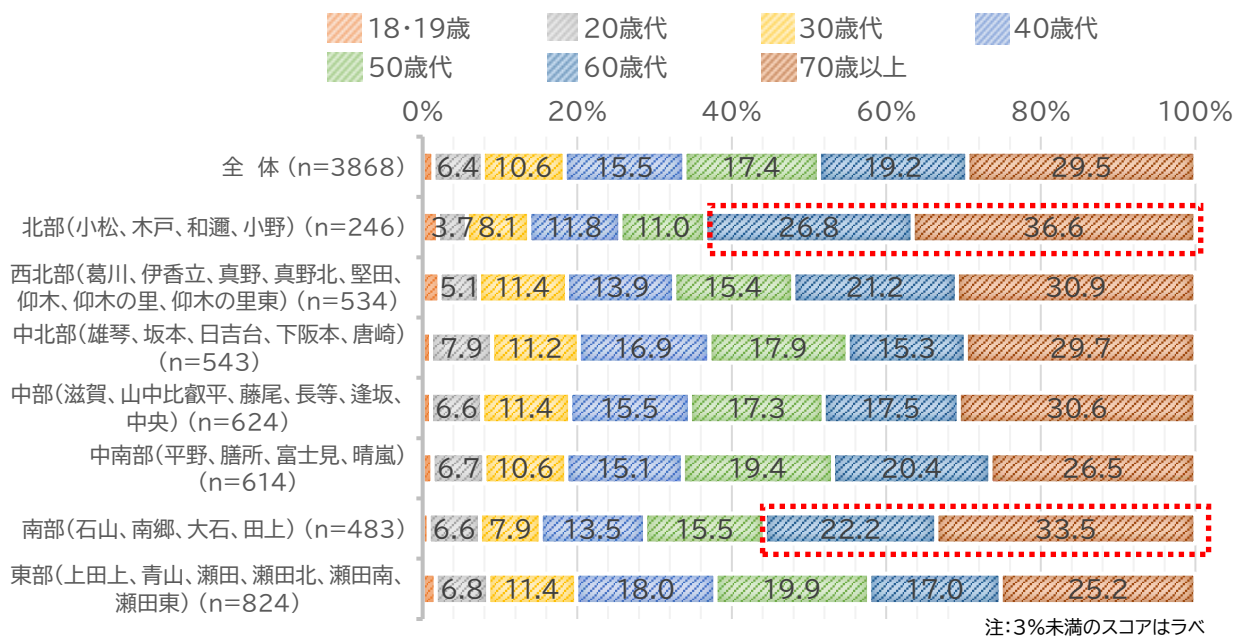


- ・ 年齢別アンケート回答率
- ・ 18・19歳、20歳代が20%程度、30歳代・40歳代・50歳代が30%台、60歳代・70歳以上が50%と、年齢層が高いほど回答率が高い。

年齢	送付数	回答数	回答率
全 体	10,000	3,867	38.7%
18・19歳	267	56	21.0%
20歳代	1,187	250	21.1%
30歳代	1,352	410	30.3%
40歳代	1,771	597	33.7%
50歳代	1,768	671	38.0%
60歳代	1,470	744	50.6%
70歳以上	2,185	1,139	52.1%

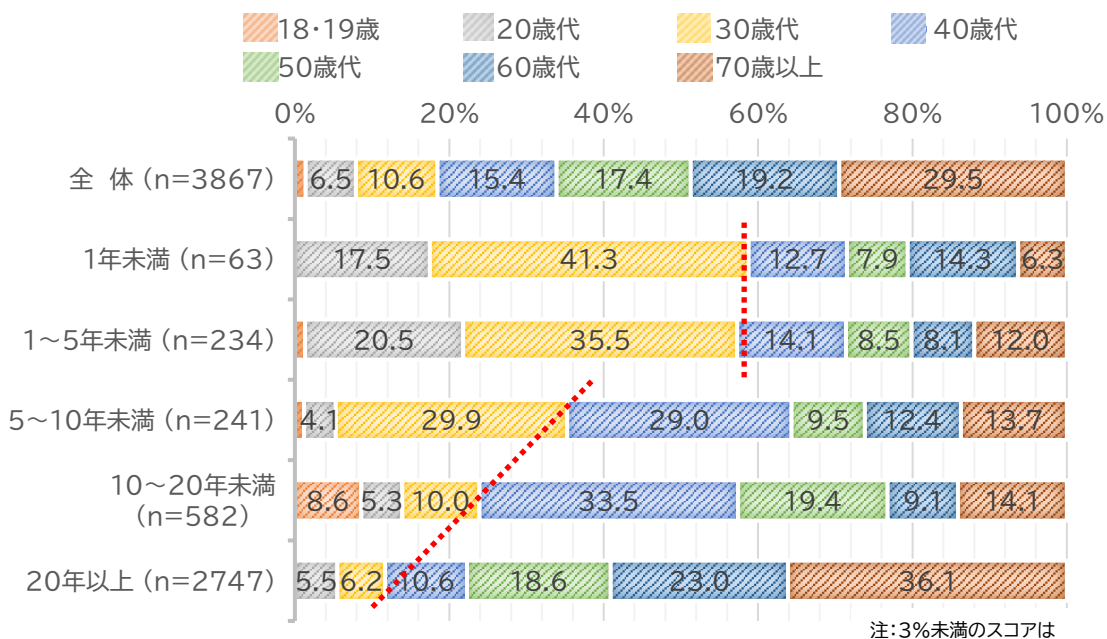
● 居住地区（問2）別クロス集計

- 大きな差ではないが、北部・南部は60歳代・70歳代が他地区より多い。



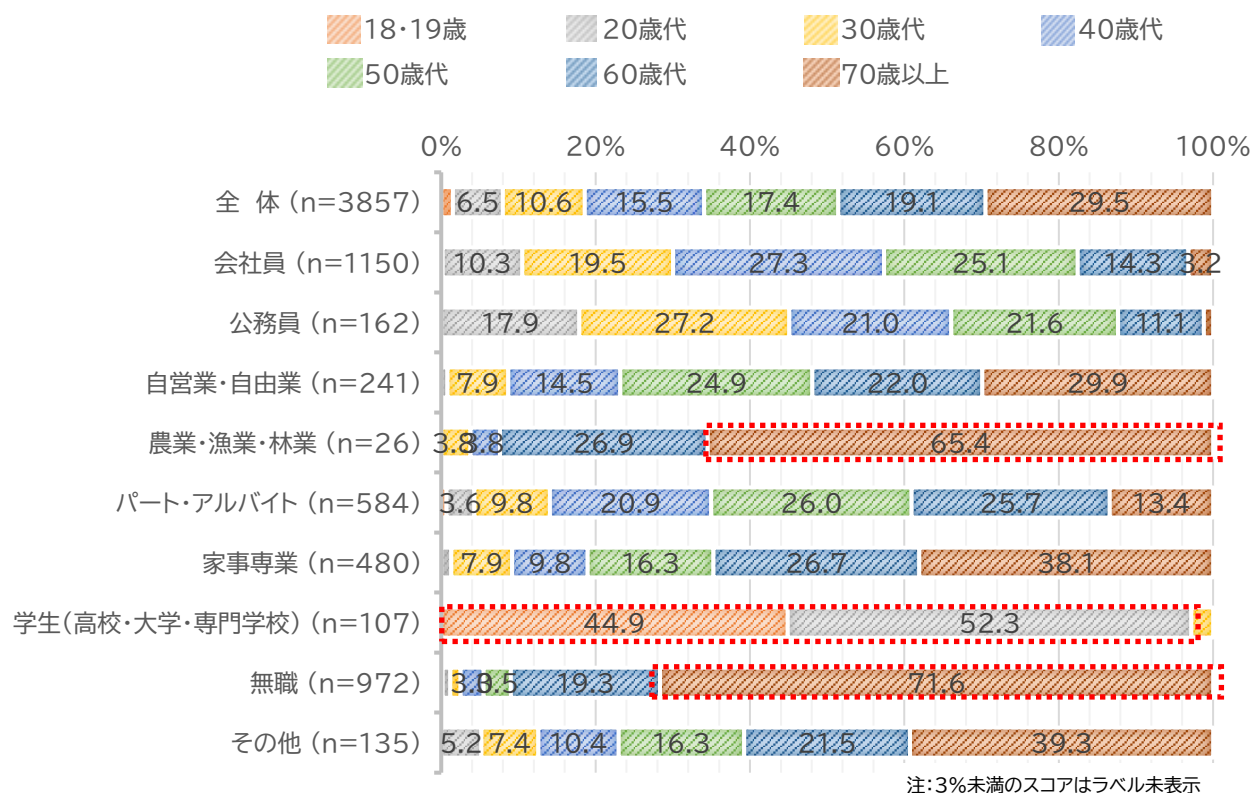
● 大津市居住期間（問3）別クロス集計

- 1年未満、1～5年未満では30歳代以下で半数以上を占めているが、5～10年未満、10～20年未満、20年以上では40歳代以上が半数以上を占めている。
- 居住期間が長いほど年齢層が高くなっている。



● 職業（問4）別クロス集計

- ・ 農業・漁業・林業、無職では70歳以上の割合が多い。
- ・ 学生は18・19歳、20歳代でほぼ100%を占める。



【問2】あなたのお住まいの地区についてお伺いします。
(いずれか1つ)

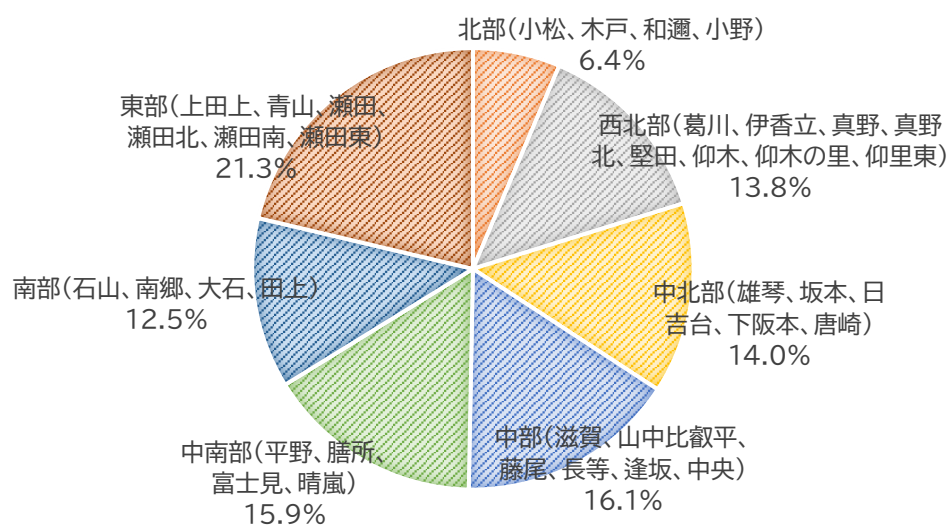
1. 北部（小松、木戸、和邇、小野）
2. 西北部（葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、
仰木の里、仰木の里東）
3. 中北部（雄琴、坂本、日吉台、下阪本、唐崎）
4. 中部（滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央）
5. 中南部（平野、膳所、富士見、晴嵐）
6. 南部（石山、南郷、大石、田上）
7. 東部（上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田南、瀬田東）



● 全体集計

- ・ 地区ごとで概ね均等に回答されている。

	全 体	北 部 (小松、木戸、和邇、小野)	西 北 部 (葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東)	中 北 部 (雄琴、坂本、日吉台、下阪本、唐崎)	中 部 (滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央)	中 南 部 (平野、膳所、富士見、晴嵐)	南 部 (石山、南郷、大石、田上)	東 部 (上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田南、瀬田東)
全 体	3,868	6.4	13.8	14.0	16.1	15.9	12.5	21.3



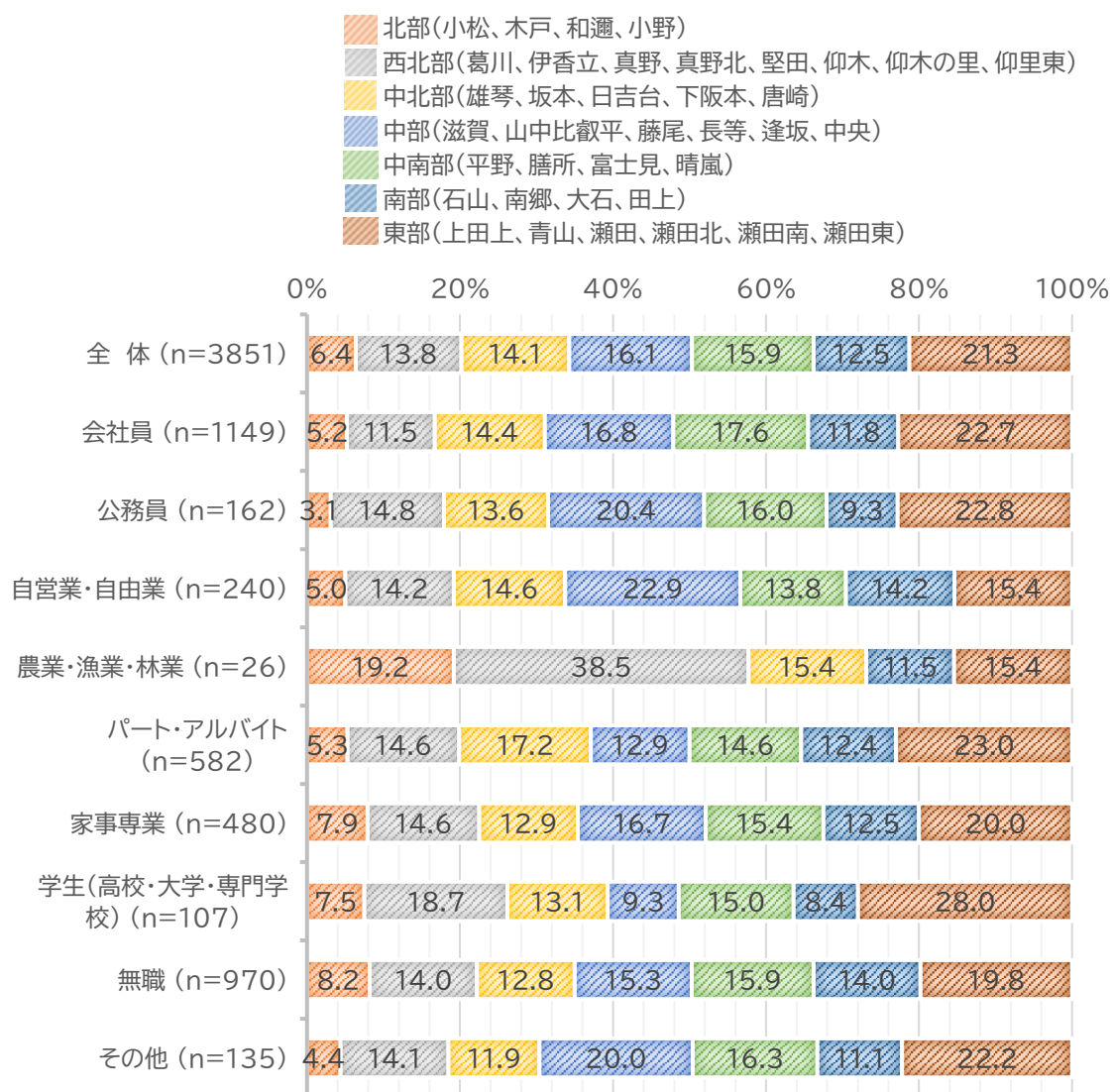
● 居住地区別アンケート回答率

- 概ね同じ水準の回答率となっているが、南部は回答率がやや高い。

居住地区	送付数	回答数	回答率
全 体	10,000	3,868	38.7%
北部（小松、木戸、和邇、小野）	637	246	38.6%
西北部（葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東）	1,444	534	37.0%
中北部（雄琴、坂本、日吉台、下阪本、唐崎）	1,415	543	38.4%
中部（滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央）	1,522	624	41.0%
中南部（平野、膳所、富士見、晴嵐）	1,768	614	34.7%
南部（石山、南郷、大石、田上）	1,012	483	47.7%
東部（上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田南、瀬田東）	2,202	824	37.4%

● 職業（問 4）別クロス集計

- 全体的に大きな差はない。



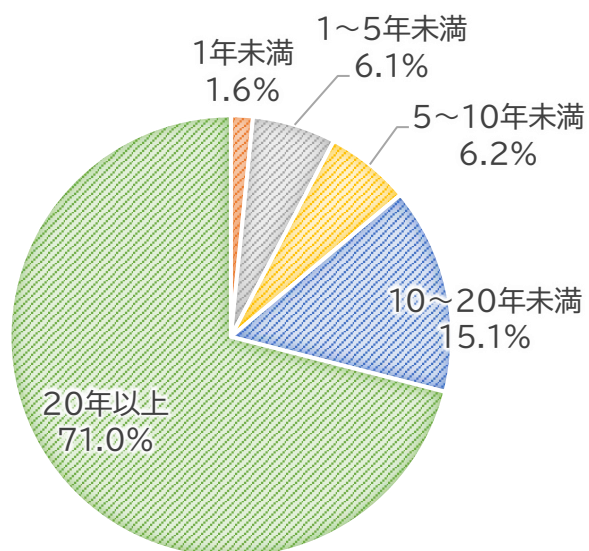
【問3】大津市に住まわれて通算何年になりますか。(いずれか1つ)

1. 1年未満 2. 1～5年未満 3. 5～10年未満 4. 10～20年未満
5. 20年以上

● 全体集計

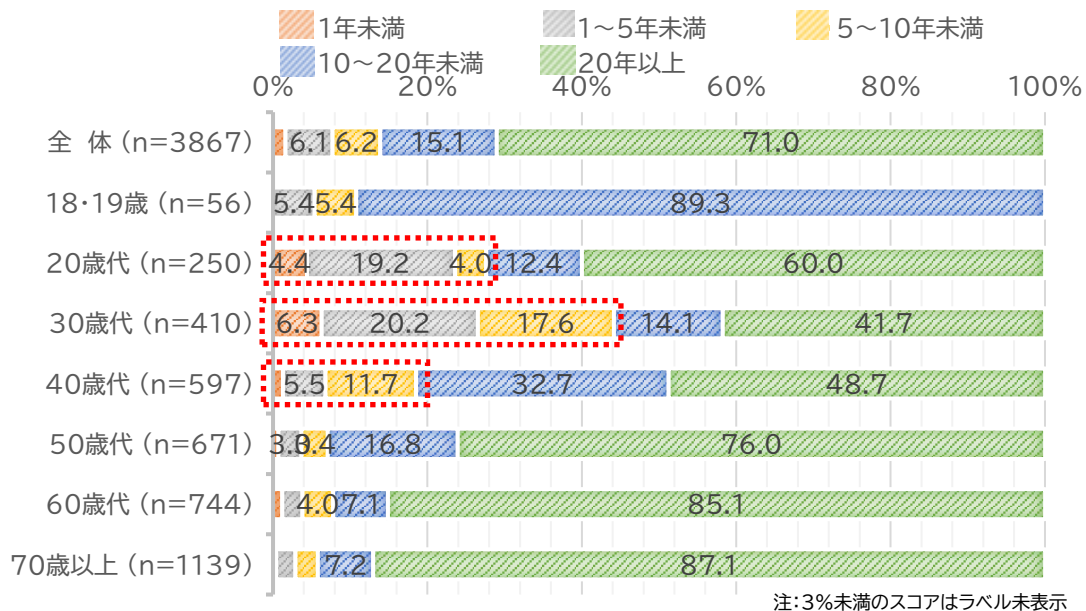
- ・ 20年以上が71.0%と最も多く、10～20年未満が15.1%と次いで多い。

	全 体	1 年 未 満	1 ～ 5 年 未 満	5 ～ 1 0 年 未 満	1 0 ～ 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上
全 体	3,867	1.6	6.1	6.2	15.1	71.0



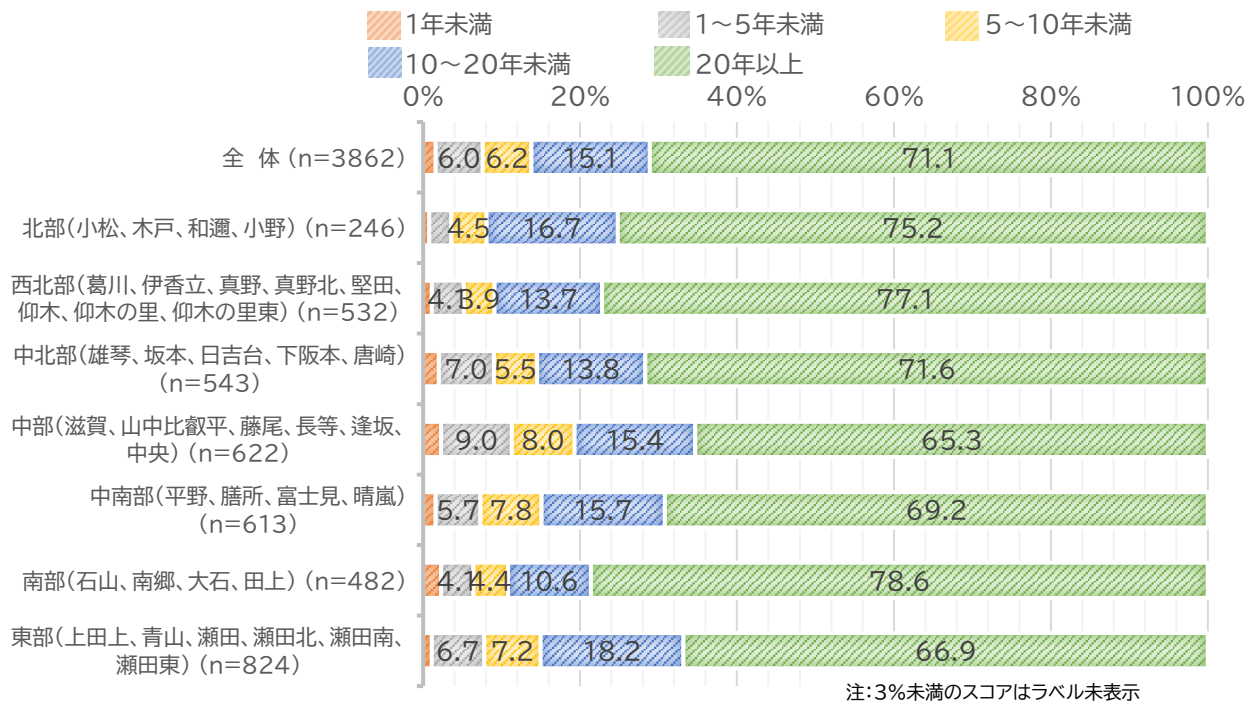
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 20歳代・30歳代・40歳代では10年未満の割合が多く、転入者が多いと言える。



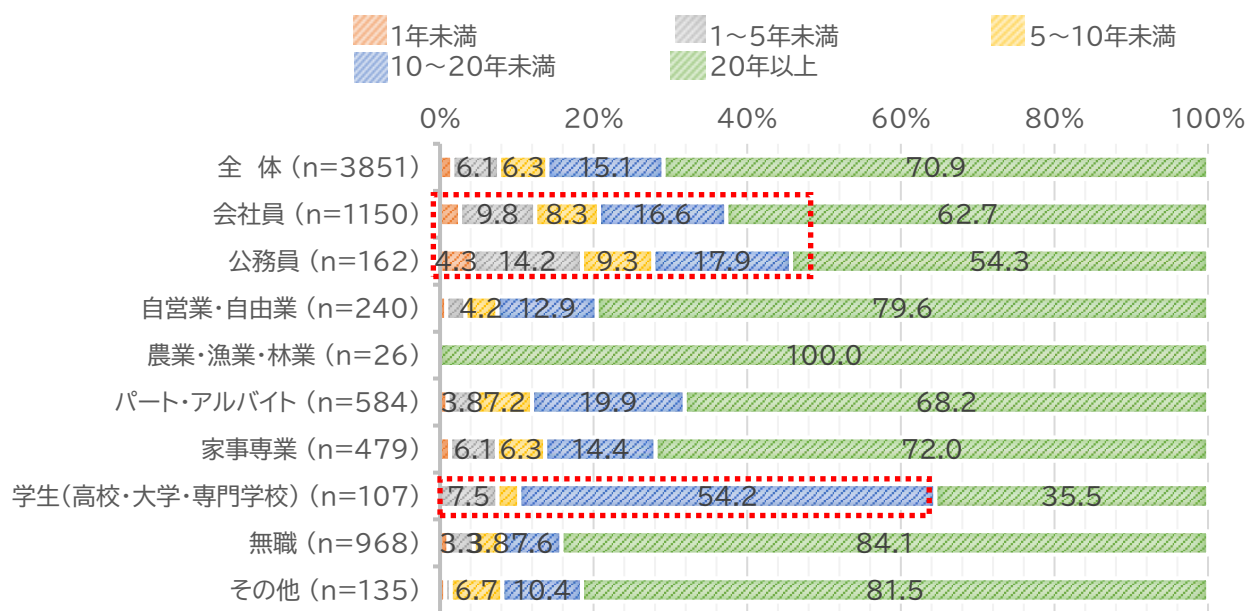
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 20 年未満の割合は学生 64.5%、公務員 45.7%、会社員 37.3%と他職業より多い。
- ・ 学生は 20 年未満が 60%以上を占める。



注: 3%未満のスコアはラベル未表示

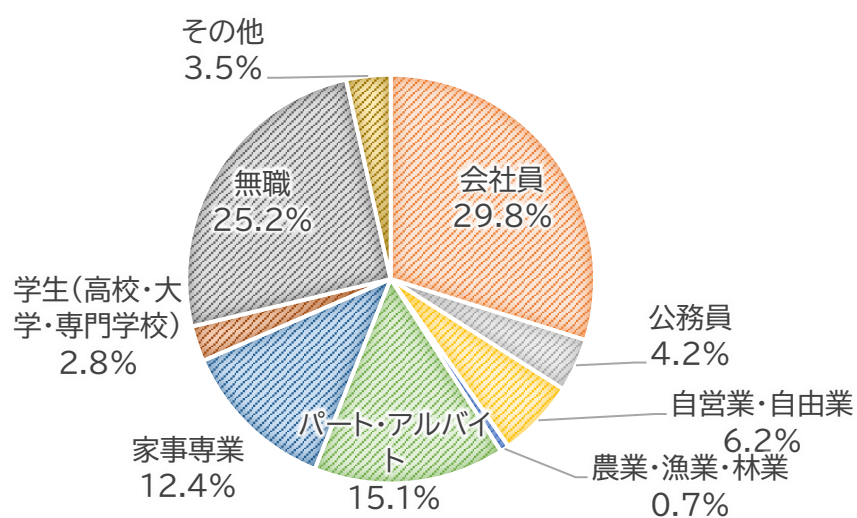
【問4】あなたのご職業についてお伺いします。(いずれか1つ)

1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業・自由業 4. 農業・漁業・林業
5. パート・アルバイト 6. 家事専業 7. 学生（高校・大学・専門学校）
8. 無職 9. その他

● 全体集計

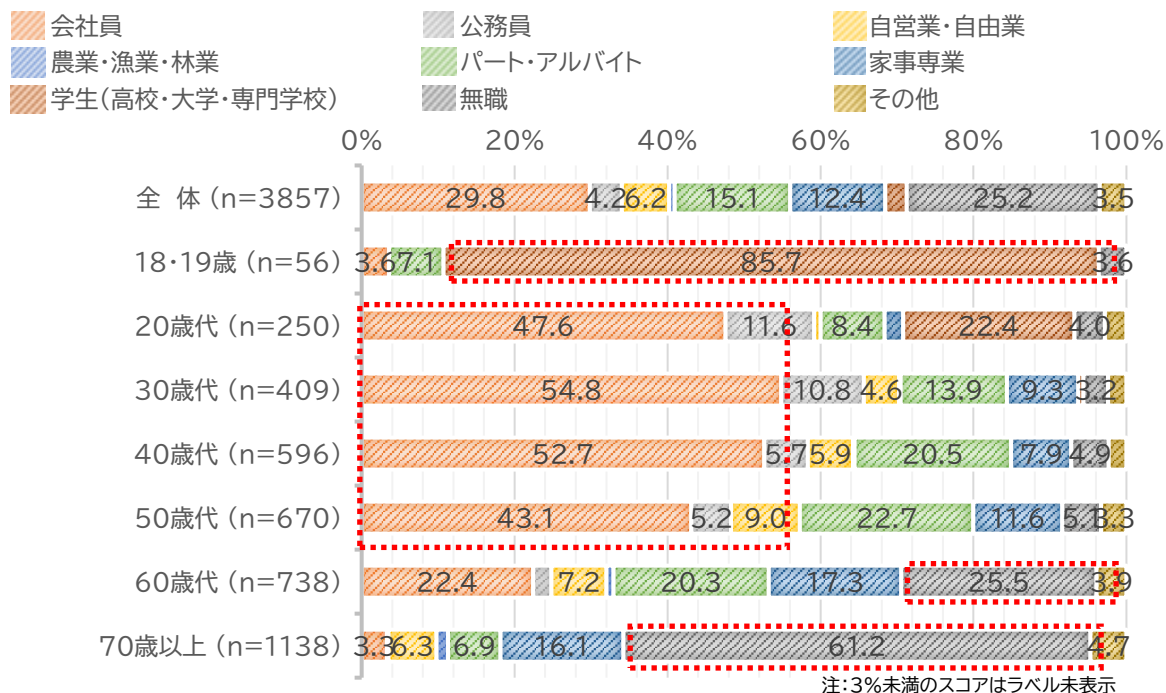
- ・ 会社員が 29.8%と最も多く、次いで無職 25.2%、パート・アルバイト 15.1%が多い。

	全 体	会 社 員	公 務 員	自 営 業 ・ 自 由 業	農 業 ・ 漁 業 ・ 林 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	家 事 専 業	学 生 （ 高 校 ・ 大 学 ・ 専 門 学 校 ）	無 職	そ の 他
全 体	3,857	29.8	4.2	6.2	0.7	15.1	12.4	2.8	25.2	3.5



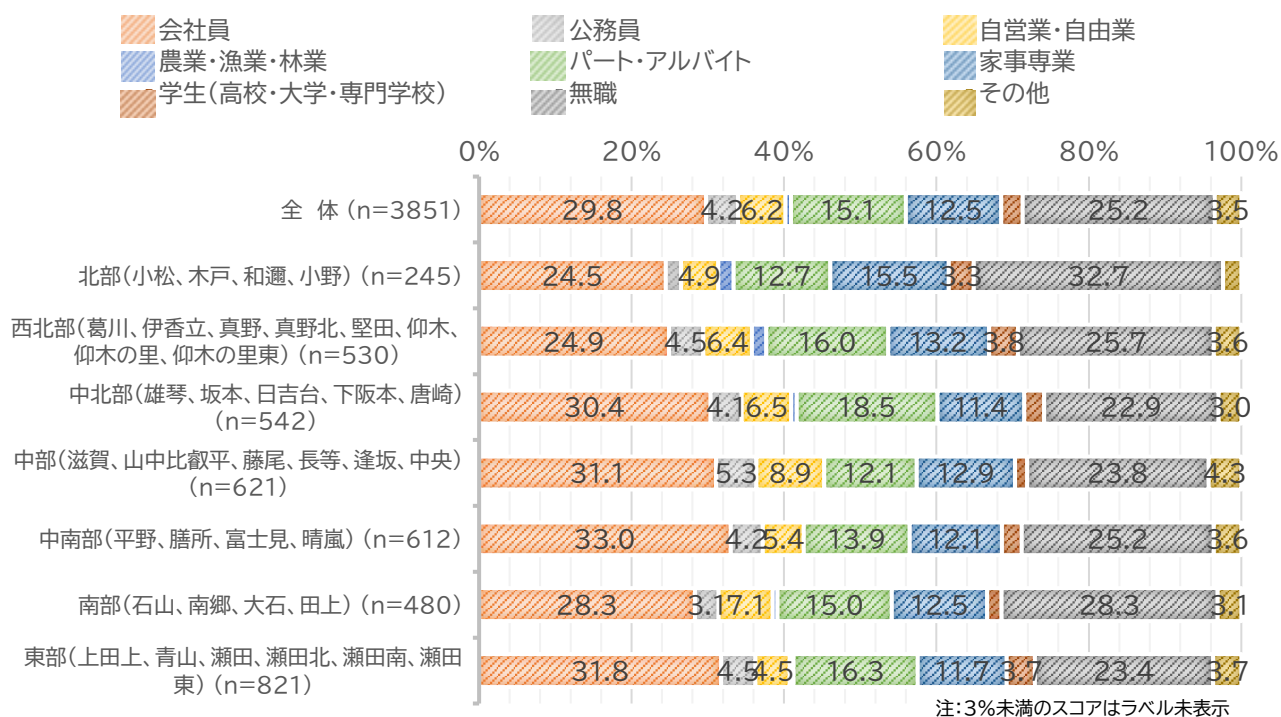
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 18・19歳は学生が80%以上と最も多く、20歳代から50歳代までは会社員が50%前後と最も多い。60歳代・70歳以上では無職が最も多い。



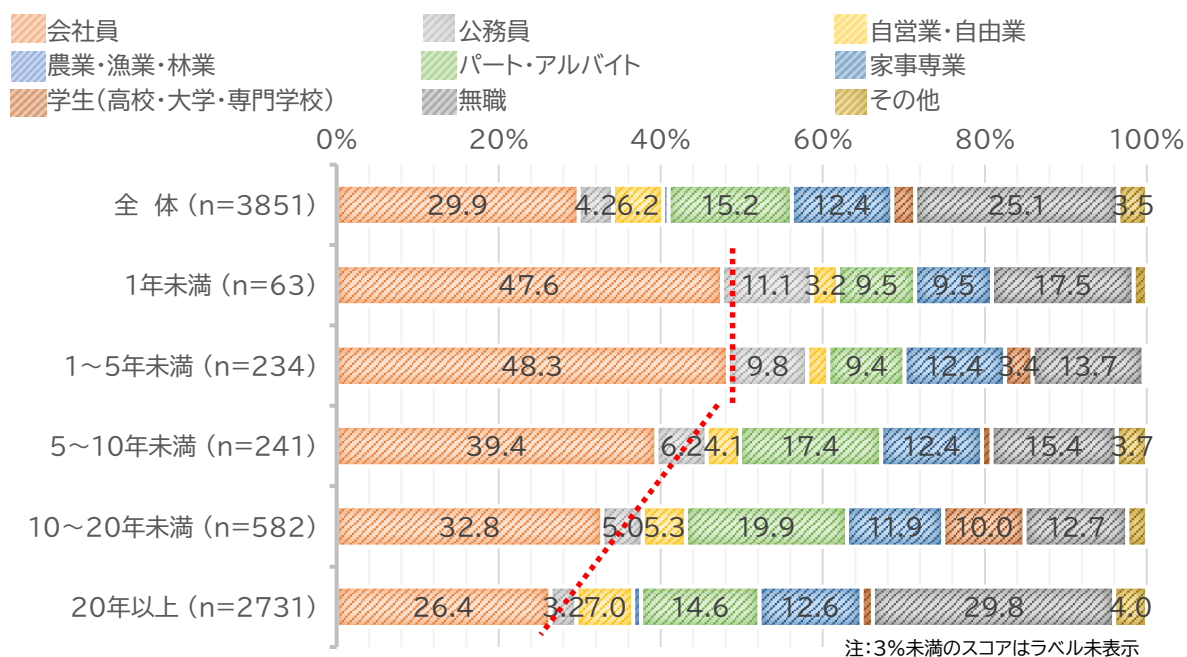
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



● 大津市居住期間（問3）別クロス集計

- ・ 会社員の割合が5年未満では50%程度だが、5年以上では長くなるほど低下している。



● 「9. その他」の主な記入内容

- ・ 主婦
- ・ 年金生活
- ・ 会社役員・団体職員
- ・ 派遣社員・契約社員
- ・ 医師・看護師・医療関係

＜市役所の利用状況について＞

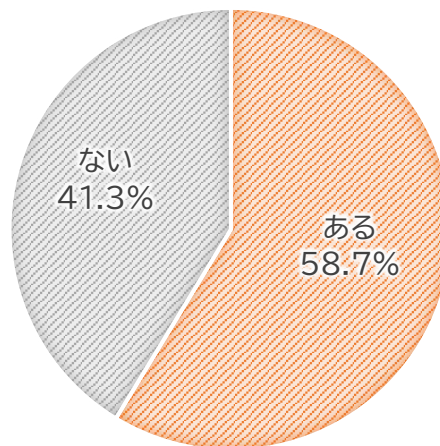
【問５】この１年で『市役所』を利用されたことがありますか。（いずれか１つ）

- １． ある ⇒【問６】 へお進みください
- ２． ない ⇒【問１１】 へお進みください

● 全体集計

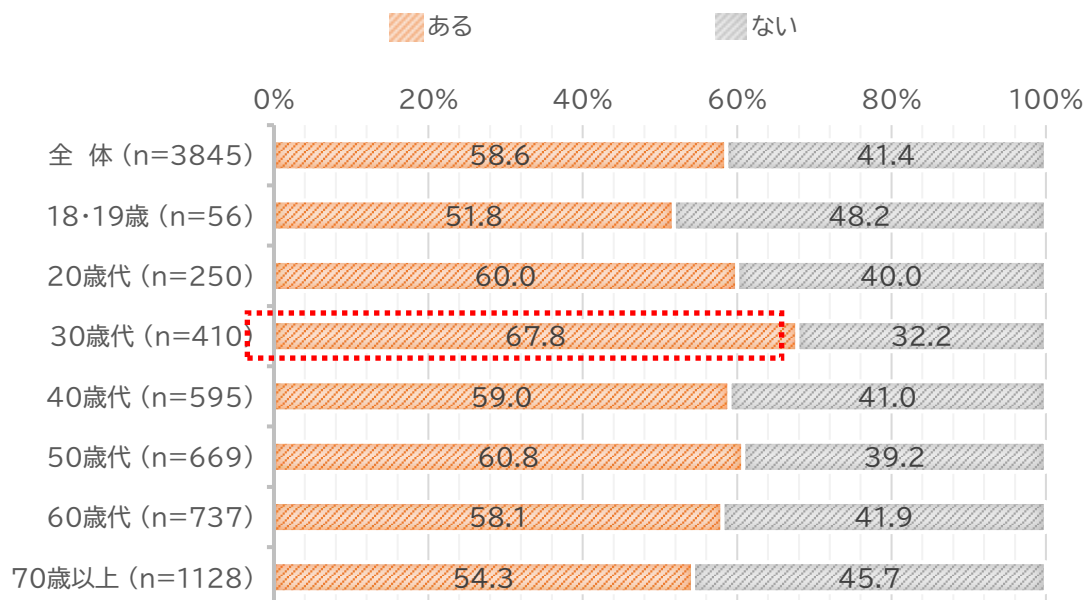
- ・ 「ある」が60%程度を占めている。

	全 体	あ る	な い
全 体	3,849	58.7	41.3



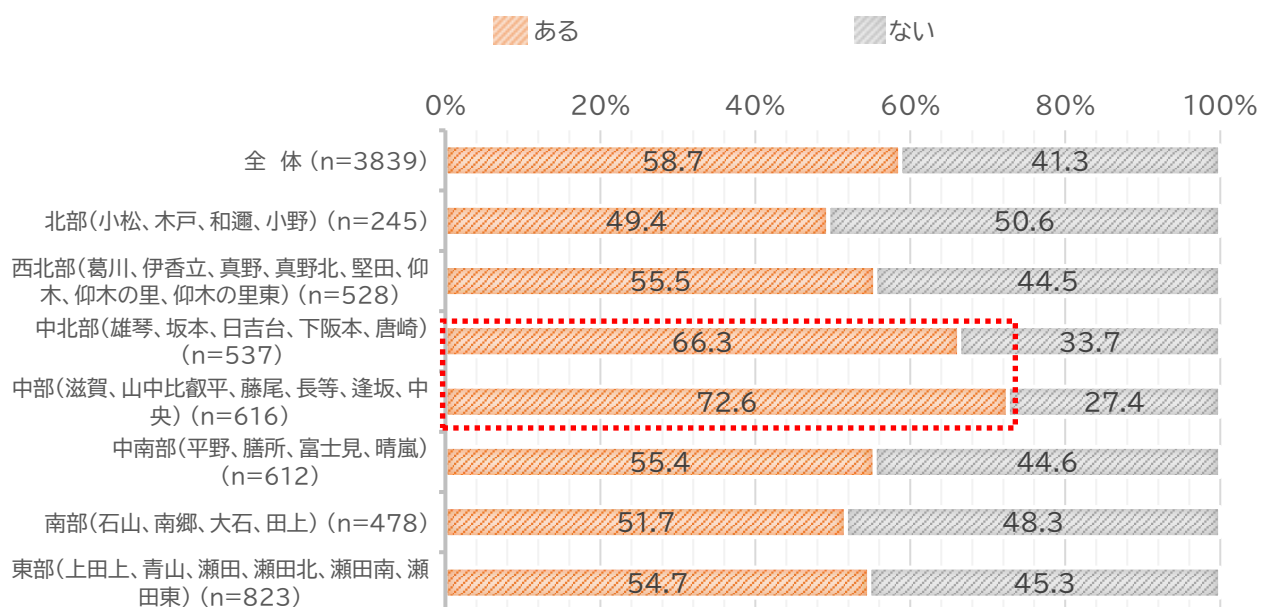
● 年齢（問 1）別クロス集計

- 大きな差はないが、30代では「ある」が70%程度と他年齢より多い。



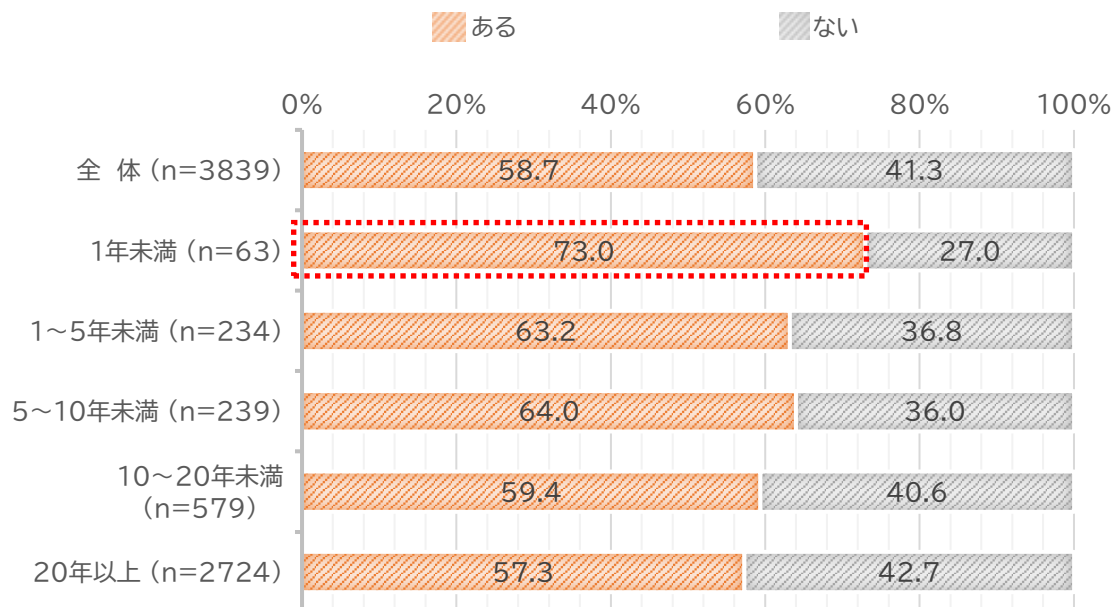
● 居住地区（問 2）別クロス集計

- 中北部・中部では「ある」が70%前後と他地区より多い。



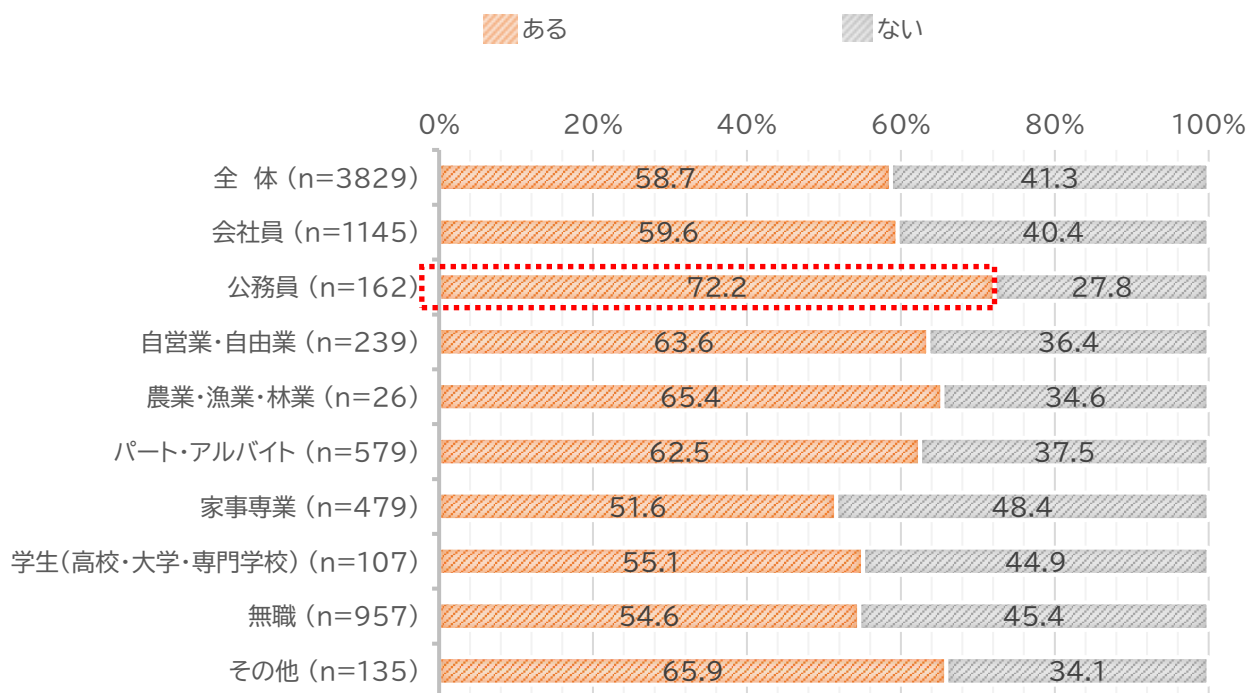
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 1年未満では「ある」が73%と他期間より多い。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 公務員では「ある」が72.2%と他職業より多い。



※この1年で市役所を利用したことが「ある」方のみ【問5】

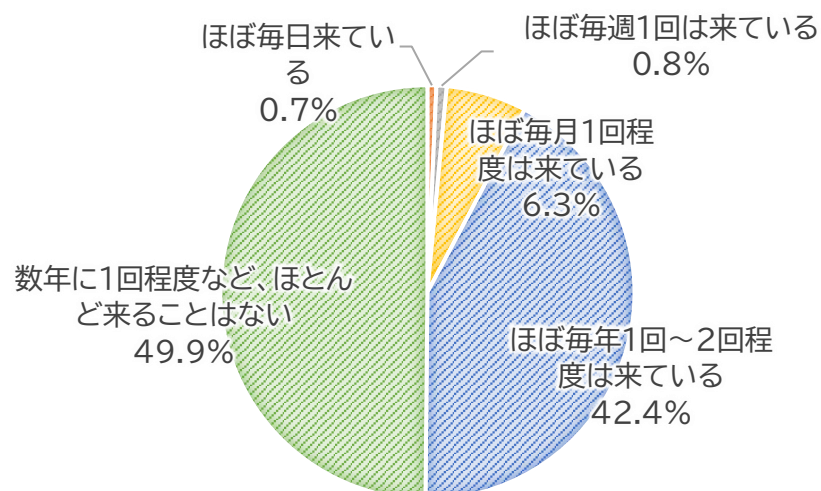
【問6】どのくらいの頻度で市役所を利用されていますか。
(最も近いと思うもの1つ)

1. ほぼ毎日来ている
2. ほぼ毎週1回は来ている
3. ほぼ毎月1回程度は来ている
4. ほぼ毎年1回～2回程度は来ている
5. 数年に1回程度など、ほとんど来ることはない

● 全体集計

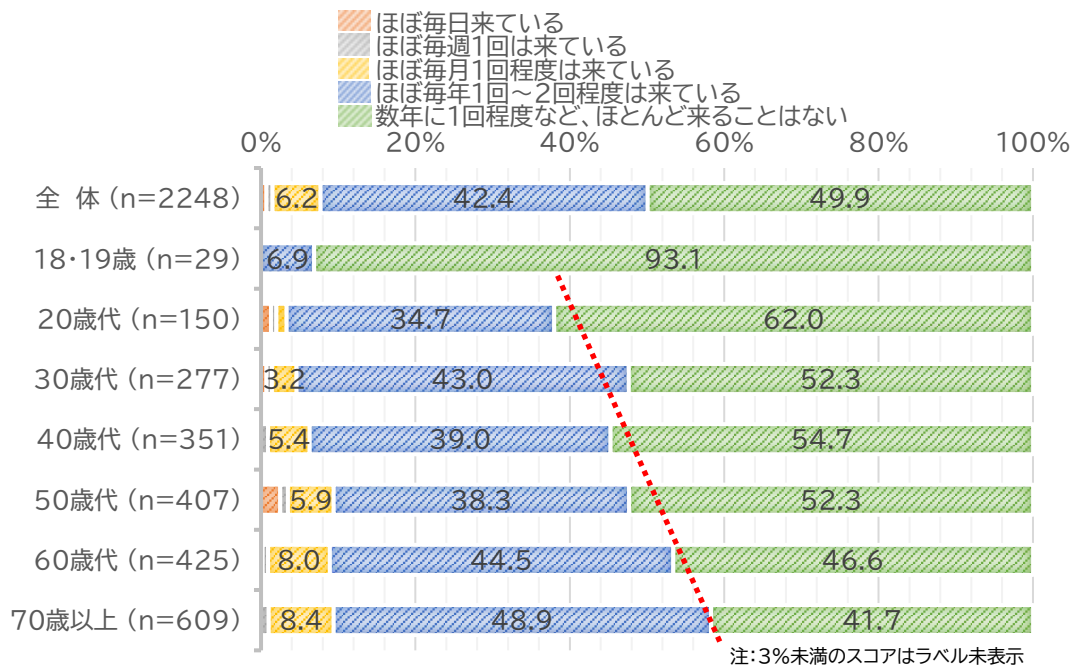
- ・ ほとんど来ないが49.9%で最も多く、次いで年に1回～2回が42.4%が多い。

	全 体	ほ ぼ 毎 日 来 て い る	ほ ぼ 毎 週 1 回 は 来 て い る	ほ ぼ 毎 月 1 回 程 度 は 来 て い る	ほ ぼ 毎 年 1 回 ～ 2 回 程 度 は 来 て い る	数 年 に 1 回 程 度 な ど、 ほ と ん ど 来 る こ と は な い
全 体	2,252	0.7	0.8	6.3	42.4	49.9



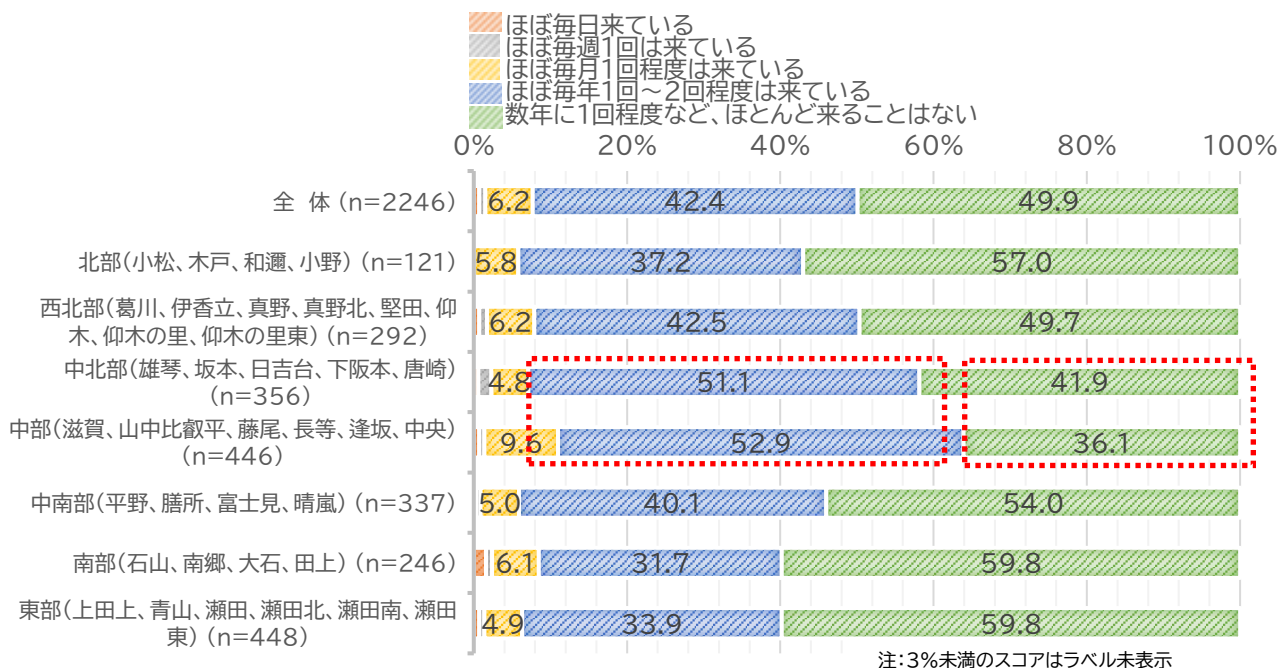
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 各世代とも「ほとんど来ることではない」が最も多い。
- ・ 総じて、年齢層が若いほど「ほとんど来ることではない」の割合が多い。



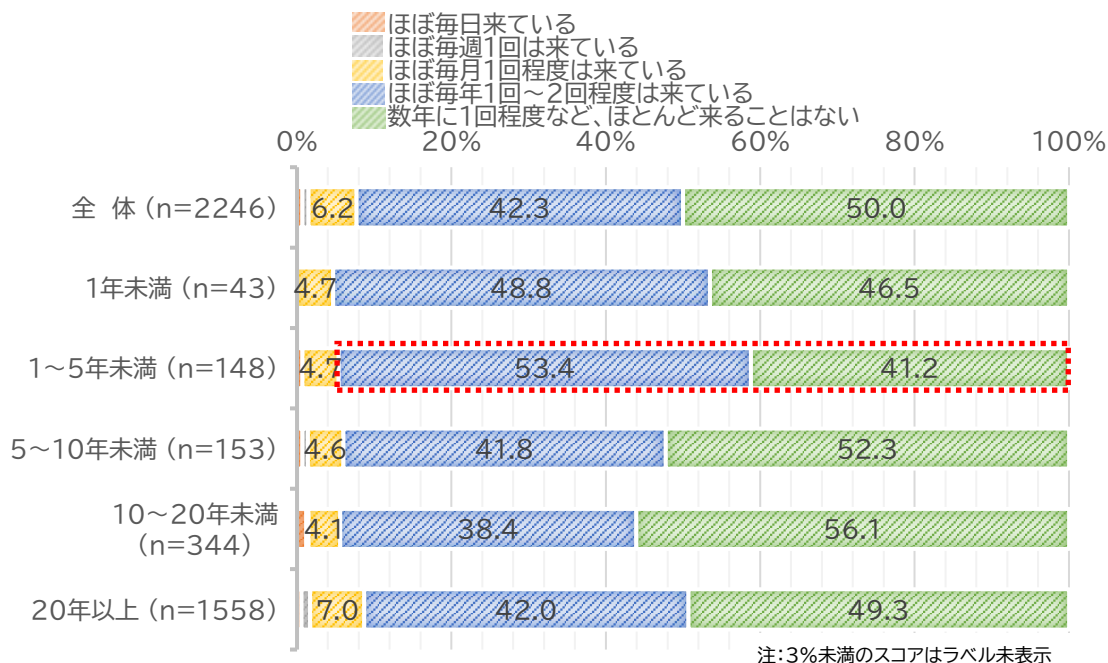
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 中北部・中部では「毎年 1～2 回程度」の割合が 50%程度と他地区と比べて高く、「ほとんど来ることではない」の割合が 40%程度と他地区と比べて少ない。



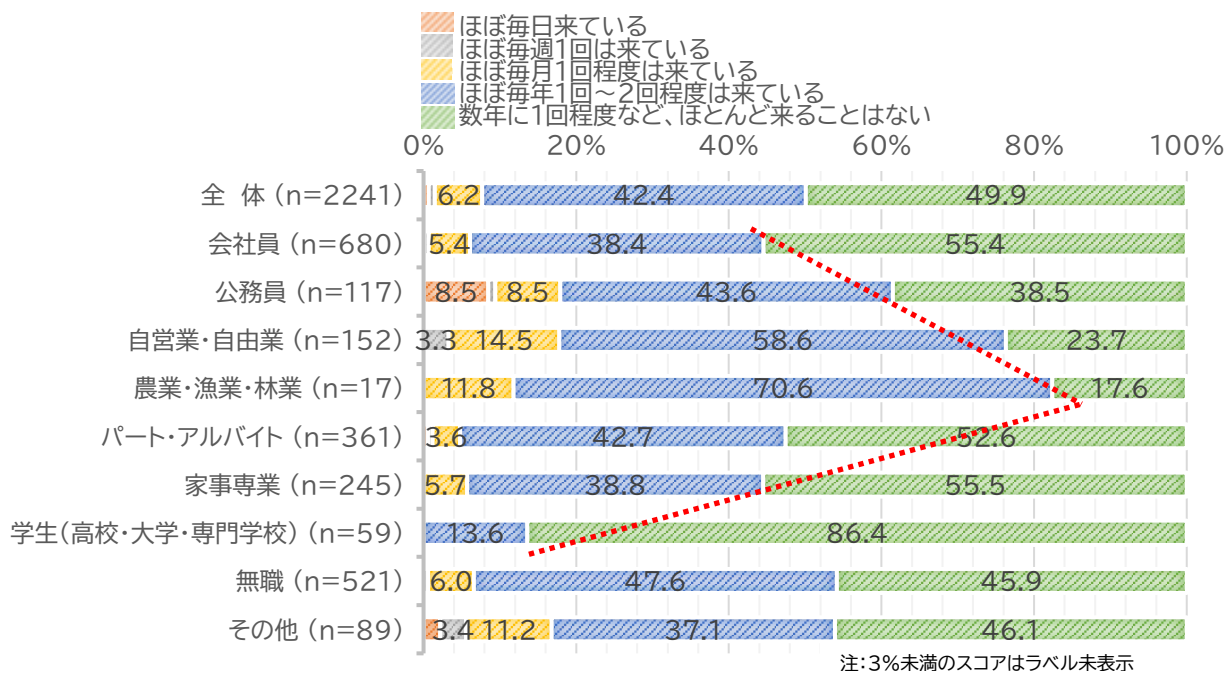
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 1～5 年未満では「毎年 1～2 回程度」の割合が 50%程度と他の在住期間と比べて高く、「ほとんど来ることはない」の割合が 40%程度と他の在住期間と比べて少ない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 職業別で利用頻度は大きく異なる。「毎年 1～2 回程度」の割合は自営業・自由業では 60%程度、農業・漁業・林業では 70%程度と高く、それ以上の頻度の割合も多い。



※この1年で市役所を利用したことが「ある」方のみ【問5】

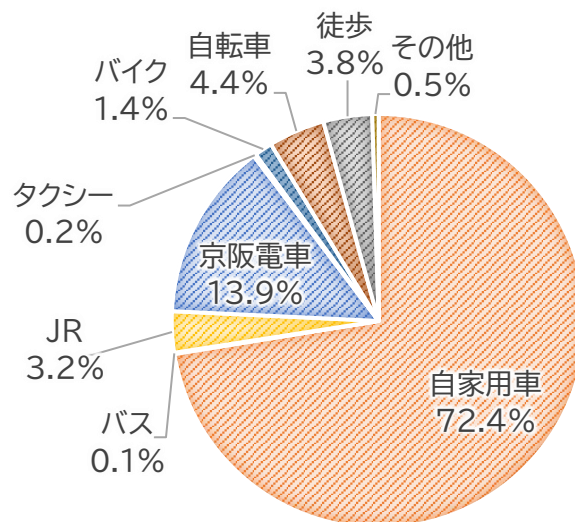
【問7】市役所を利用される際に一番よく利用される交通手段をお伺いします。
(いずれか1つ)

1. 自家用車 2. バス 3. JR 4. 京阪電車 5. タクシー 6. バイク
7. 自転車 8. 徒歩 9. その他

● 全体集計

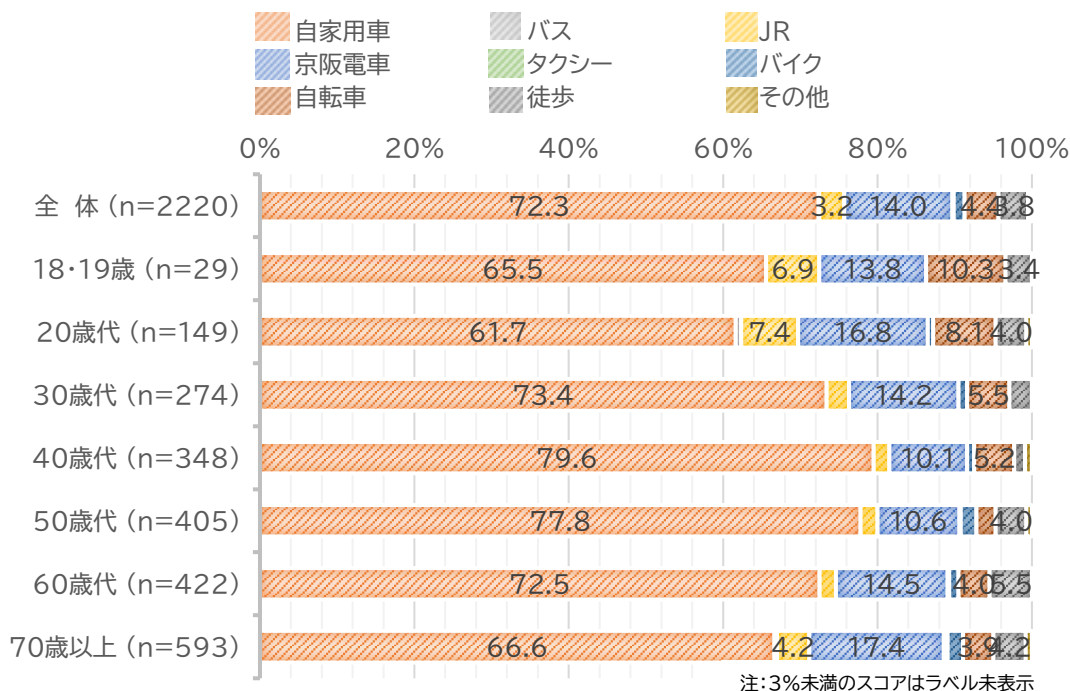
- ・ 自家用車が 72.4%と最も多く、京阪電車が 13.9%と次いで多い。

	全 体	自 家 用 車	バ ス	J R	京 阪 電 車	タ ク シ ー	バ イ ク	自 転 車	徒 歩	そ の 他
全 体	2,223	72.4	0.1	3.2	13.9	0.2	1.4	4.4	3.8	0.5



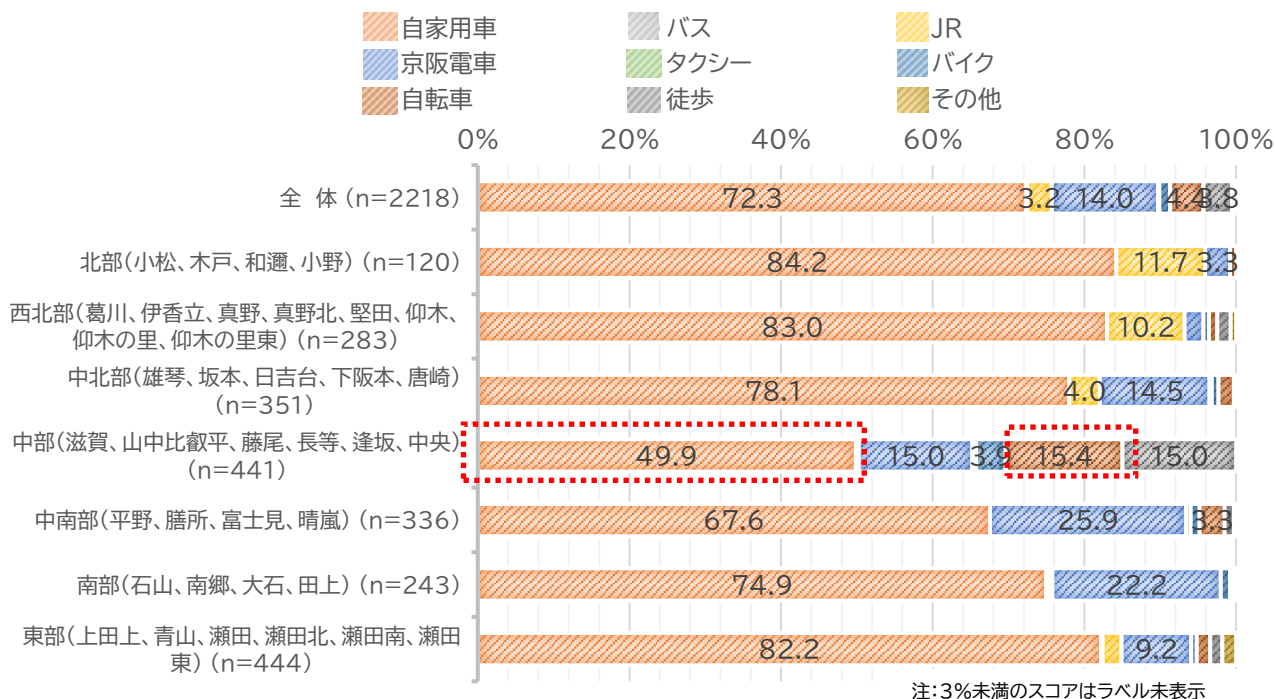
● 年齢（問1）別クロス集計

- 各年代で大きな差はないが、20歳代の自家用車の割合は61.7%と他年齢より少ない。



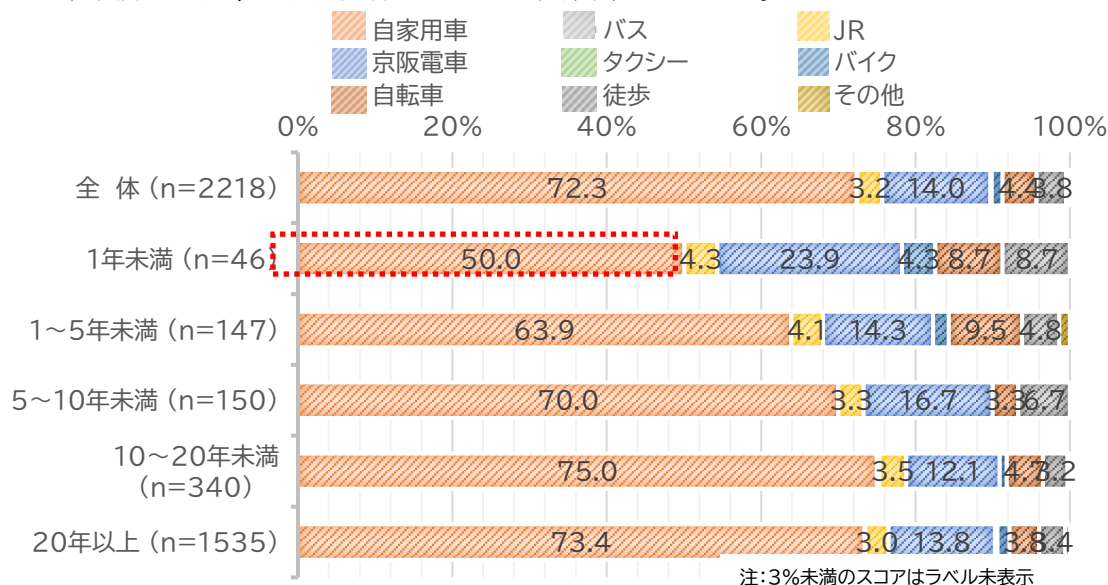
● 居住地区（問2）別クロス集計

- 中部では自家用車の割合が49.9%と他地区より少なく、自転車が15.4%と多い。



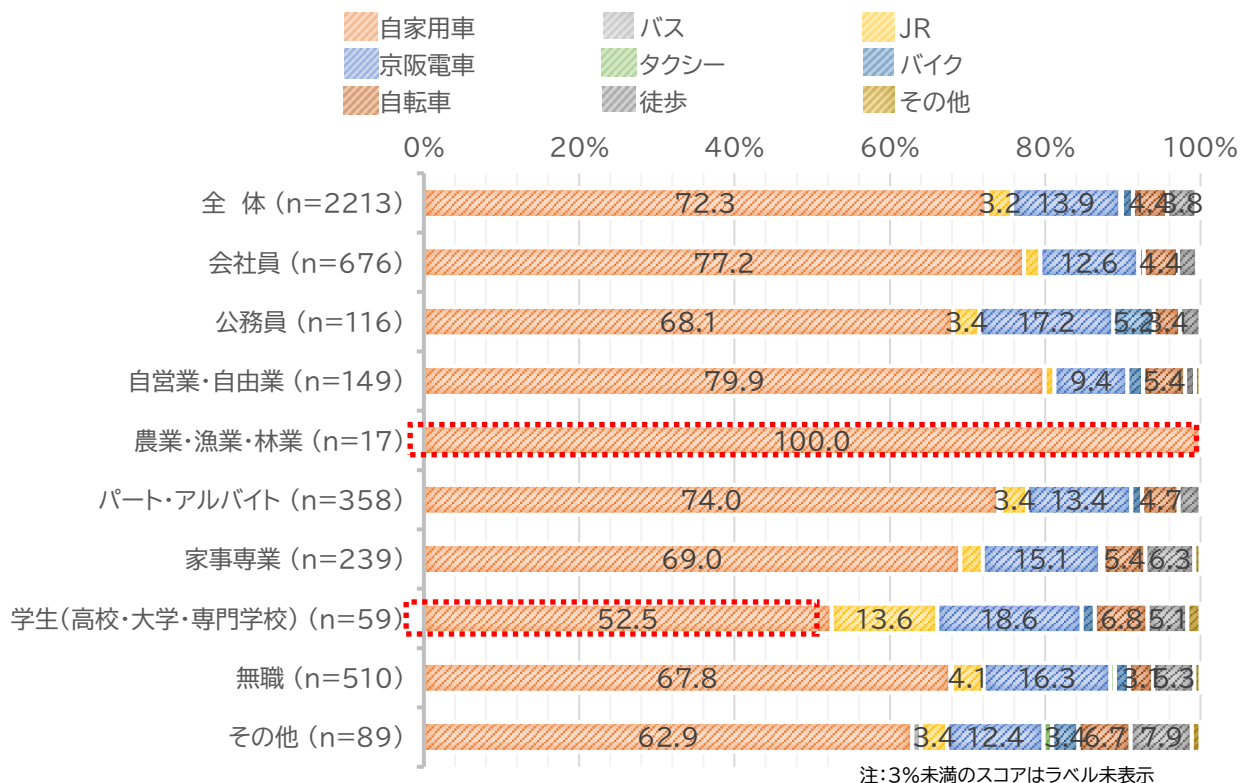
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 1 年未満では自家用車の割合が 50.0%と他期間より少ない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 農業は自家用車の割合が 100%で他職業より多く、学生は 52.5%と少ない。



● 「9. その他」の主な記入内容

- ・ 家族にらせてもらう
- ・ 社用車・公用車

※この１年で市役所を利用したことが「ある」方のみ【問５】

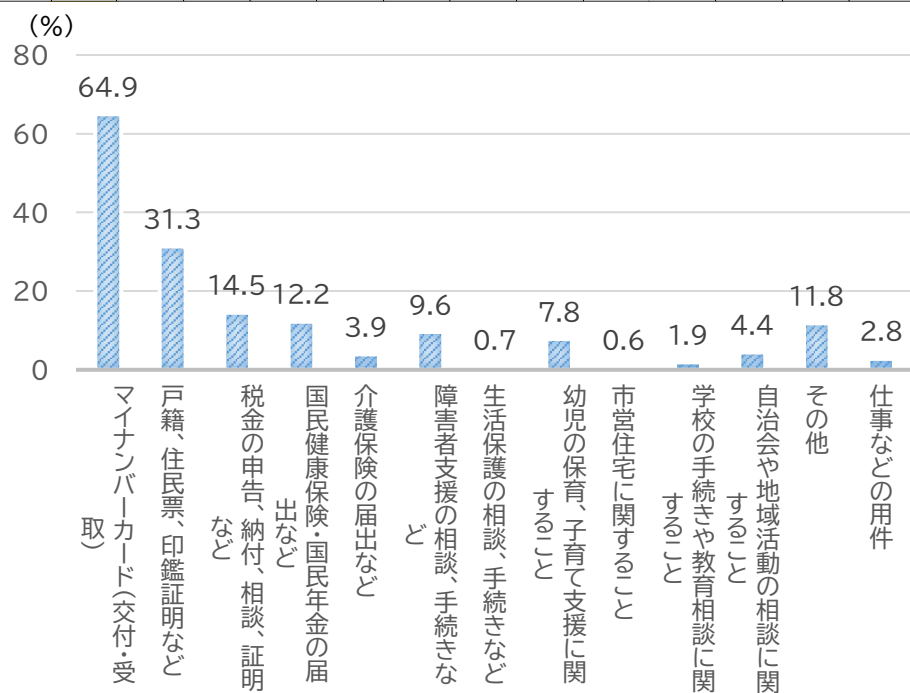
【問８】どのような用件で市役所を訪れましたか。（複数選択可）

- １． マイナンバーカード（交付・受取）
- ２． 戸籍、住民票、印鑑証明など
- ３． 税金の申告、納付、相談、証明など
- ４． 国民健康保険・国民年金の届出など
- ５． 介護保険の届出など
- ６． 障害者支援の相談、手続きなど
- ７． 生活保護の相談、手続きなど
- ８． 幼児の保育、子育て支援に関すること
- ９． 市営住宅に関すること
- １０． 学校の手続きや教育相談に関すること
- １１． 自治会や地域活動の相談に関すること
- １２． その他
- １３． 仕事などの用件

● 全体集計

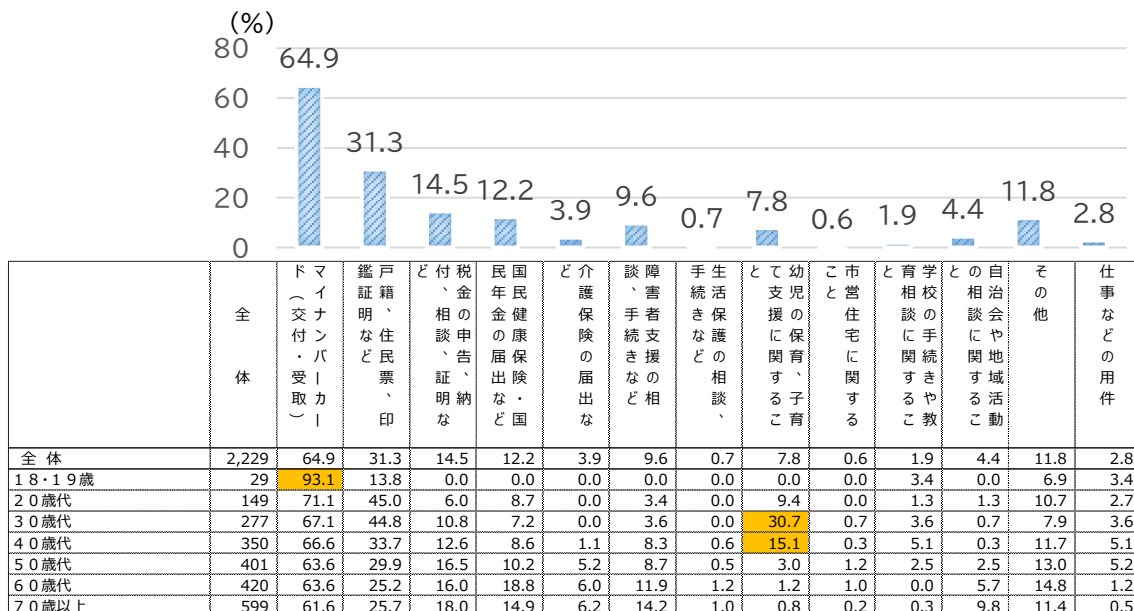
- ・ マイナンバーカードが 64.9%と最も多く、次いで戸籍・住民票・印鑑証明が 31.3%と多い。

	全 体	マイ ナ ン バ ー カ ー ド （ 交 付 ・ 受 取 ）	戸 籍 、 住 民 票 、 印 鑑 証 明 な ど	税 金 の 申 告 、 納 付 、 相 談 、 証 明 な ど	出 な ど 国 民 健 康 保 険 ・ 国 民 年 金 の 届 出 な ど	介 護 保 険 の 届 出 な ど	障 害 者 支 援 の 相 談 、 手 続 き な ど	生 活 保 護 の 相 談 、 手 続 き な ど	幼 児 の 保 育 、 子 育 て 支 援 に 関 す る こ と	市 営 住 宅 に 関 す る こ と	学 校 の 手 続 き や 教 育 相 談 に 関 す る こ と	自 治 会 や 地 域 活 動 の 相 談 に 関 す る こ と	そ の 他	仕 事 な ど の 用 件
全 体	2,229	64.9	31.3	14.5	12.2	3.9	9.6	0.7	7.8	0.6	1.9	4.4	11.8	2.8



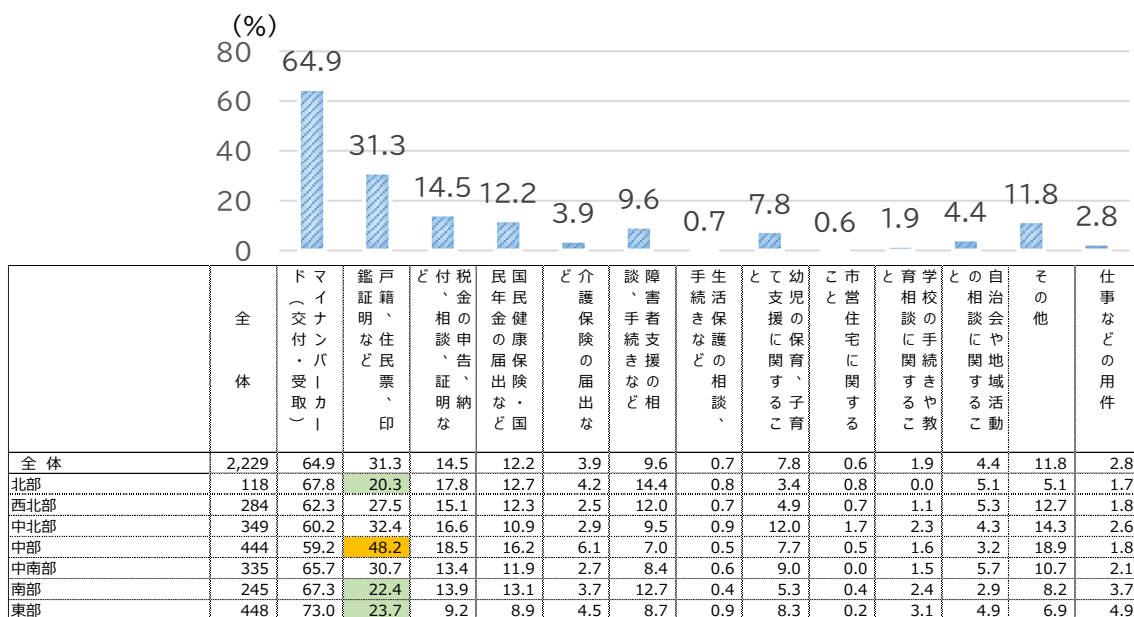
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 18・19歳ではマイナンバーカードが93.1%と他年齢より多く、30歳代・40歳代では保育・子育て支援が他年齢より多い。



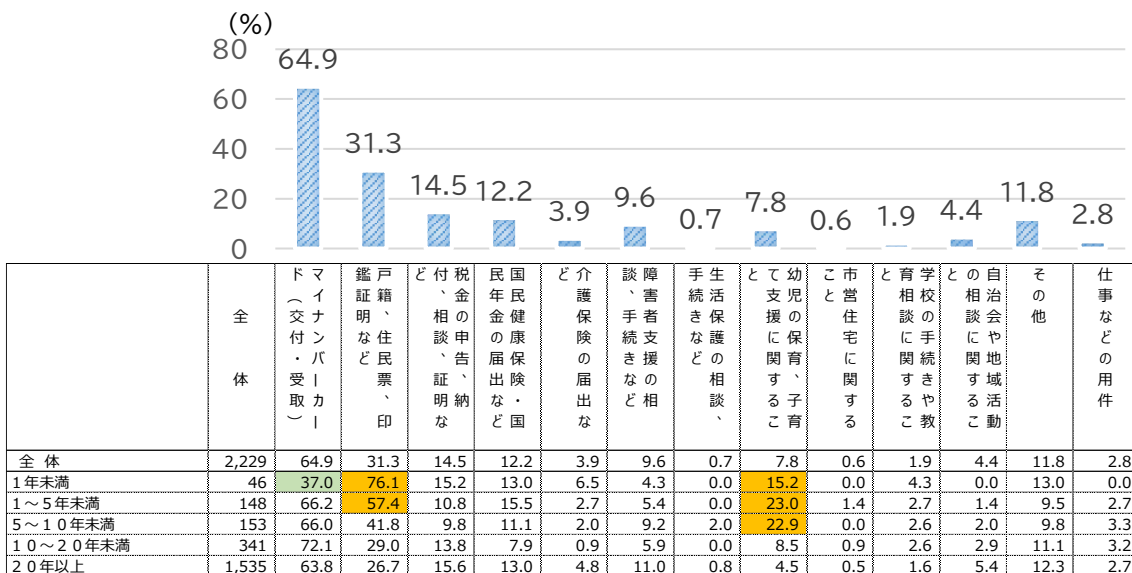
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 戸籍・住民票・印鑑証明は地区による差が大きい。中部は48.2%と他地区より多く、北部は20.3%、南部は22.4%、東部は23.7%と少ない。



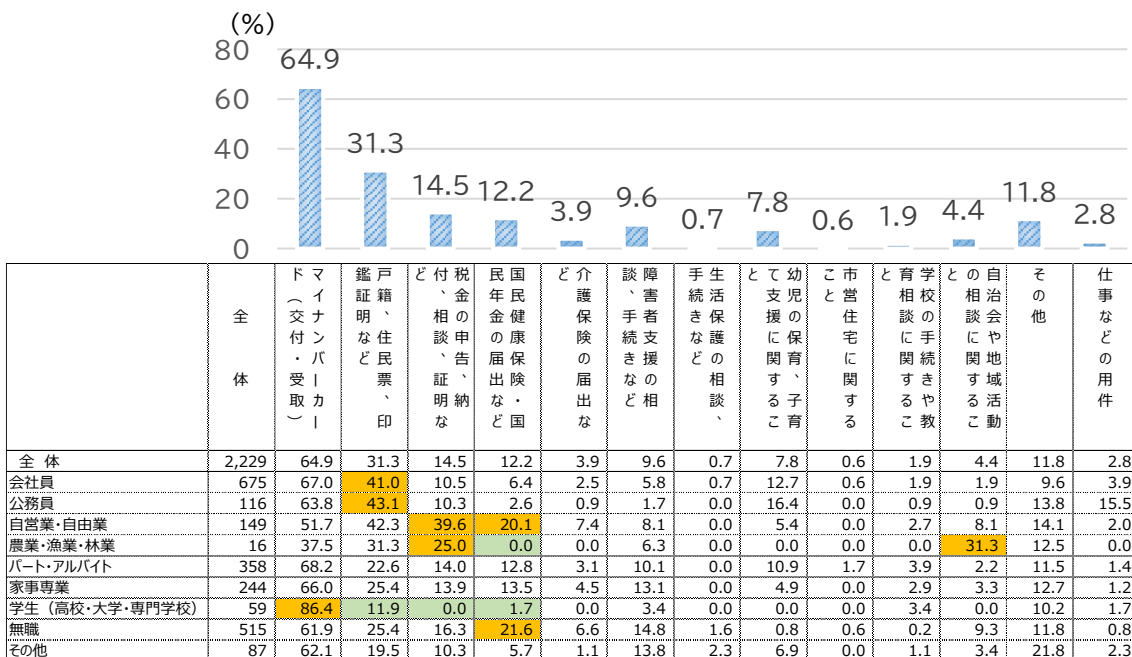
● 大津市居住期間（問3）別クロス集計

- ・ マイナンバーカードは、1年未満で37.0%と他期間より少ない。
- ・ 戸籍・住民票・印鑑証明は、1年未満で76.1%、1～5年未満で57.4%と他期間より多い。
- ・ 保育・子育て支援は、1年未満15.2%、1～5年23.0%、5～10年22.9%が他期間より多い。



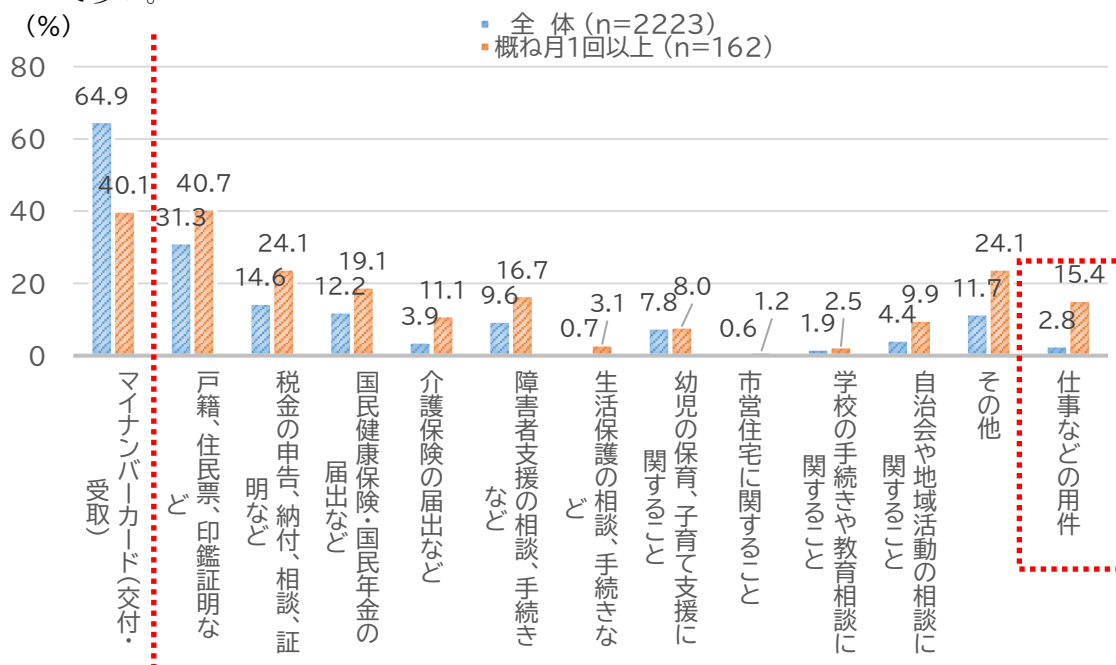
● 職業（問4）別クロス集計

- ・ マイナンバーカードは学生が86.4%と他職業より多い。
- ・ 戸籍・住民票・印鑑証明は会社員が41.0%、公務員が43.1%と他職業より多い。
- ・ 税金関係は自営業・自由業が39.6%、農業・漁業・林業が25.0%と他職業より多い。
- ・ 国民健康保険・国民年金は自営業・自由業が20.1%、無職が21.6%と他職業より多い。
- ・ 自治会や地域活動は農業・漁業・林業が31.3%と他職業より多い。



● 利用頻度（問6）が月1回以上ある方の利用目的

- ・ マイナンバーカードの割合が全体に比べて少ない。
- ・ マイナンバーカード以外のすべての利用目的が多く、特に仕事などの用件は全体に比べて多い。



● 利用頻度（問6）と「仕事などの用件」の関係（主な訪問部署・要件）

- ・ 月1回以上では介護保険課・建築指導課・戸籍住民課、保育幼稚園課が多い。
- ・ 年1～2回未満では教育委員会、廃棄物減量推進課、生涯学習課が多い。

月1回以上	年1～2回・数年に1回程度
・ 介護保険課：介護保険、要介護認定申請、居宅介護支援、ケアマネジャー業務など ・ 建築指導課：建築相談、ブロック塀の申告、各種申請調査など ・ 戸籍住民課：火葬許可証、企業年金証明、新築届 ・ 保育幼稚園課：補助金申請、給付金請求書提出 ・ 国民健康保険課：人間ドック支援金申請 ・ 環境部：ゴミ減量推進・廃棄物処理 ・ 教育委員会：事務連絡、会議 ・ 契約検査課：入札関係書類提出 ・ 建築課：リサイクル法の届出	・ 教育委員会：講師登録、スポーツ、教育関係の相談打合せ、書類提出、面接、会議 ・ 廃棄物減量推進課：補助金交付請求、ゴミ集積所の新設 ・ 生涯学習課：生涯学習推進会議、出前講座 ・ 契約検査課：入札申請 ・ 介護保険課：介護保険の届出、親の介護、申請書類提出 ・ 路政課：市道、里道、水路の現状調査・相談 ・ 環境部：打合せ ・ 秘書課：市長・副市長との打合せ

● 「12. その他」の主な記入内容

- ・ 不在者投票・期日前投票
- ・ 会議・研修
- ・ 郵便局・銀行の利用
- ・ 法律相談

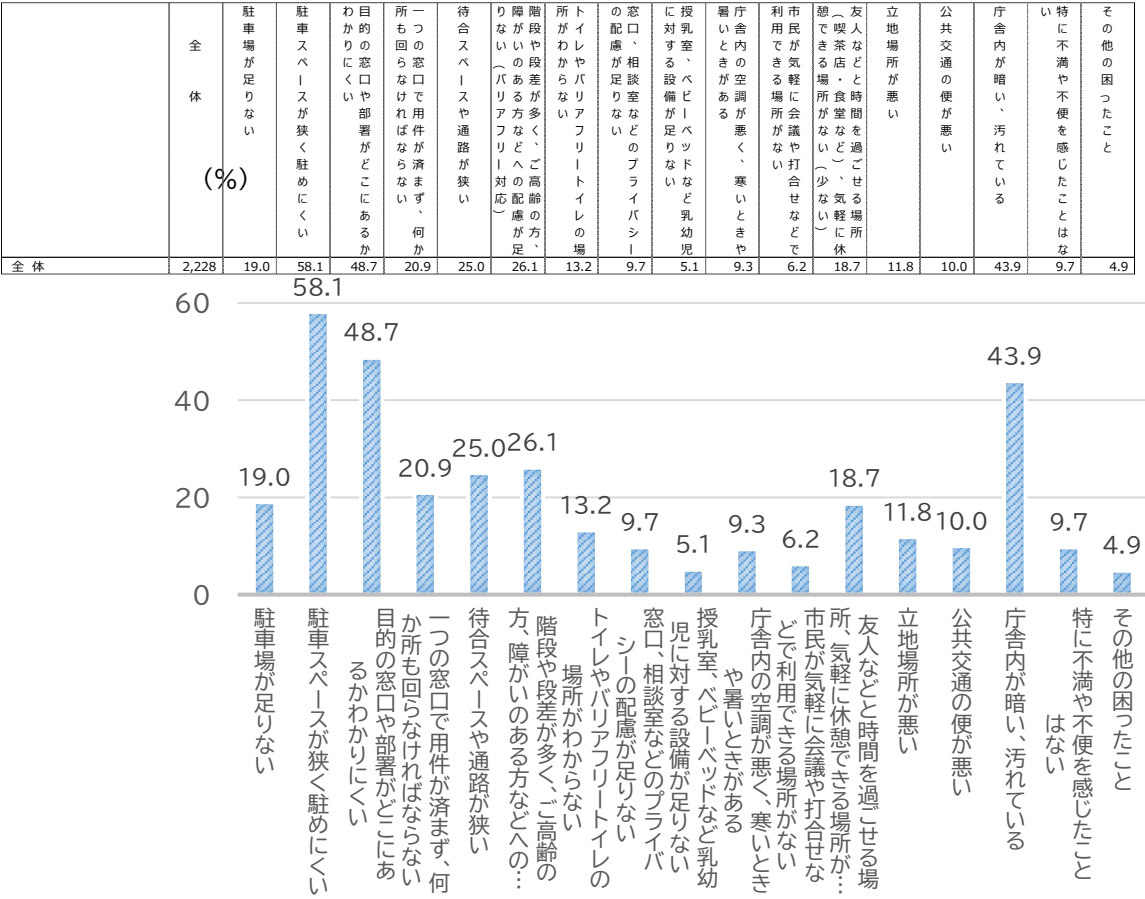
※この1年で市役所を利用したことが「ある」方のみ【問5】

【問9】これまで市役所を利用された際に、施設面や環境面でご不満・ご不便を感じたことについてお伺いします。(複数選択可)

1. 駐車場が足りない
2. 駐車スペースが狭く駐めにくい
3. 目的の窓口や部署がどこにあるかわかりにくい
4. 一つの窓口で用件が済まず、何か所も回らなければならない
5. 待合スペースや通路が狭い
6. 階段や段差が多く、ご高齢の方、障がいのある方などへの配慮が足りない(バリアフリー対応)
7. トイレやバリアフリートイレの場所がわからない
8. 窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない
9. 授乳室、ベビーベッドなど乳幼児に対する設備が足りない
10. 庁舎内の空調が悪く、寒いときや暑いときがある
11. 市民が気軽に会議や打合せなどで利用できる場所がない
12. 友人などと時間を過ごせる場所(喫茶店・食堂など)、気軽に休憩できる場所がない(少ない)
13. 立地場所が悪い
14. 公共交通の便が悪い
15. 庁舎内が暗い、汚れている
16. 特に不満や不便を感じたことはない
17. その他の困ったこと

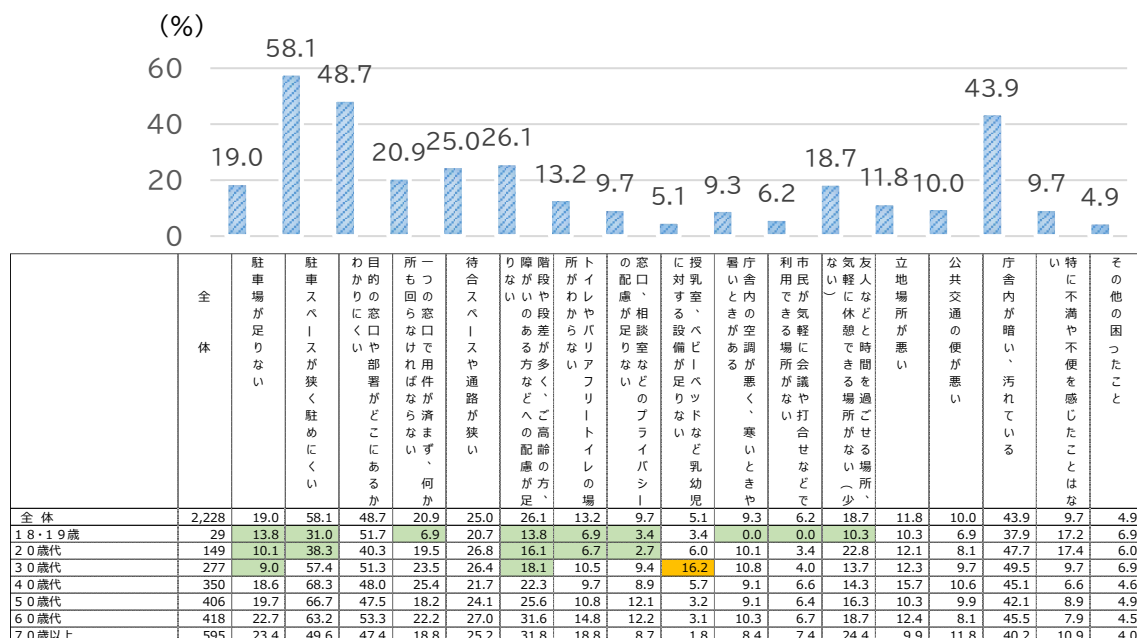
● 全体集計

- ・ 「駐車スペースが狭い」が最も多く 58.1%、次いで「目的の窓口の場所が分からない」が 48.7%、「庁舎内が暗い・汚れている」が 43.9%と多い。



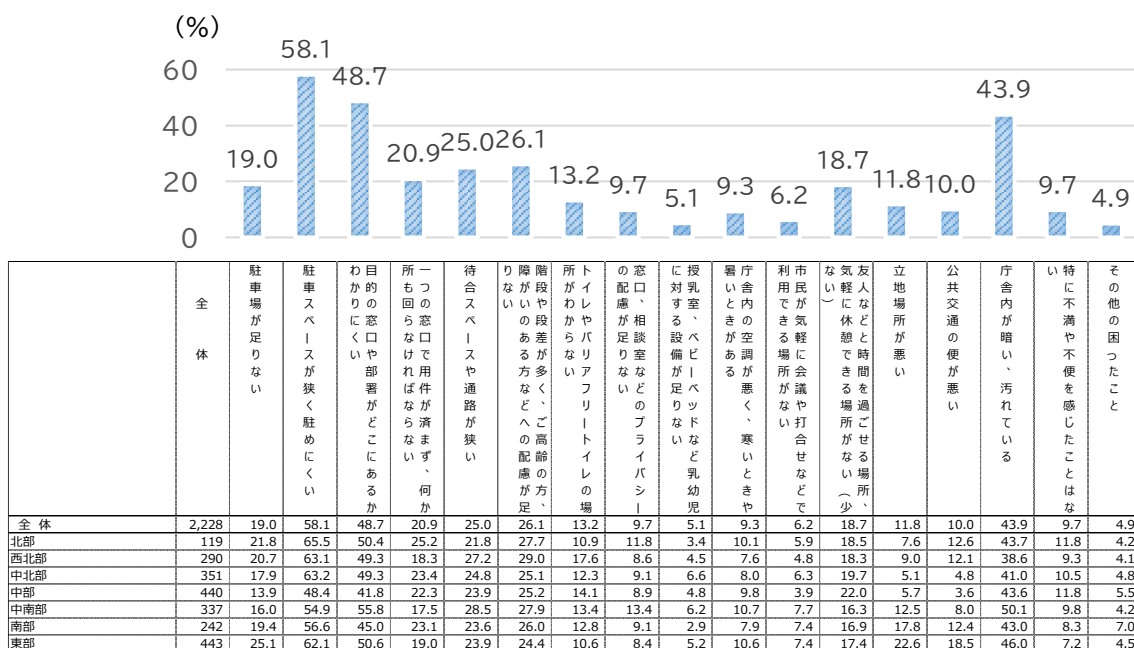
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 「乳幼児向け設備が足りない」は30歳代が16.2%と他年齢より多い。
- ・ 駐車場、バリアフリー関連、プライバシーなどの、20歳代未満の不満が他年齢より少ない。



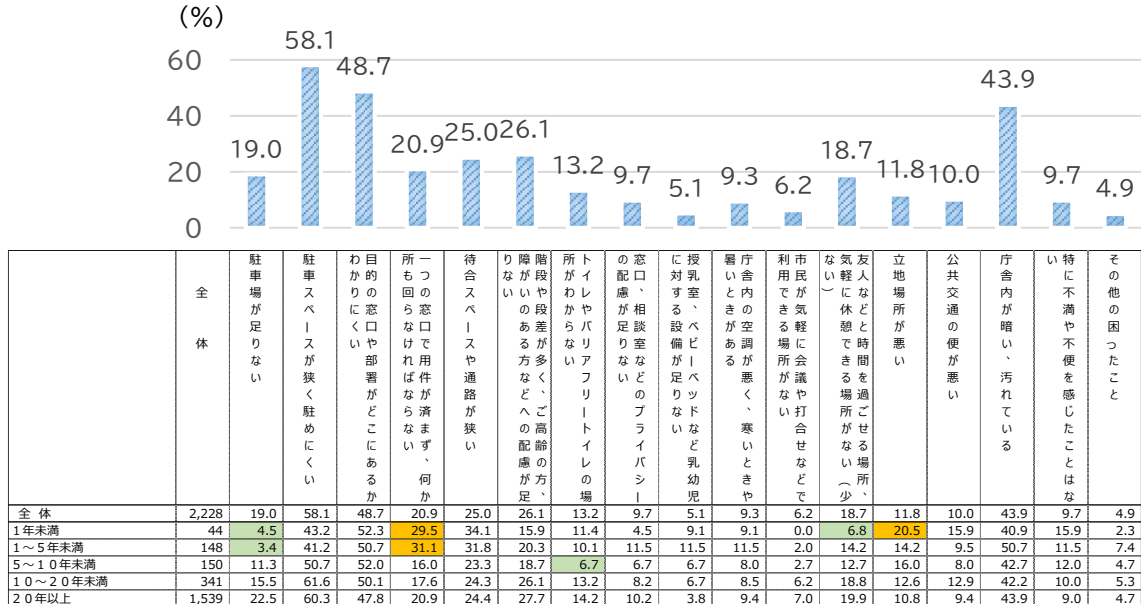
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



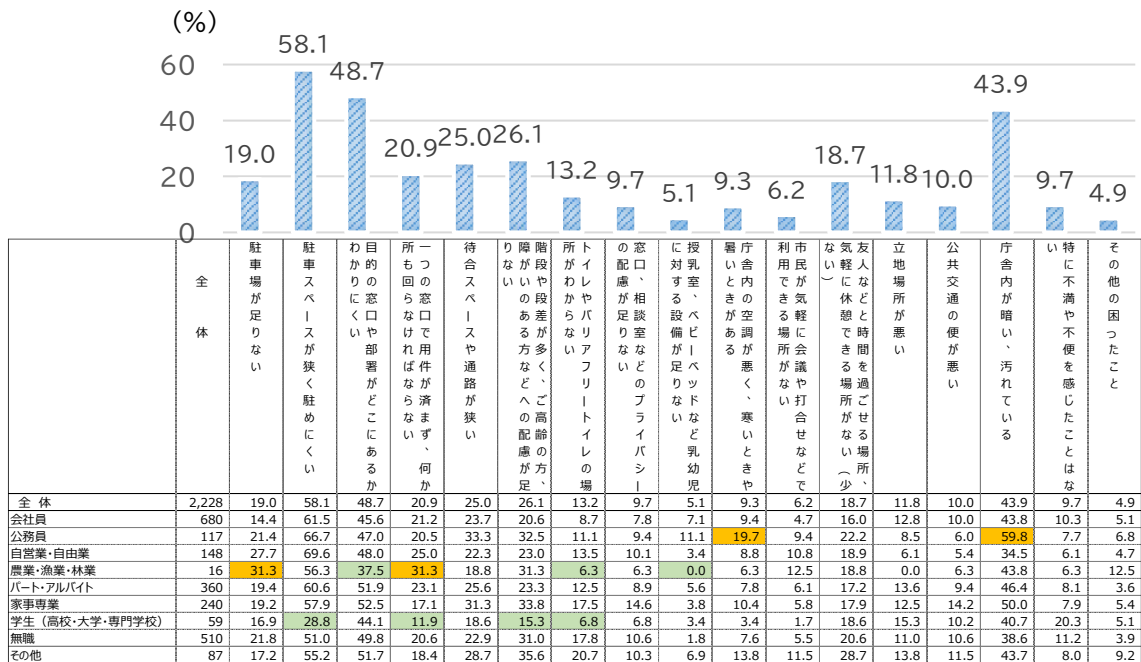
● 大津市居住期間（問3）別クロス集計

- 「一つの窓口で要件が済まない」は1年未満29.5%、1~5年未満31.1%が他期間より多い。



● 職業（問4）別クロス集計

- 駐車スペース、一つの窓口で要件が済まない、バリアフリー関連の不満・不便は学生では他職業より少ない。
- 庁内関連（空調、暗い・汚れている）の不満・不便は公務員で他職業より多い。



● 「１７．その他の困ったこと」の主な記入内容

- ・ トイレが汚い・使いにくい
- ・ 駅から遠い

※この１年で市役所を利用したことが「ある」方のみ【問５】

【問１０】支所ではなく市役所を利用される場合の理由をお伺いします。

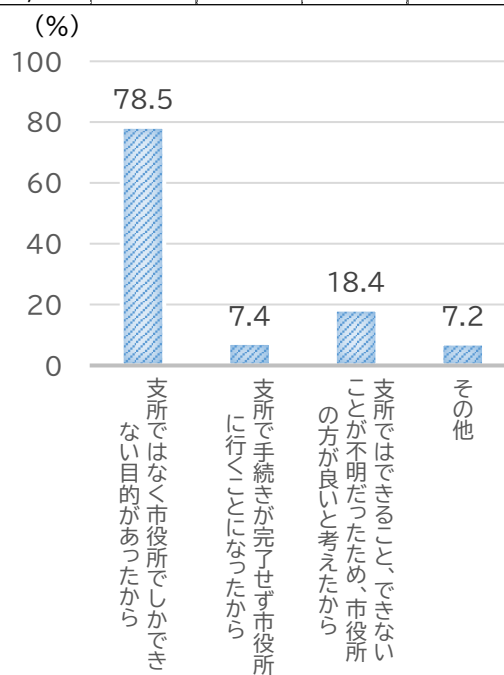
（複数選択可）

- １．支所ではなく市役所でしかできない目的があったから
- ２．支所で手続きが完了せず市役所に行くことになったから
- ３．支所ではできること、できないことが不明だったため市役所の方が良いと考えたから
- ４．その他

● 全体集計

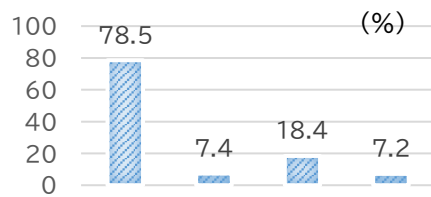
- ・ 「支所ではなく市役所でしかできない目的があった」が 78.5%と最も多い。

	全 体	支 所 で は な く 市 役 所 で し か で き な い 目 的 が あ っ た か ら	支 所 で 手 続 き が 完 了 せ ず 市 役 所 に 行 く こ と に な っ た か ら	支 所 で は で き る こ と 、 で き な い こ と が 不 明 だ っ た た め 、 市 役 所 の 方 が 良 い と 考 え た か ら	支 所 で は で き る こ と 、 で き な い こ と が 不 明 だ っ た た め 、 市 役 所 の 方 が 良 い と 考 え た か ら	そ の 他
全 体	2,179	78.5	7.4	18.4	7.2	



● 年齢（問 1）別クロス集計

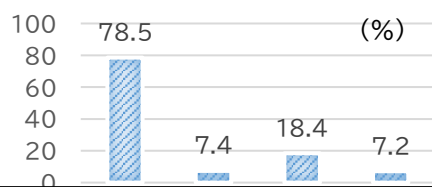
- 母数の少ない 18・19 歳以外で年齢別の大きな差はない。



	全 体	き 支 な 所 い で 目 は な く あ 市 役 所 で し か で	所 に 所 行 で く 手 続 き に が 完 了 せ た か ら 市 役	役 い 所 こ の と で 方 が 不 明 き る こ と と え た め で か ら 市 な	そ の 他
全 体	2,179	78.5	7.4	18.4	7.2
18・19歳	28	92.9	3.6	7.1	7.1
20歳代	150	77.3	7.3	16.0	6.0
30歳代	274	76.6	6.6	20.1	7.3
40歳代	348	83.3	4.3	13.8	6.3
50歳代	396	79.8	6.6	17.7	7.1
60歳代	411	77.6	9.2	17.3	9.2
70歳以上	568	75.9	9.0	22.7	6.7

● 居住地区（問 2）別クロス集計

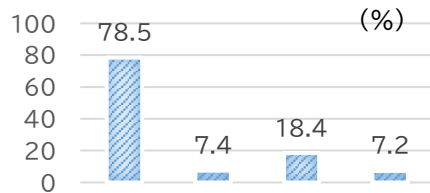
- 中部は「市役所でしかできない目的があった」が 58.8%と他地区より少なく、「支所でできることが不明で市役所のほうがよいと思った」が 31.4%と他地区より多い。



	全 体	き 支 な 所 い で 目 は な く あ 市 役 所 で し か で	所 に 所 行 で く 手 続 き に が 完 了 せ た か ら 市 役	役 い 所 こ の と で 方 が 不 明 き る こ と と え た め で か ら 市 な	そ の 他
全 体	2,179	78.5	7.4	18.4	7.2
北部	117	85.5	8.5	12.0	2.6
西北部	283	80.2	7.8	17.3	5.3
中北部	347	77.8	9.5	18.4	6.9
中部	420	58.8	3.3	31.4	18.8
中南部	329	80.9	7.6	18.2	4.3
南部	241	85.5	10.4	13.3	4.6
東部	436	89.7	7.1	10.8	2.5

● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

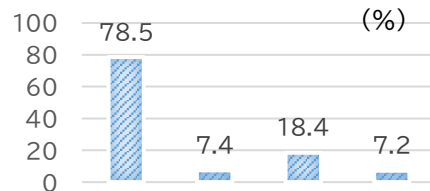
- ・ 1 年未満・1～5 年未満は「市役所でしかできない目的があった」が 65%程度と他期間より少なく、「支所でできることが不明で市役所のほうがよいと思った」が 30%程度と他期間より多い。



	全 体	き 支 な い で 目 的 が あ る 市 役 所 で し か で	所 支 に 所 行 で く 手 続 き が 完 了 せ ず か ら 市 役	役 い こ 所 の と が 不 明 だ る こ と を 考 え た た め か ら 市	そ の 他
全 体	2,179	78.5	7.4	18.4	7.2
1 年未満	46	65.2	8.7	30.4	2.2
1～5 年未満	144	65.3	6.9	25.7	11.8
5～10 年未満	148	76.4	3.4	14.9	9.5
10～20 年未満	329	82.7	7.0	17.0	4.6
20 年以上	1,507	79.6	7.8	17.9	7.3

● 職業（問 4）別クロス集計

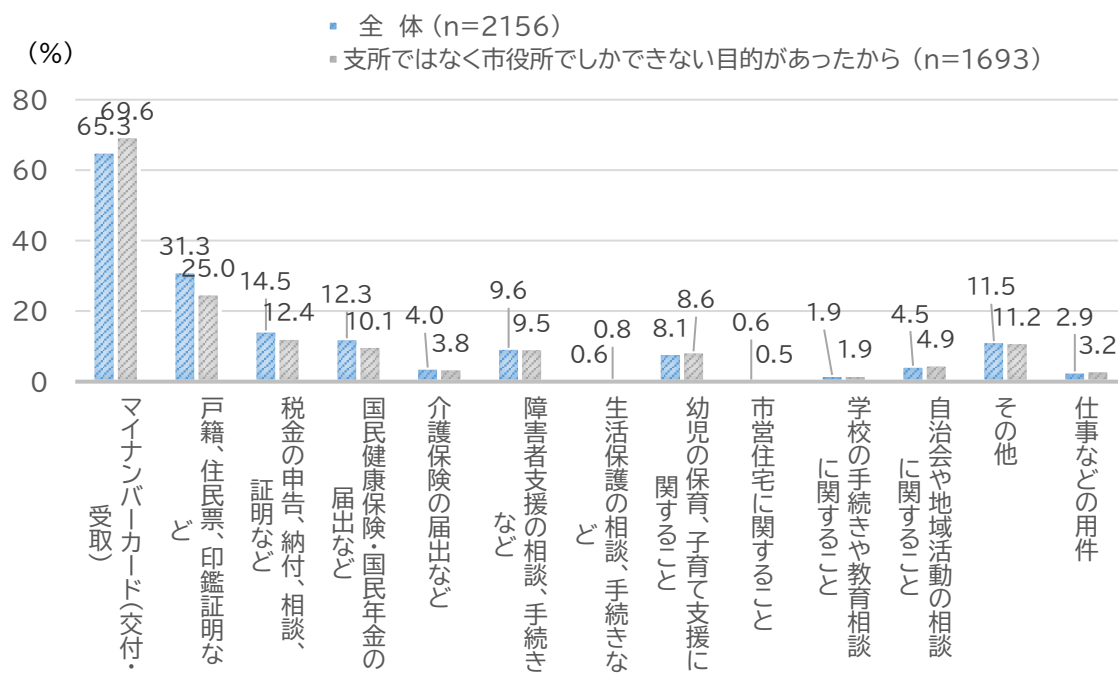
- ・ 母数の少ない農業・漁業・林業、学生以外で大きな差はない。



	全 体	き 支 な い で 目 的 が あ る 市 役 所 で し か で	所 支 に 所 行 で く 手 続 き が 完 了 せ ず か ら 市 役	役 い こ 所 の と が 不 明 だ る こ と を 考 え た た め か ら 市	そ の 他
全 体	2,179	78.5	7.4	18.4	7.2
会社員	672	78.6	5.7	16.7	7.9
公務員	117	76.9	5.1	17.9	6.8
自営業・自由業	145	79.3	6.2	16.6	9.0
農業・漁業・林業	14	85.7	14.3	7.1	7.1
パート・アルバイト	348	81.3	8.3	18.1	5.5
家事専業	236	80.9	8.1	19.5	5.5
学生（高校・大学・専門学校）	58	87.9	6.9	8.6	3.4
無職	492	74.6	9.8	23.4	7.1
その他	86	74.4	5.8	14.0	15.1

● 「支所ではなく市役所でしかできない目的があったから」と回答した方の、市役所の利用目的（問8）

- ・ マイナンバーカード、戸籍・住民票・印鑑証明が多く、全体の傾向と大きな差はない。



● 「4. その他」の主な記入内容

- ・ ついででの用事があった
- ・ 自宅が市役所から近いから

＜支所の利用状況について＞

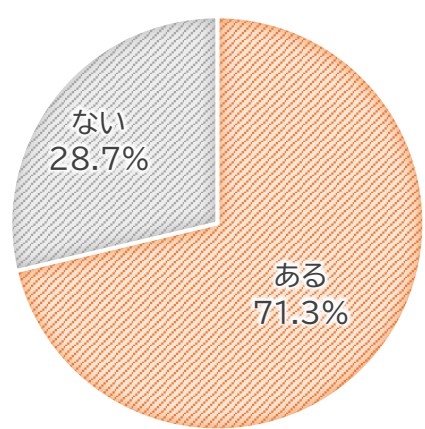
【問 1 1】の 1 年で『支所』を利用されたことがありますか。(いずれか 1 つ)

1. ある ⇒ 【問 1 2】 へお進みください
- (どこの支所を利用されましたか。支所名 :)
2. ない ⇒ 【問 1 3】 へお進みください

● 全体集計

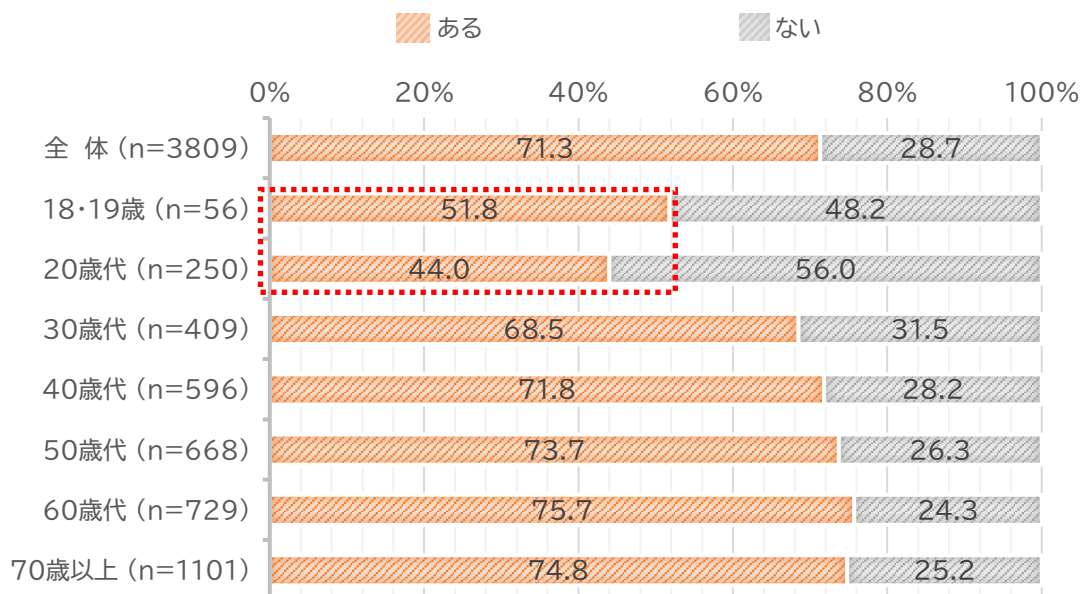
- ・ 「ある」が 71.3%を占めている。

	全 体	あ る	な い
全 体	3,814	71.3	28.7



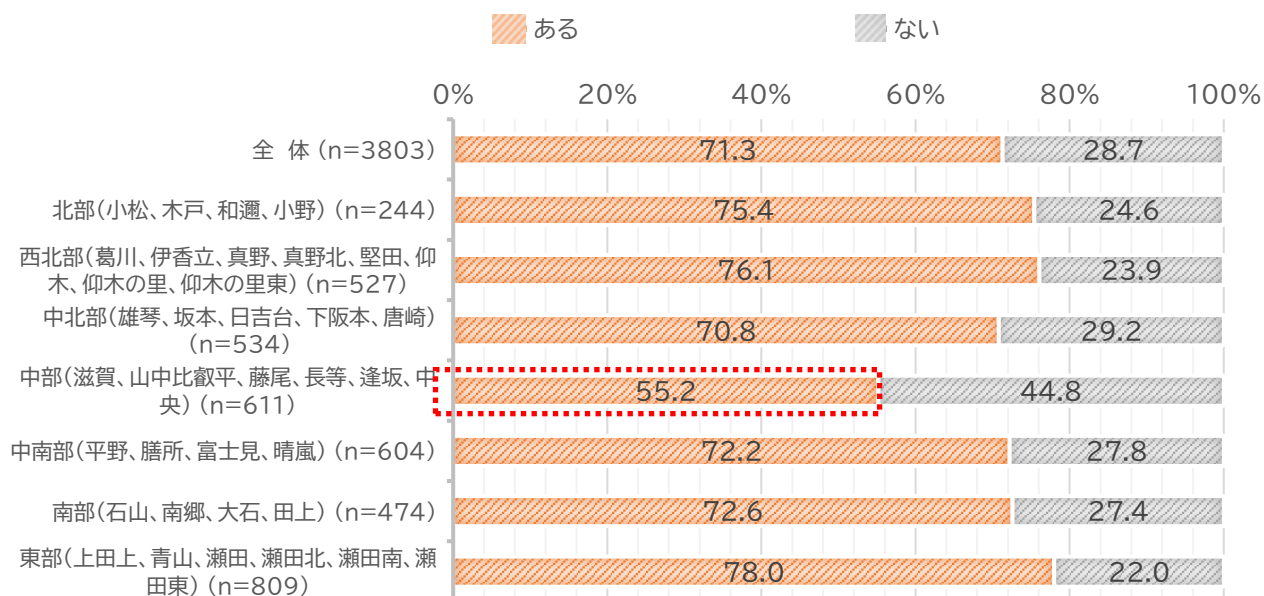
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 「ある」が18・19歳では51.8%、20歳代では44.0%と他年齢より少ない。



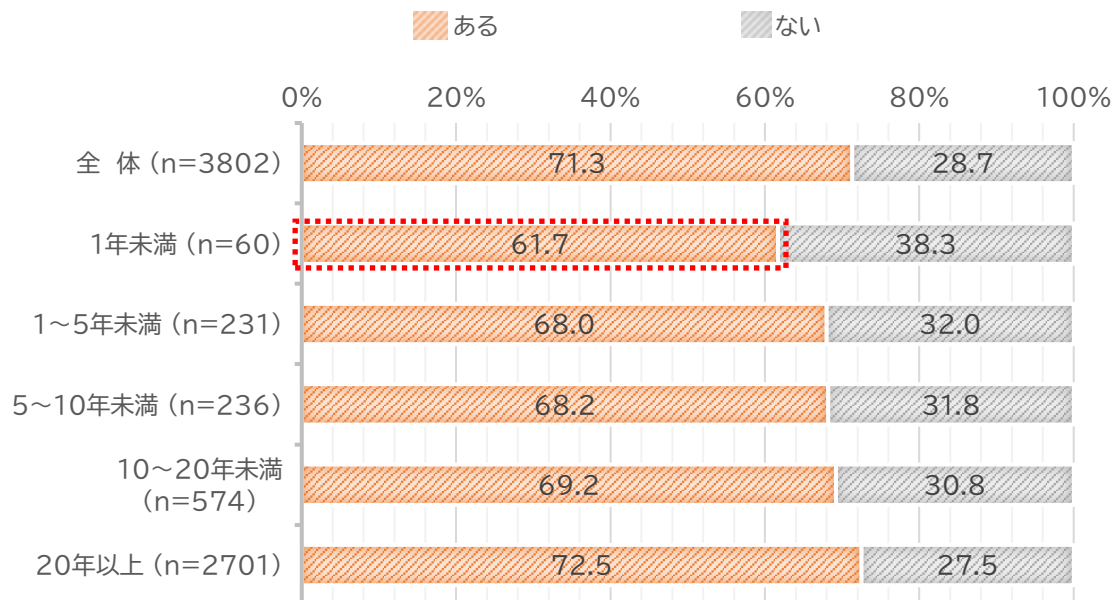
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 「ある」が中部では55.2%と他地区より少ない。



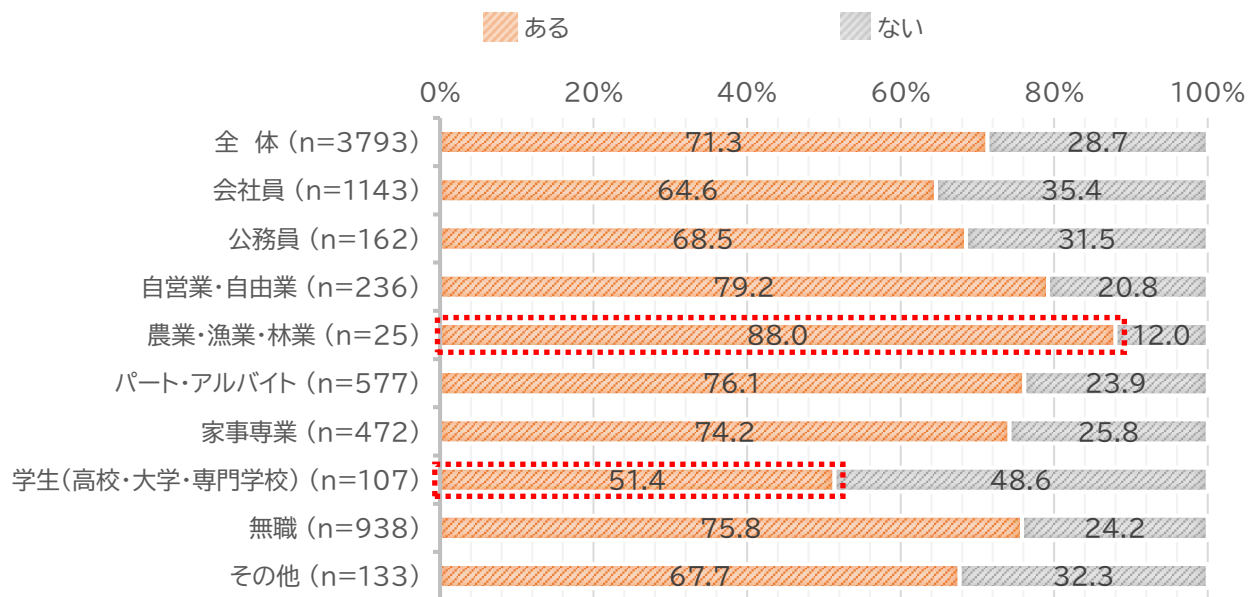
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 「ある」が1年未満では61.7%と他期間より少ない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 「ある」が農業・漁業・林業は88.0%と他職業より多く、学生は51.4%と少ない。



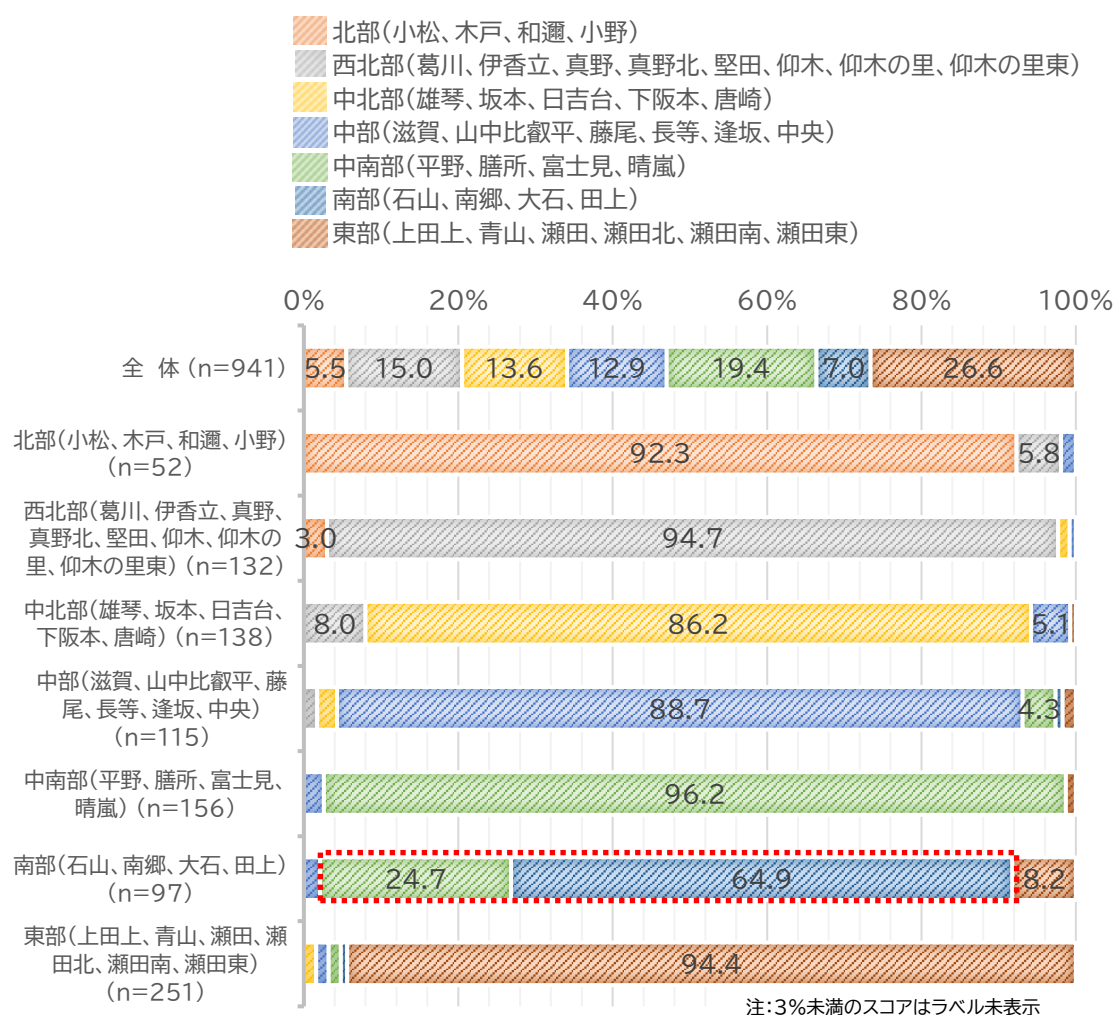
● 「4. その他」の主な記入内容

- ・ 期日前投票
- ・ 会社・自宅に近い
- ・ 支所のほうが、車が停めやすい

【問 1 1 ・ 詳細】 支所を利用したことが「ある」方が利用した支所

● 居住地区（問 2）別クロス集計

- ・ 居住地の支所を利用している割合が、北部では 92.3%、西北部では 94.7%、中北部では 86.2%、中部では 88.7%、中南部では 96.2%、東部では 94.4%と大半を占めている。
- ・ 居住地が南部の方は、中南部が 24.7%、南部が 64.9%と他地区より居住区以外に分散している。



※この１年で支所を利用したことが「ある」方のみ【問１１】

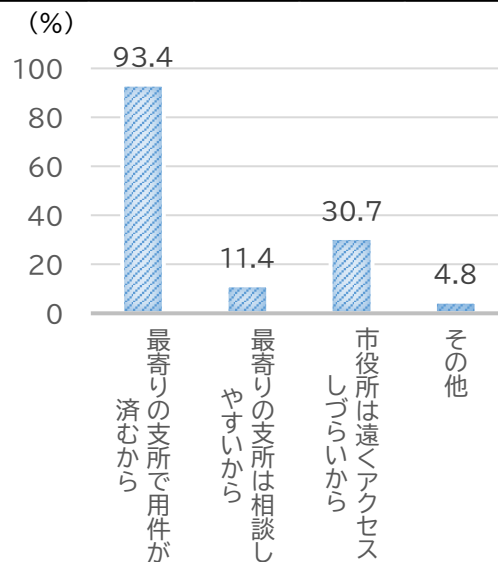
【問１２】市役所ではなく支所を利用される場合の理由をお伺いします。
(複数選択可)

1. 最寄りの支所で用件が済むから
2. 最寄りの支所は相談しやすいから
3. 市役所は遠くアクセスしづらいから
4. その他

● 全体集計

- ・ 「最寄りの支所で用件が済むから」が 93.4%と最も多く、次いで「市役所は遠くアクセスしづらいから」が 30.7%と多い。

	全 体	済 む か ら の 支 所 で 用 件 が	や す い か ら の 支 所 は 相 談 し	し づ ら い か ら 遠 く ア ク セ ス	そ の 他
全 体	2,710	93.4	11.4	30.7	4.8

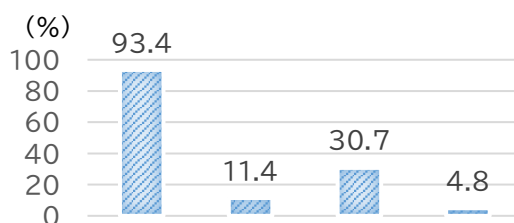


● 「４．その他」の主な記入内容

- ・ 家から近いから
- ・ 待ち時間も少ないから
- ・ 駐車場が広いから
- ・ 地域密着でとても親切だから

● 年齢（問 1）別クロス集計

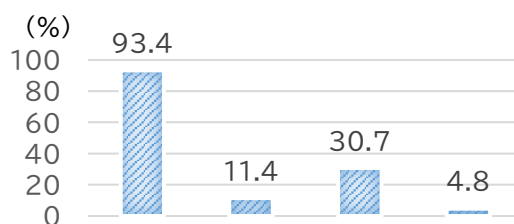
- ・ 70 歳以上では「最寄りの支所は相談しやすいから」が 19.9%と他年齢より多い。
- ・ 18・19 歳、20 歳代では「最寄りの支所は相談しやすいから」がほぼゼロと少ない。



	全 体	か ら 用 件 が の 済 む 所	い は 最 寄 り の 支 所 に お き ま す	ら ア 市 役 所 は 遠 く な い	そ の 他
全 体	2,710	93.4	11.4	30.7	4.8
18・19 歳	29	89.7	0.0	41.4	6.9
20 歳代	110	93.6	1.8	32.7	3.6
30 歳代	280	90.0	7.1	36.4	4.6
40 歳代	428	95.1	5.8	27.8	3.7
50 歳代	491	94.1	6.3	27.5	7.1
60 歳代	550	95.8	12.2	30.9	3.5
70 歳以上	819	91.9	19.9	31.5	4.9

● 居住地区（問 2）別クロス集計

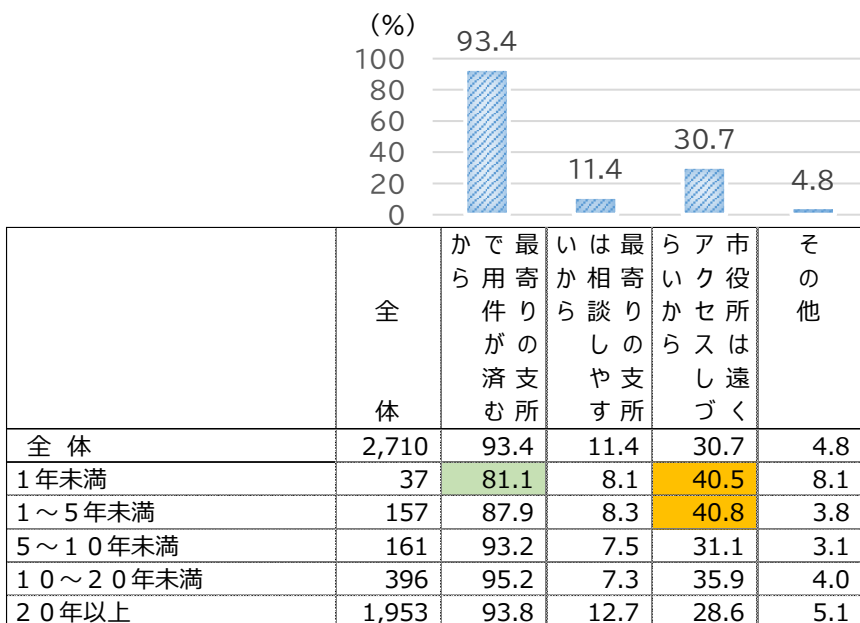
- ・ 中北部・中部では「市役所は遠くアクセスしづらいから」が 20%未満と他地区より少ない。



	全 体	か ら 用 件 が の 済 む 所	い は 最 寄 り の 支 所 に お き ま す	ら ア 市 役 所 は 遠 く な い	そ の 他
全 体	2,710	93.4	11.4	30.7	4.8
北部	184	93.5	13.6	34.2	3.3
西北部	401	92.8	17.0	30.9	5.7
中北部	378	94.2	12.2	18.3	5.0
中部	334	90.1	9.0	19.5	9.0
中南部	433	94.5	8.8	27.7	3.2
南部	342	95.9	12.6	36.3	3.5
東部	631	93.3	9.2	41.8	4.0

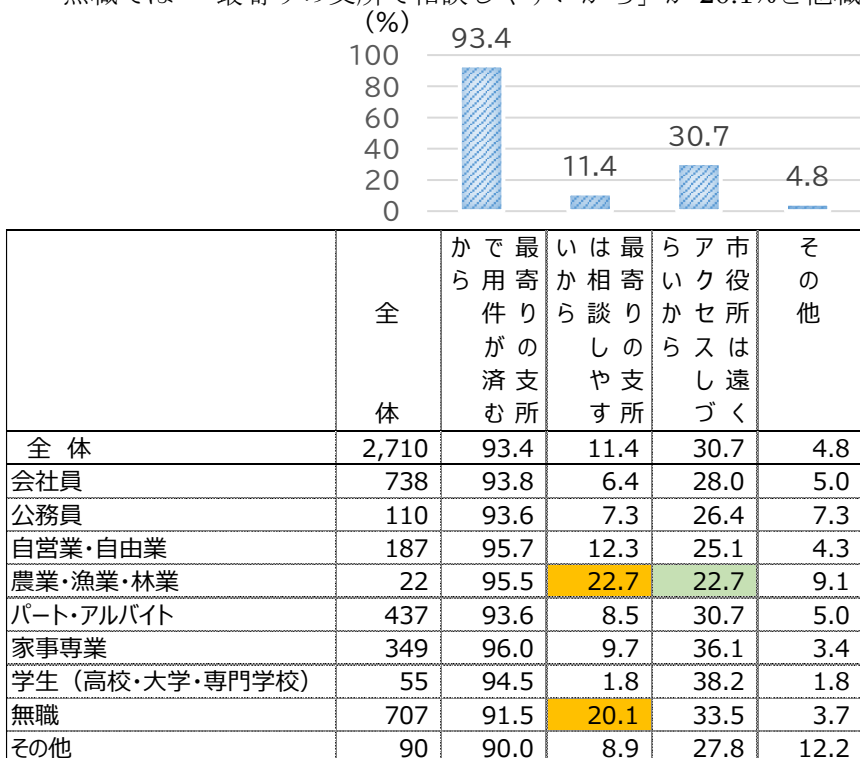
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 1 年未満では「最寄りの支所で用件が済むから」が 81.1%と他期間より少ない。
- ・ 1 年未満、1～5 年未満では「市役所は遠くアクセスしづらいから」が 40%程度と多い。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 農業・漁業・林業では「最寄りの支所は相談しやすいから」が 22.7%と他職業より多く、「市役所は遠くアクセスしづらいから」が 22.7%と少ない。
- ・ 無職では「最寄りの支所で相談しやすいから」が 20.1%と他職業より多い。



<デジタル化した市役所サービスの利用について>

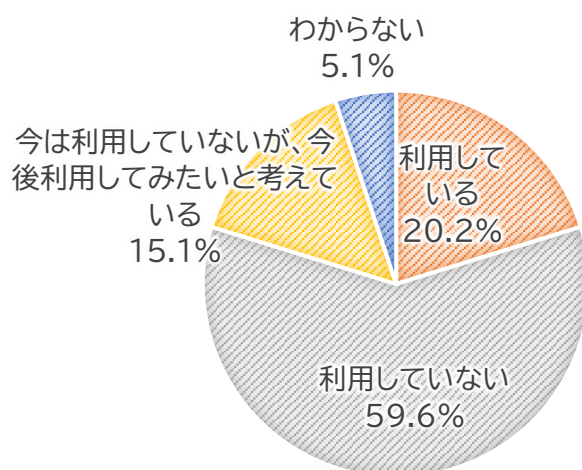
【問１３】オンライン手続き、キャッシュレス、LINE チャットなど、デジタル化した市民サービスは利用されていますか。（いずれか１つ）

- １．利用している ⇒【問１４】へお進みください
- ２．利用していない ⇒【問１５】へお進みください
- ３．今は利用していないが、今後利用してみたいと考えている
⇒【問１５】へお進みください。
- ４． わからない ⇒【問１５】へお進みください

● 全体集計

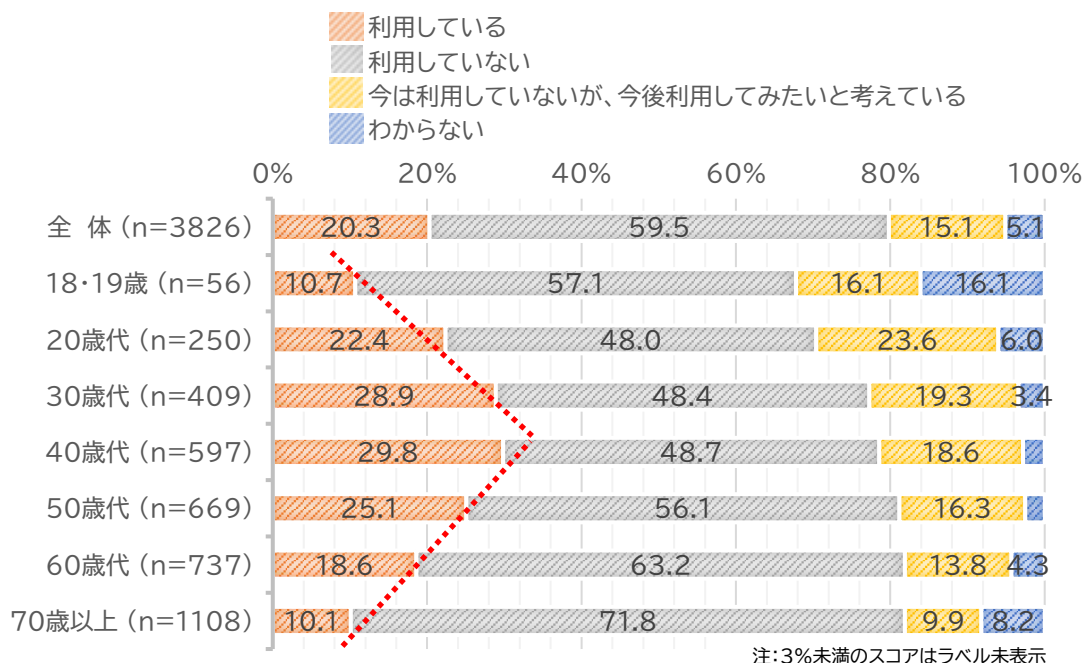
- ・ 「利用していない」が 59.5%と最も多く、次いで「利用している」が 20.2%と多い。

	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	え 今 今 後 は 利 用 し て み た い と 考 え て い る	わ か ら な い
全 体	3,831	20.2	59.5	15.1	5.1



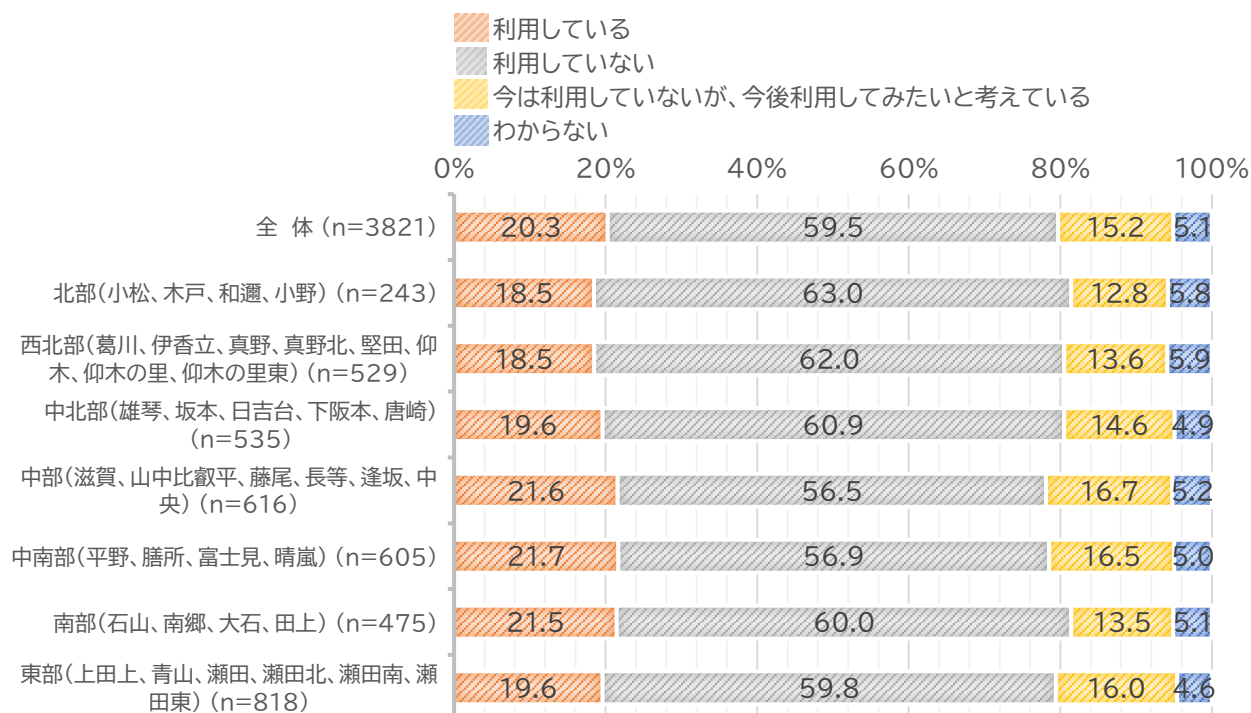
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 「利用している」は30歳代・40歳代で30%程度と最も多く、若い年齢層・高い年齢層になるほど少ない。



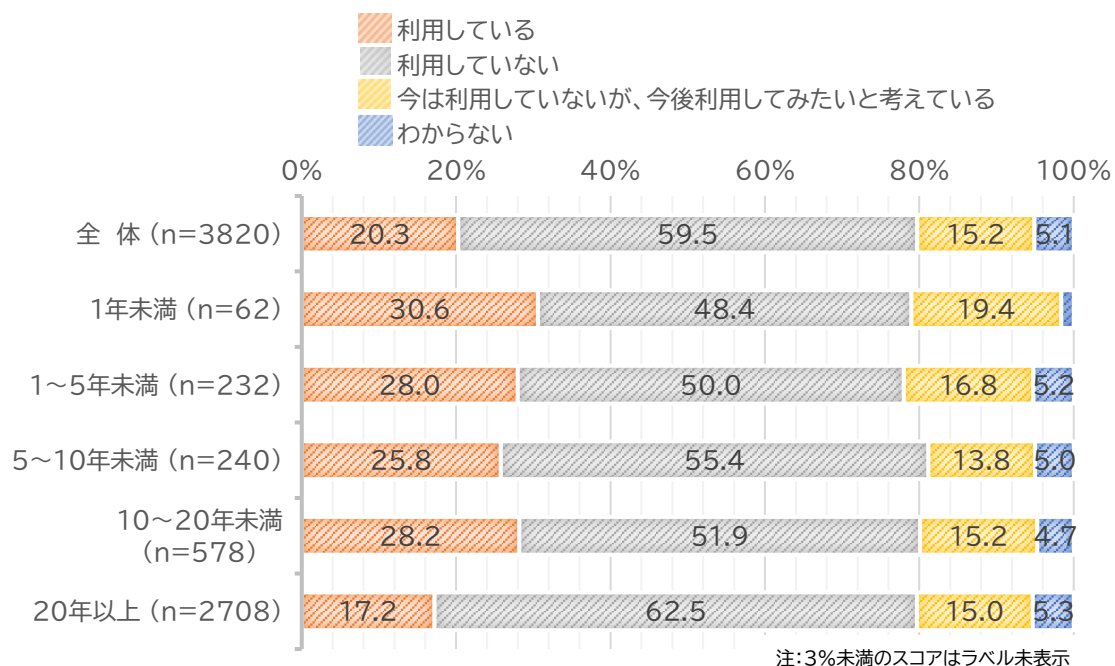
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



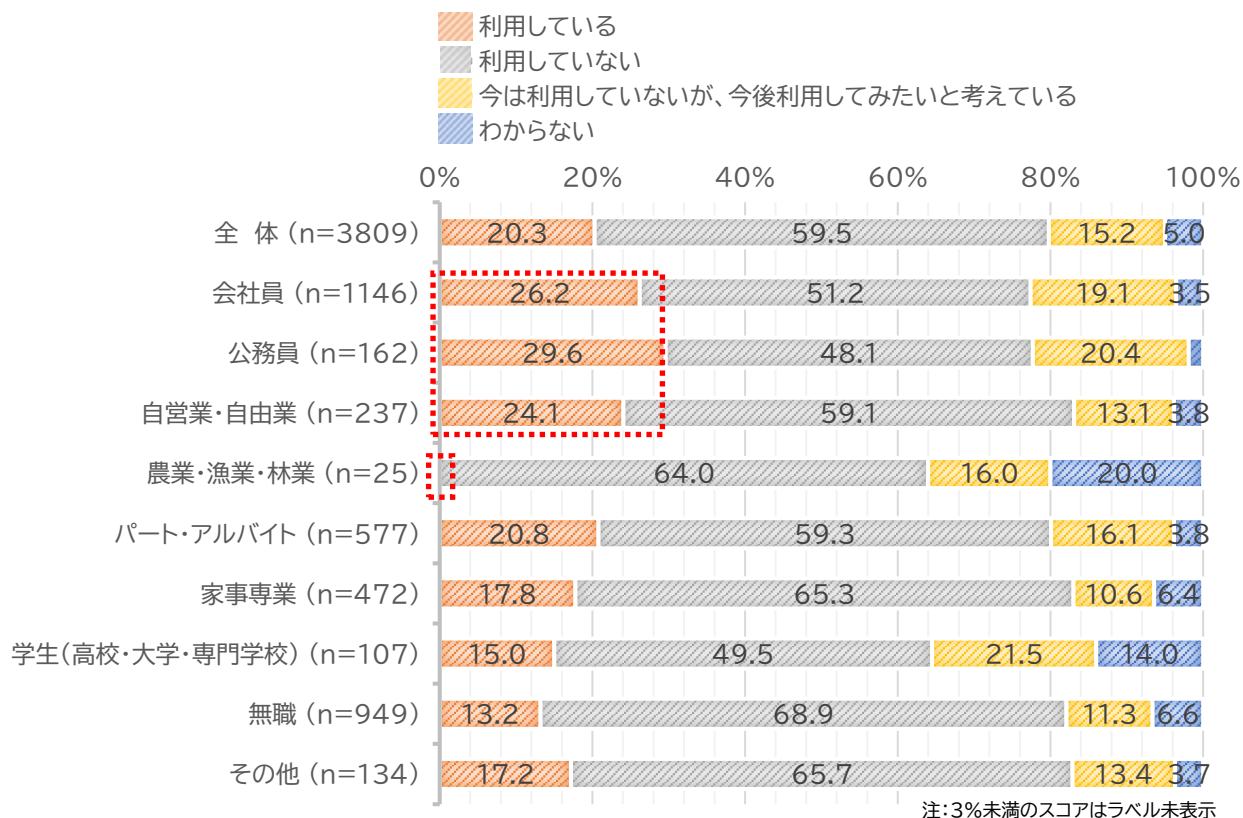
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- 大きな差はないが、1年未満では「利用していない」が48.4%と他期間より少ない。



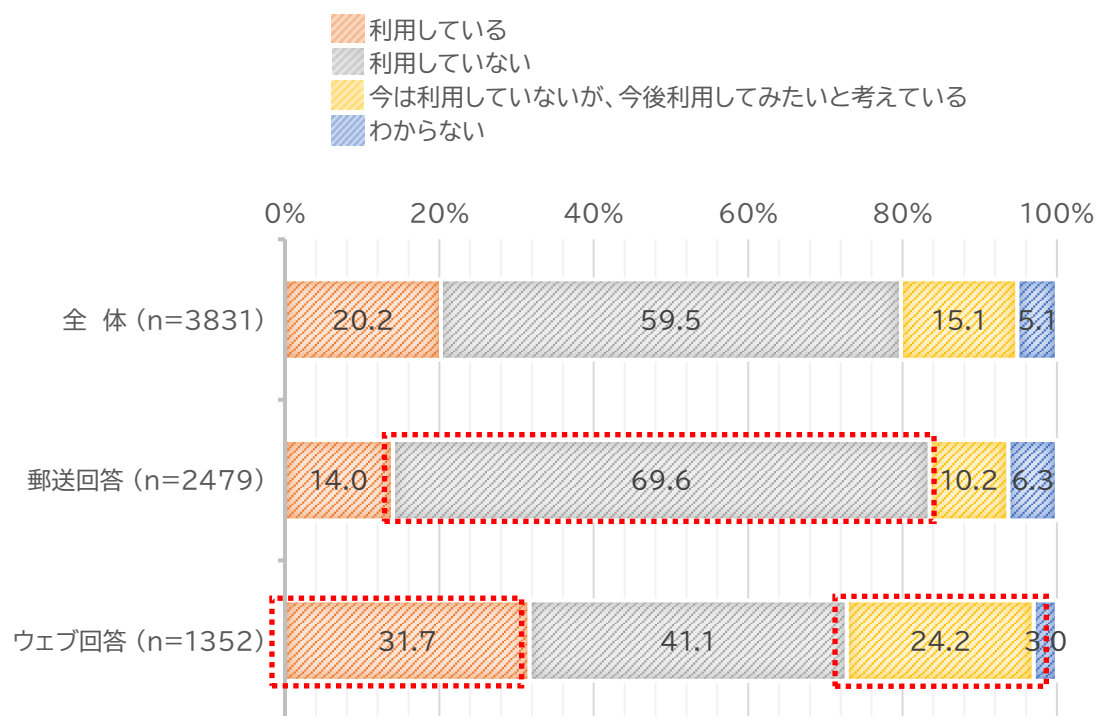
● 職業（問 4）別クロス集計

- 会社員、公務員、自営業・自由業では「利用している」が25-30%程度と他職業より多い。
- 農業・漁業・林業ではデジタル化したサービスの利用者はいない。



● 回答方法（郵送・ウェブ）別クロス集計

- ・ 「利用している」「今は利用していないが、今後利用してみたいと考えている」の割合はウェブ回答が多く、逆に「利用していない」の割合は郵送回答が多い。



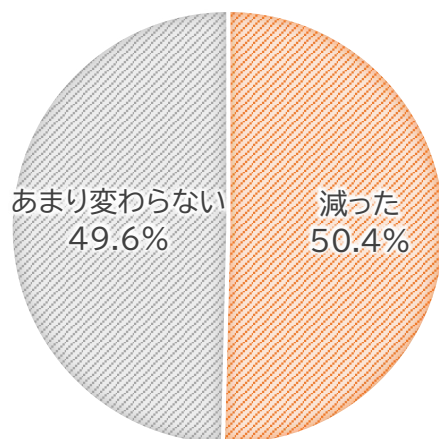
【問 1 4】デジタル化した市民サービスの利用で市役所や支所に行く回数は減りましたか。(いずれか 1 つ)

1. 減った
2. あまり変わらない

● 全体集計

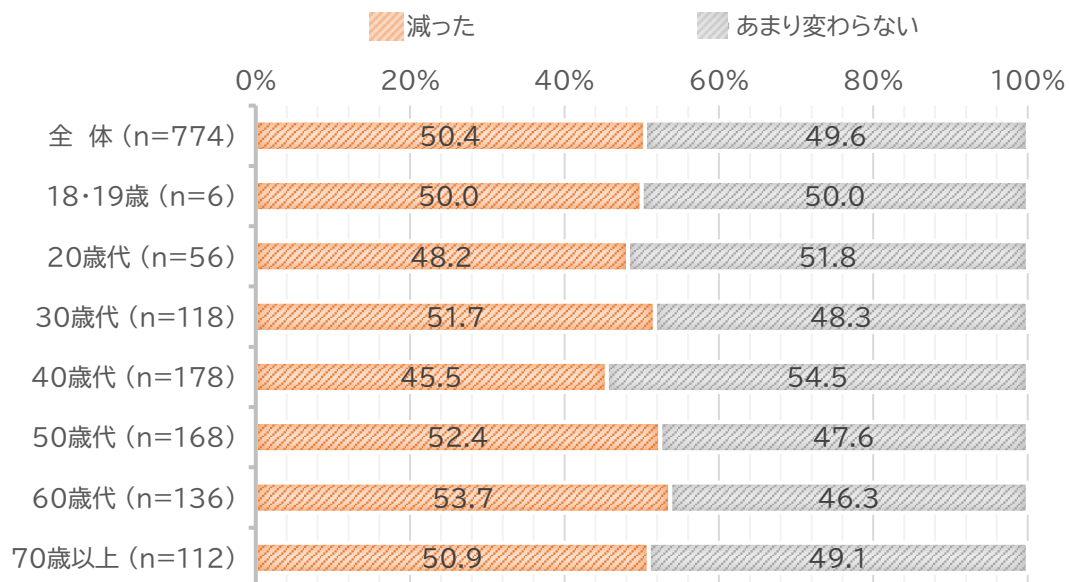
- ・ 「減った」 50.4%、「あまり変わらない」 49.6%とほぼ同数である。

	全 体	減 っ た	あ ま り 変 わ ら な い
全 体	774	50.4	49.6



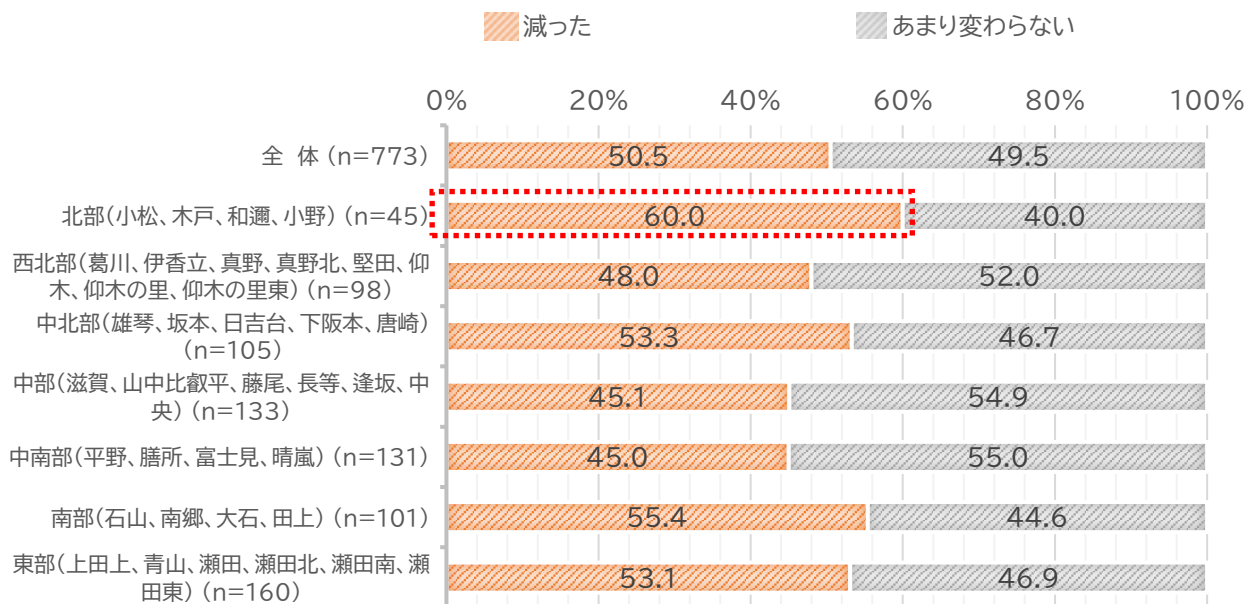
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



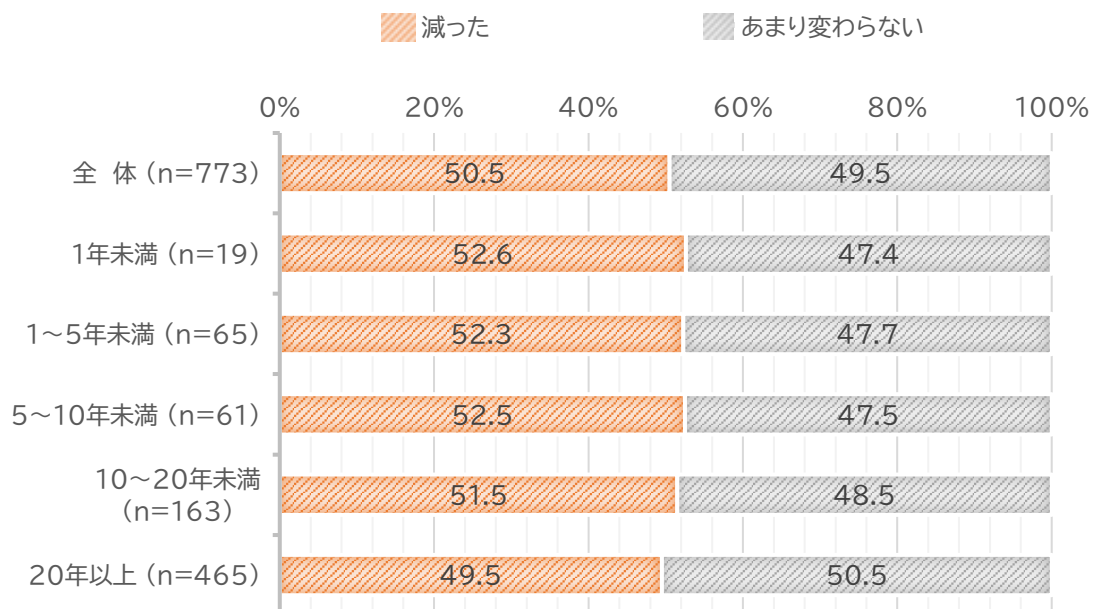
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 北部では「減った」が60%と他地区より多い。



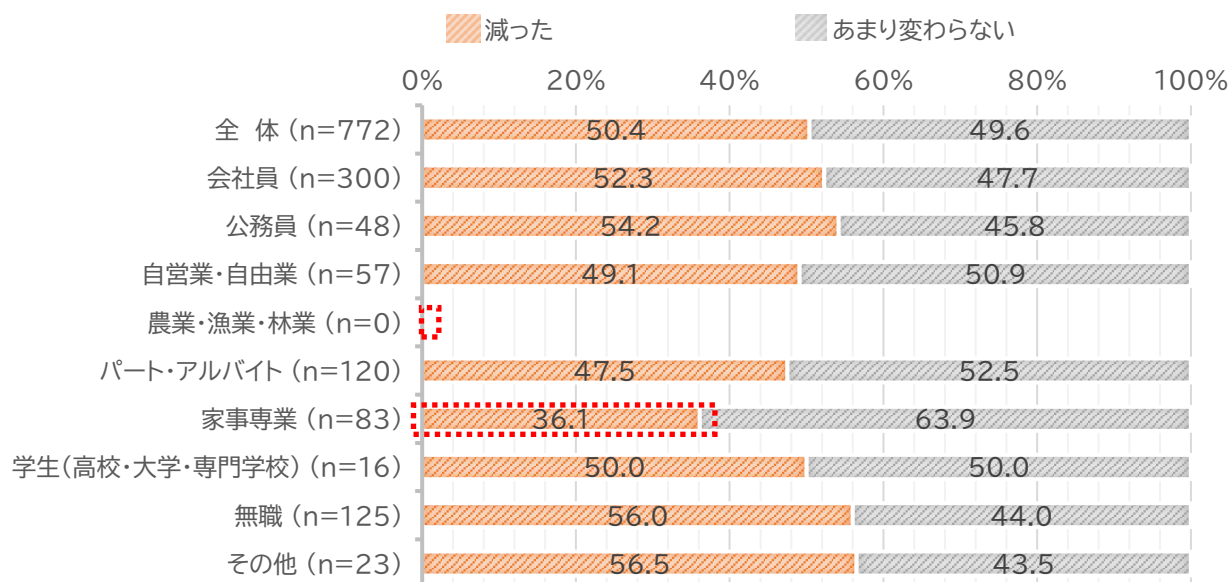
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



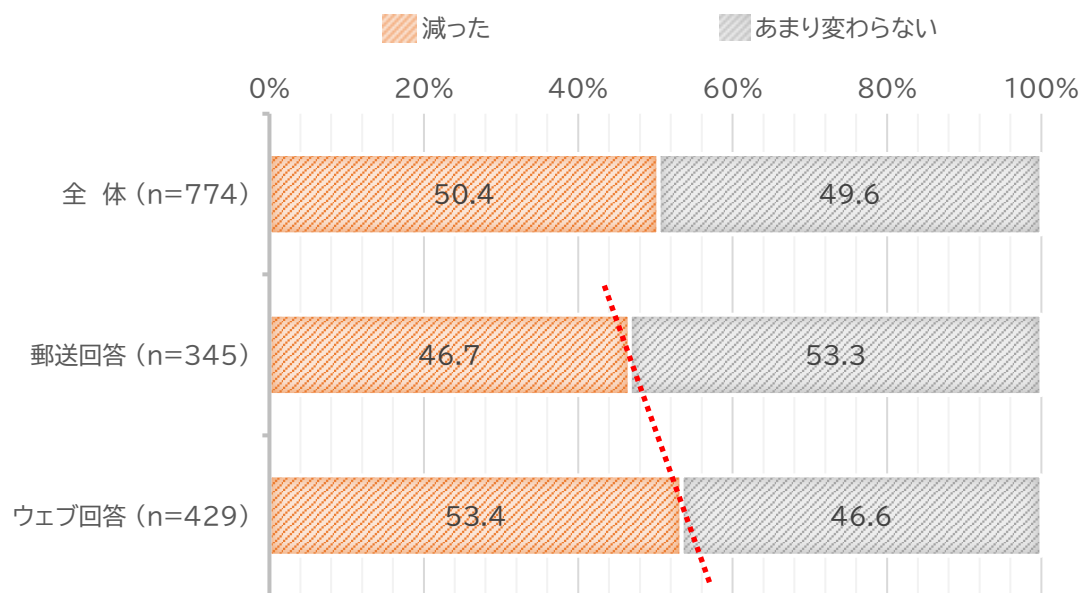
● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 農業・漁業・林業ではデジタル化したサービスの利用者はいない。家事専業では「減った」の割合が他職業より少ない。



● 回答方法（郵送・ウェブ）別クロス集計

- ・ 大きな差はないが、「減った」の割合はウェブ回答がやや多い。



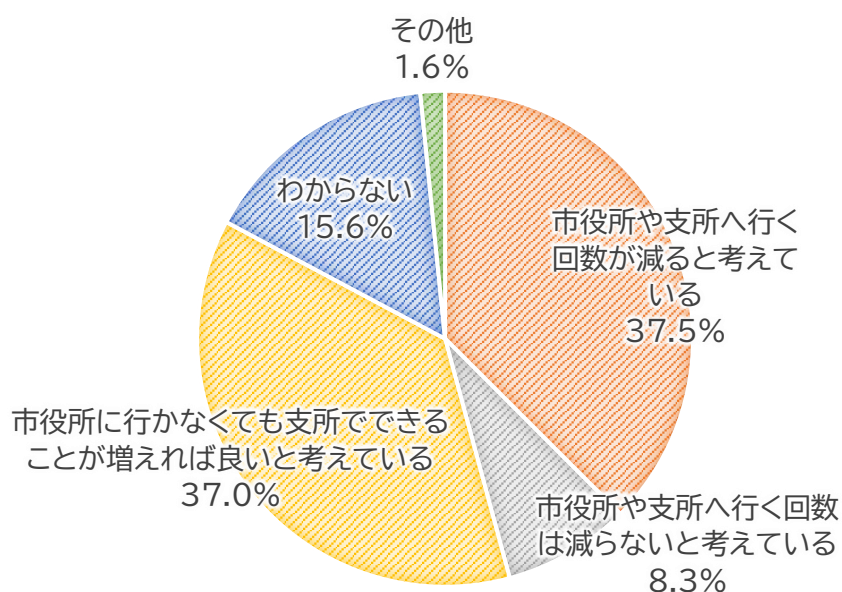
【問１５】今後、市民サービスのデジタル化がさらに進むことで、市役所や支所へ行く回数が減ることに対して期待しますか。（いずれか１つ）

- １．市役所や支所へ行く回数が減と考えている
- ２．市役所や支所へ行く回数は減らないと考えている
- ３．市役所に行かなくても支所でできることが増えれば良いと考えている
- ４．わからない
- ５．その他

● 全体集計

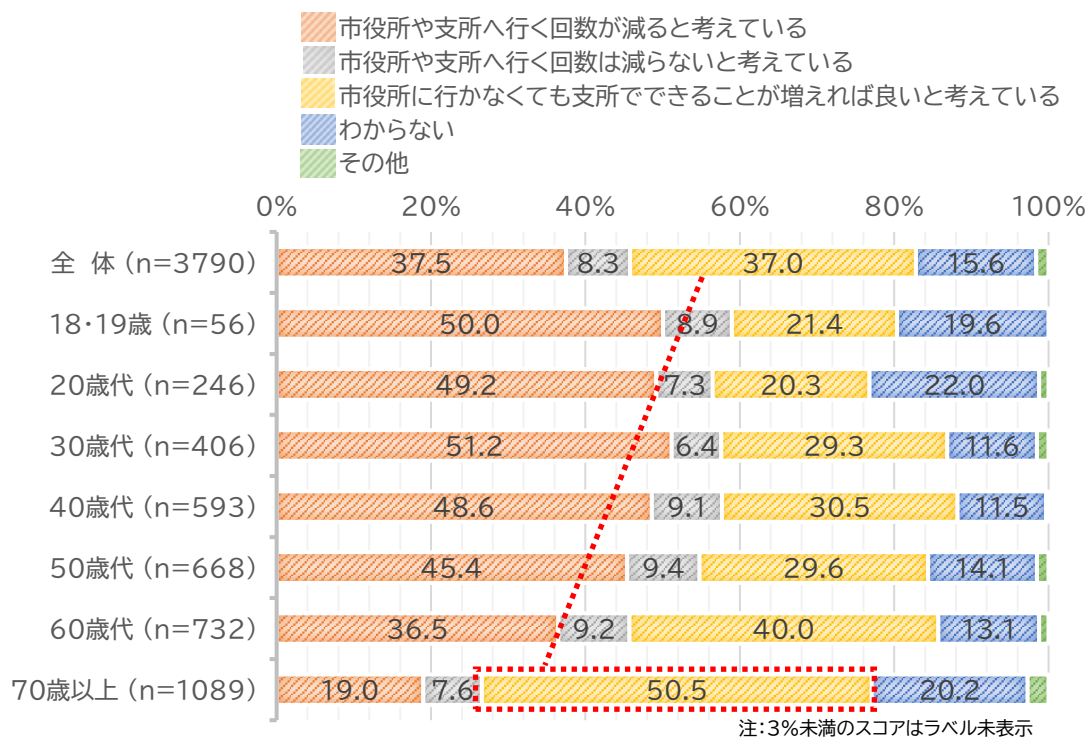
- ・ 「市役所や支所へ行く回数が減る」が 37.5%と最も多く、次いで「市役所に行かなくても支所でできることが増えればよい」が 37.0%と多い。

	全 体	が市 役所 や支 所へ 行く 回数	は市 役所 や支 所へ 行く 回数	ば所市 役所 に 行く 回数	わ か ら な い	そ の 他
全 体	3,795	37.5	8.3	37.0	15.6	1.6



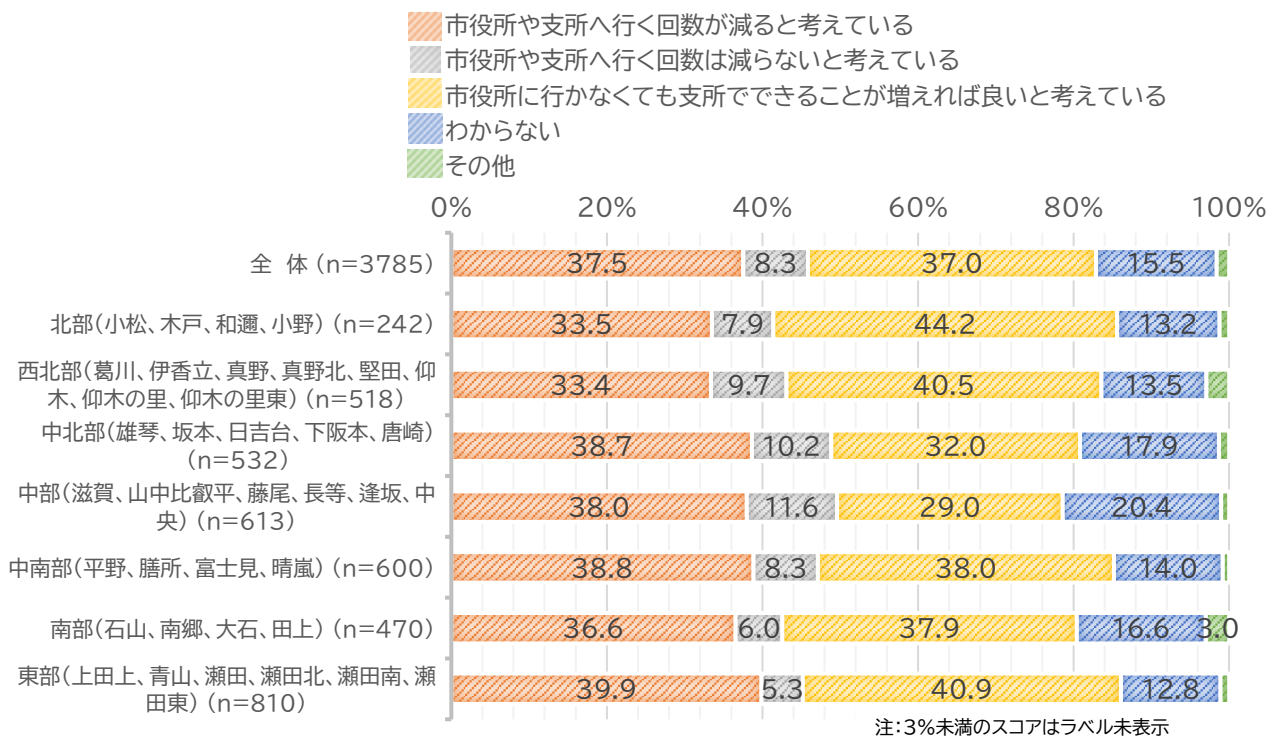
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 年齢が若くなるほど「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が多い。
- ・ 70歳以上は「市役所に行かなくても支所でできることが増えれば良い」と他年齢より多い。



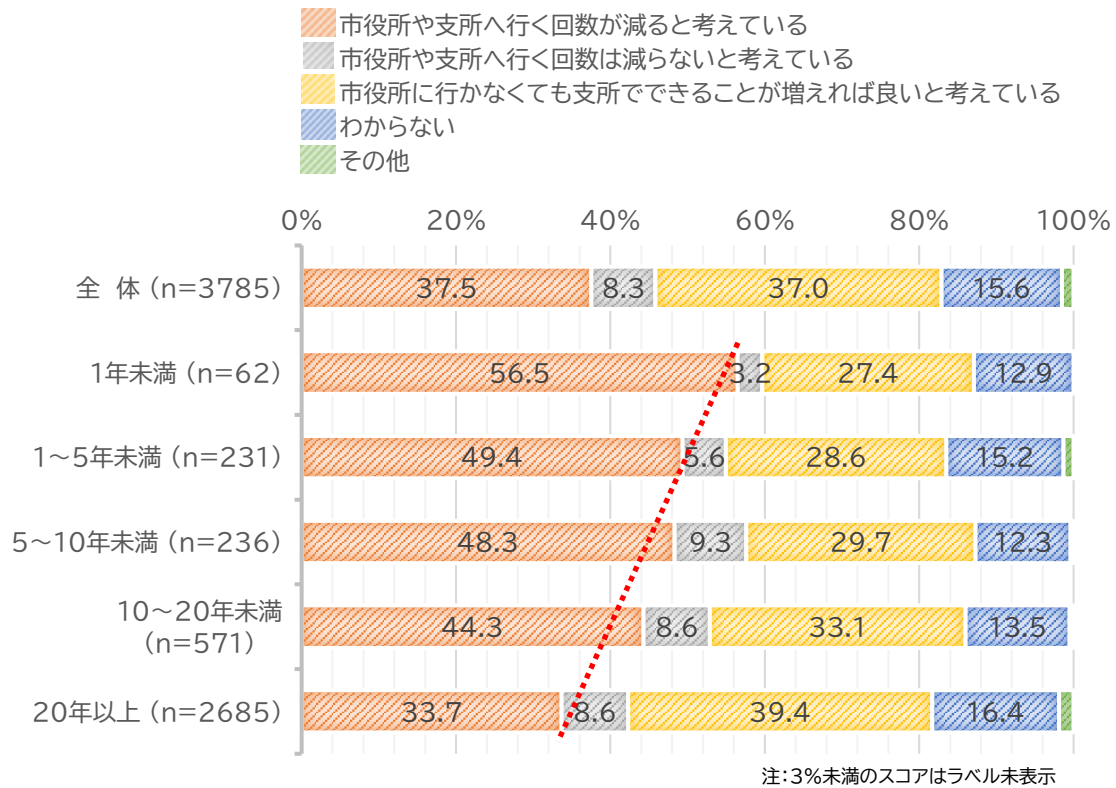
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



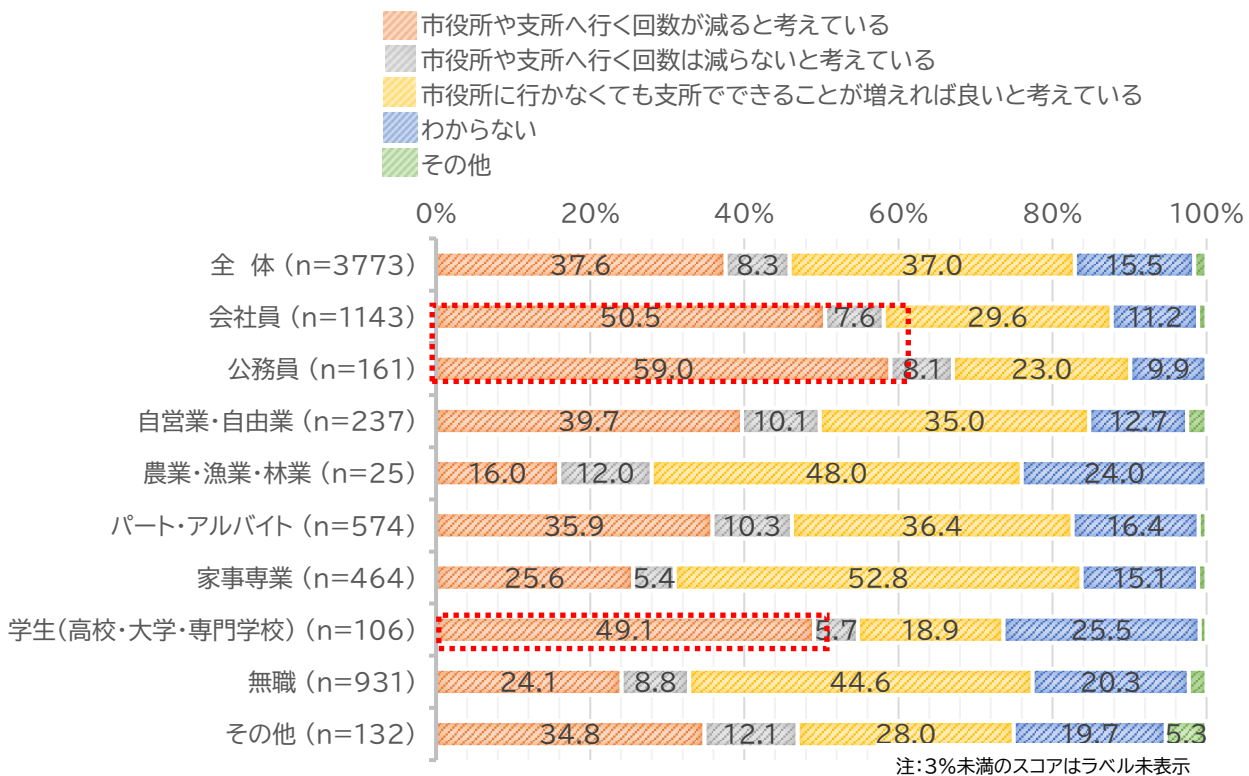
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 在住期間が短いほど「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が多い。



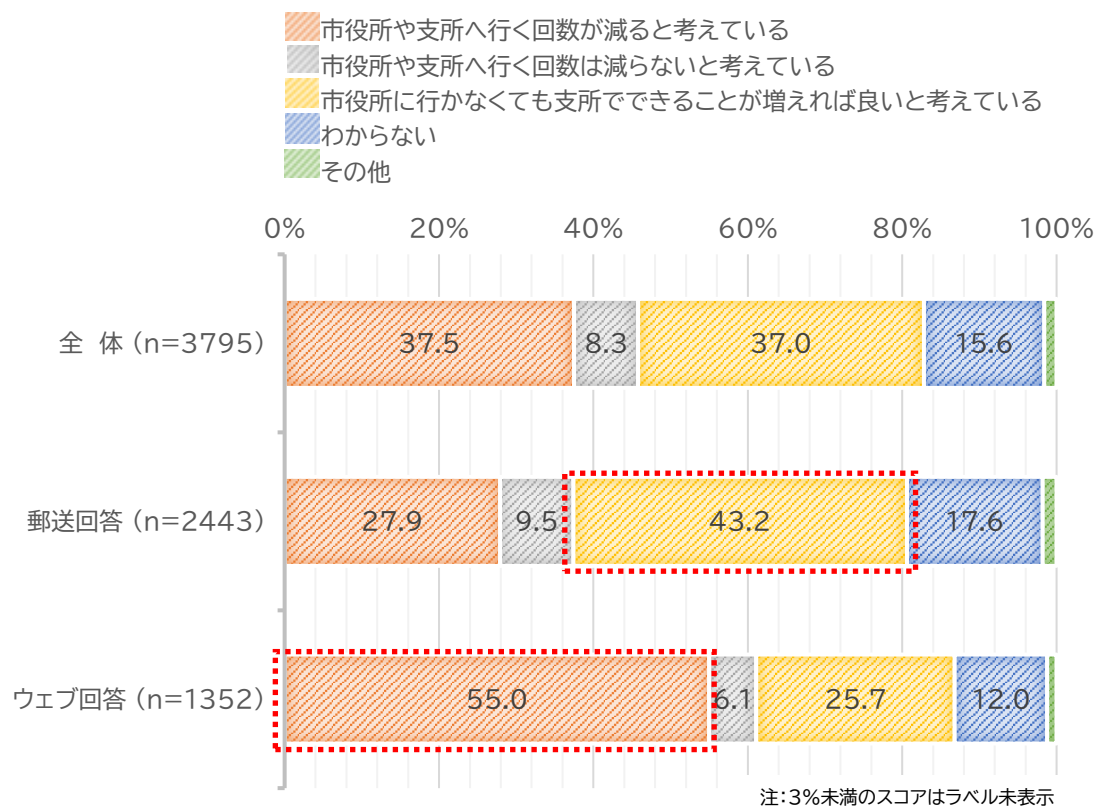
● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 会社員、公務員、学生は「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が他職業より多い。



● 回答方法（郵送・ウェブ）別クロス集計

- ・ 郵送回答は「市役所に行かなくても支所でできることが増えるとよい」が多い。
- ・ ウェブ回答は「市役所や支所へ行く回数が減る」が多い。



● 「5. その他」の主な記入内容

- ・ PC・携帯電話を使わない
- ・ デジタル操作を指導する担当者を作る
- ・ デジタル化が進んでも年寄りにはやり方が分からない
- ・ セキュリティーが万全なら利用する

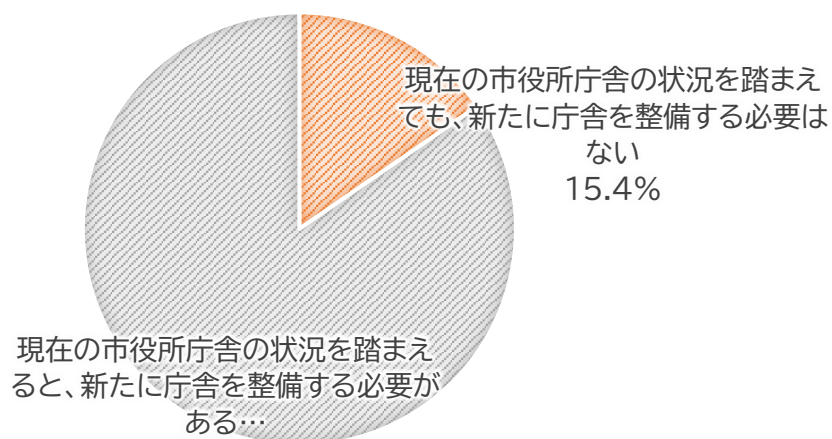
【問 16】今後、市役所庁舎の整備を進めていくことを前提にアンケートに回答
いただいておりますが、改めて、その必要性に対するお考えをお伺いし
ます。(いずれか1つ)

1. 現在の市役所庁舎の状況を踏まえても、新たに庁舎を整備する必要はない
⇒【問 17】へお進みください
2. 現在の市役所庁舎の状況を踏まえると、新たに庁舎を整備する必要がある
⇒【問 18】へお進みください

● 全体集計

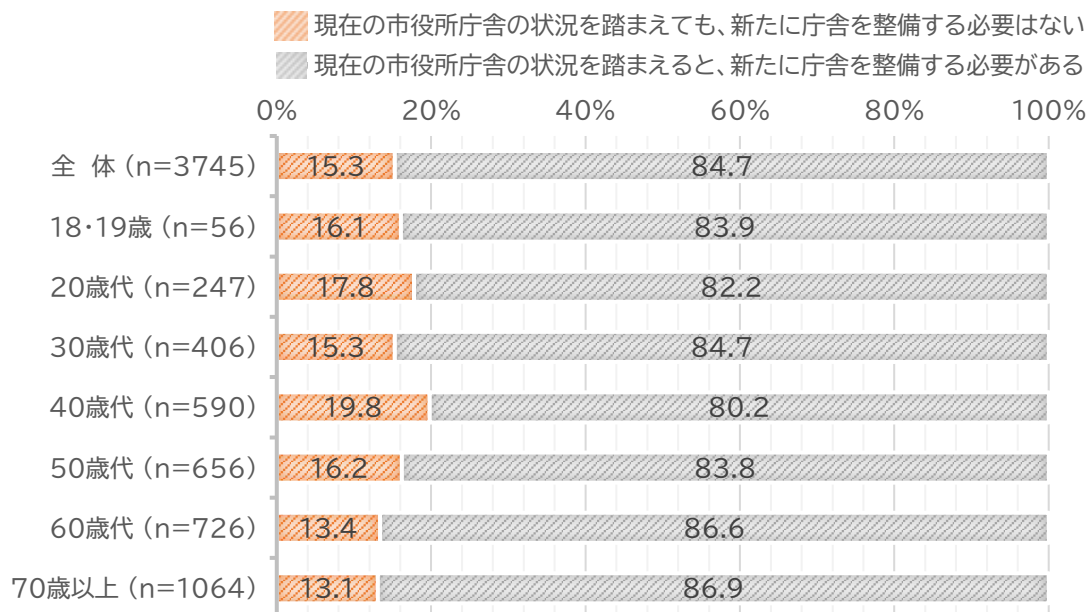
- ・ 「新たに庁舎を整備する必要がある」が 84.6%を占めている。

	全 体	舎を現 を踏ま 整備す るも必 要はな い	舎を現 を踏ま 整備す ると必 要があ る
全 体	3,749	15.4	84.6



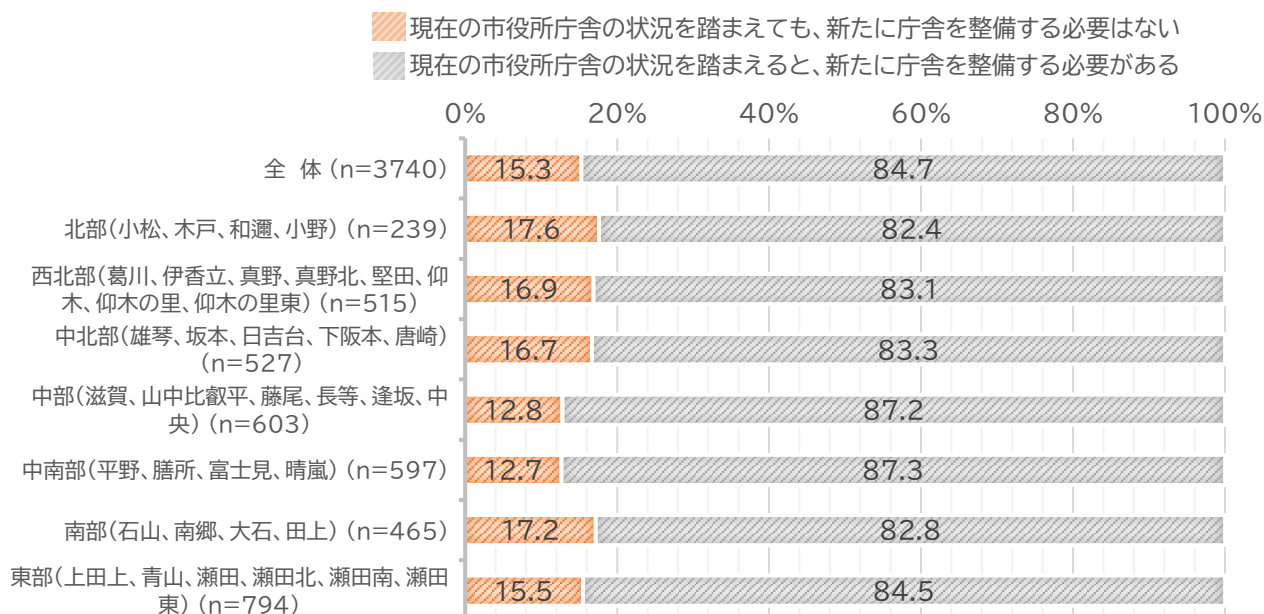
● 年齢（問 1）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



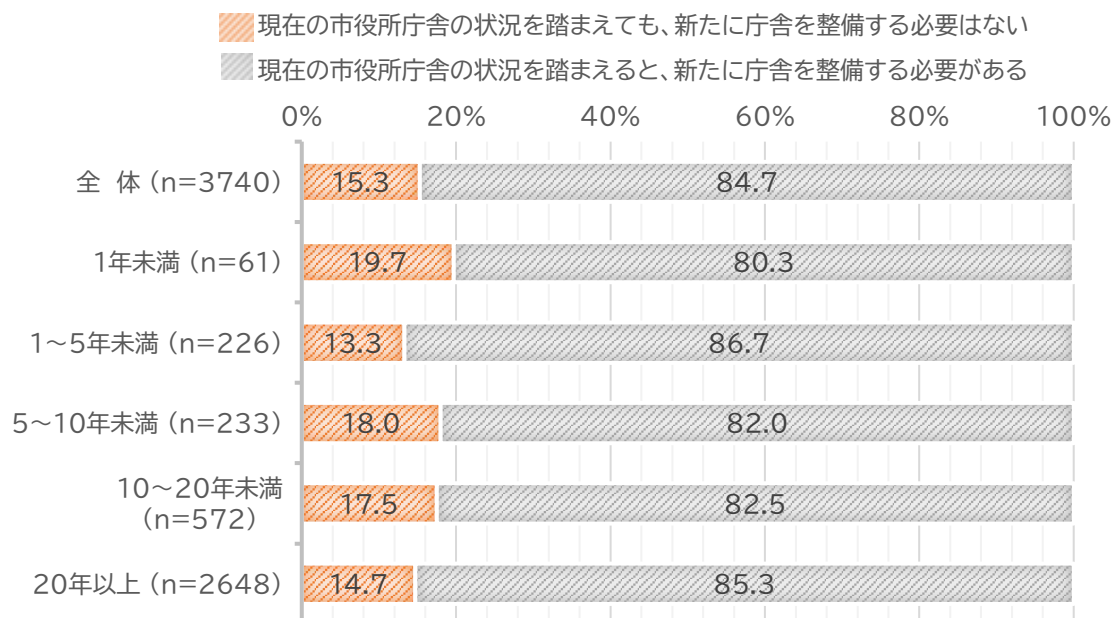
● 居住地区（問 2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



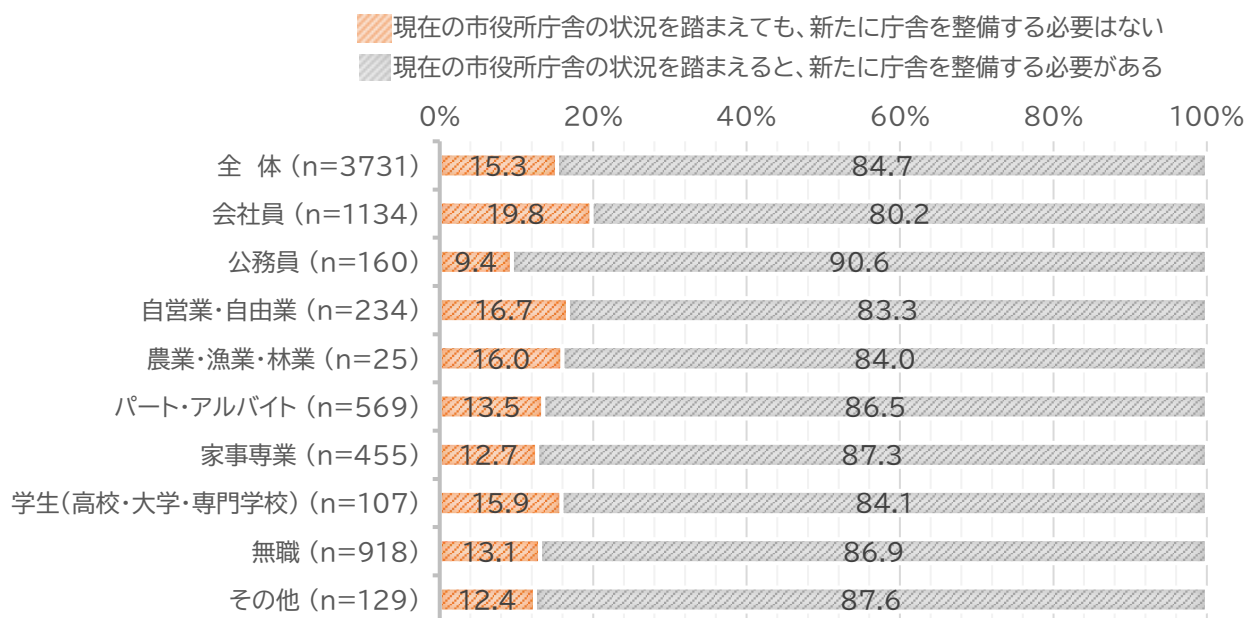
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



※新たに庁舎を整備する必要は「ない」方のみ【問１７】

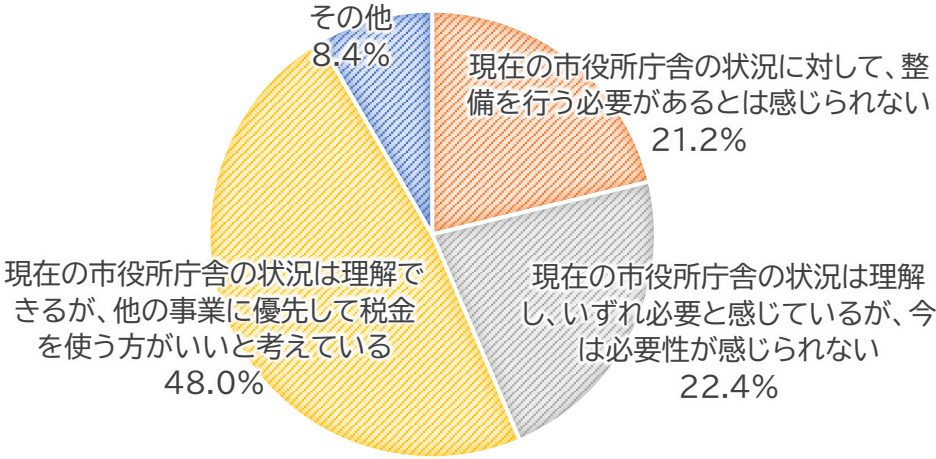
【問１７】市役所庁舎を整備する必要性がないと思う理由をお伺いします。
(いずれか１つ)

1. 現在の市役所庁舎の状況に対して、整備を行う必要があるとは感じられない
2. 現在の市役所庁舎の状況は理解し、いずれ必要と感じているが、今は必要性を感じられない
3. 現在の市役所庁舎の状況は理解できるが、他の事業に優先して税金を使う方がいいと考えている
4. その他（具体的にお書きください）

● 全体集計

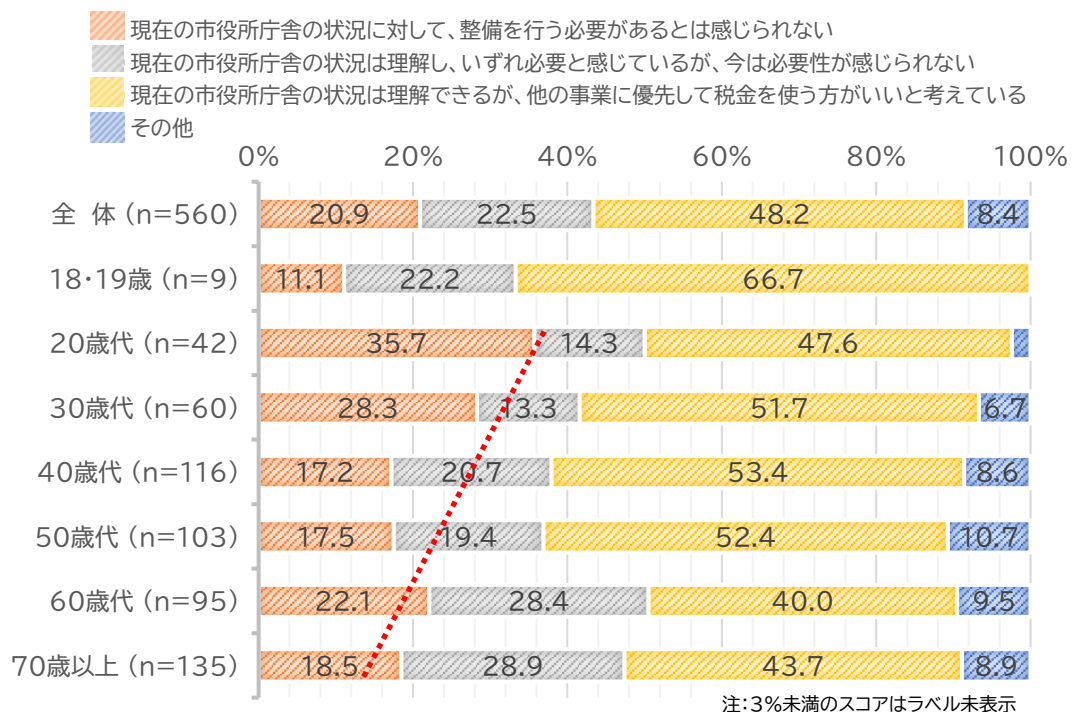
- ・ 「状況は理解できるが、他の事業に優先すべき」が最も多く 48.0%、次いで「状況は理解できるが今は必要性を感じられない」 22.4%、「整備を行う必要性を感じられない」 21.2%が多い。

	全 体	じ て 現 ら 、 れ な い を 役 所 庁 舎 の 状 況 に 対 し て 感 じ ら れ な い	今 し 現 は 、 い の 必 要 な い と 思 う 理 由 が 解 、	を き 現 在 の 市 役 所 庁 舎 の 状 況 に 対 し て 感 じ ら れ な い	そ の 他
全 体	562	21.2	22.4	48.0	8.4



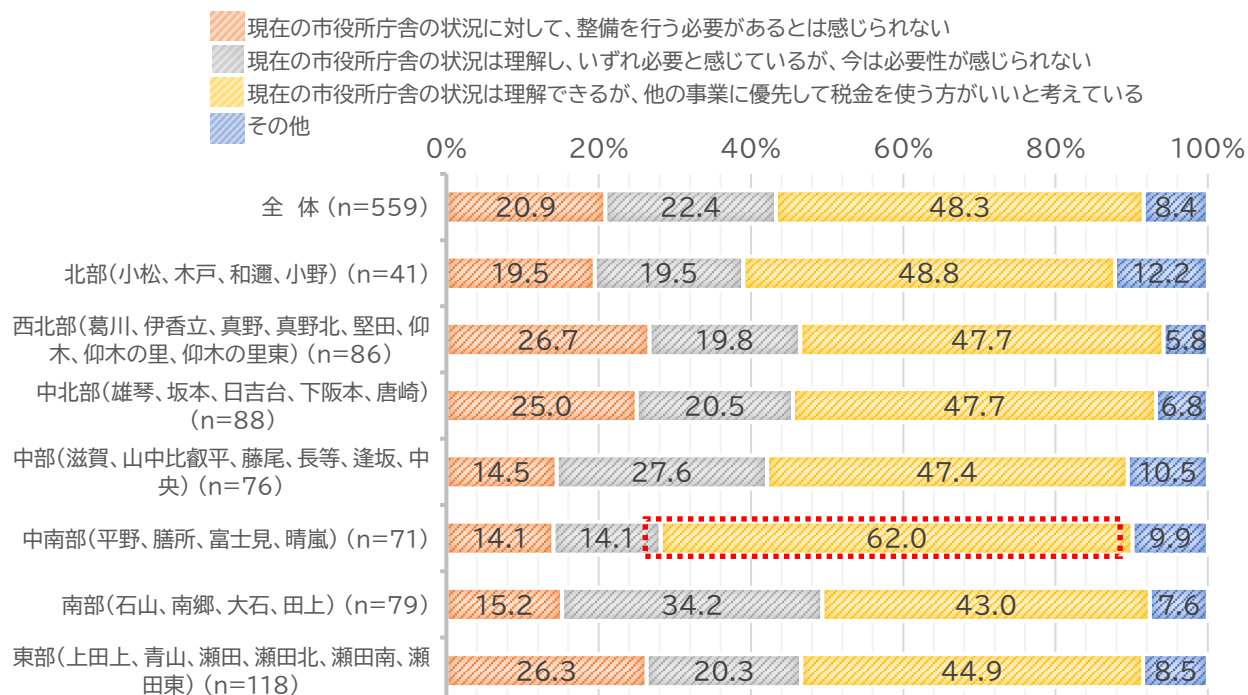
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 年齢が若いほど「整備を行う必要性を感じられない」の割合が多い。



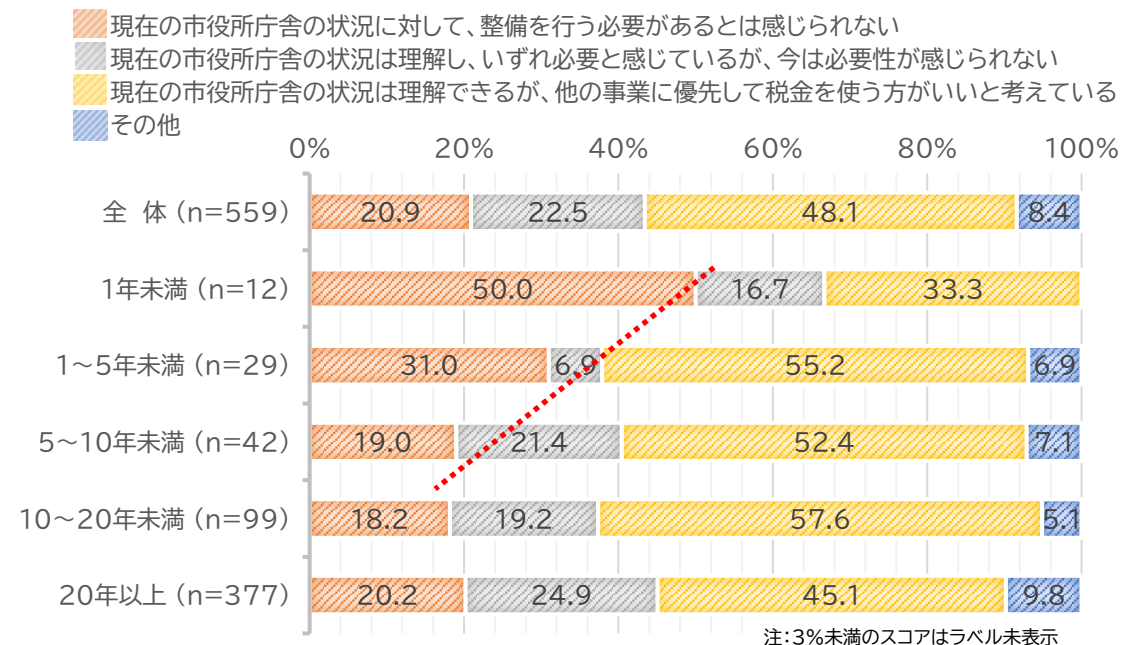
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 中南部では「理解できるが、他の事業に優先するほうがいい」が他地区より多い。



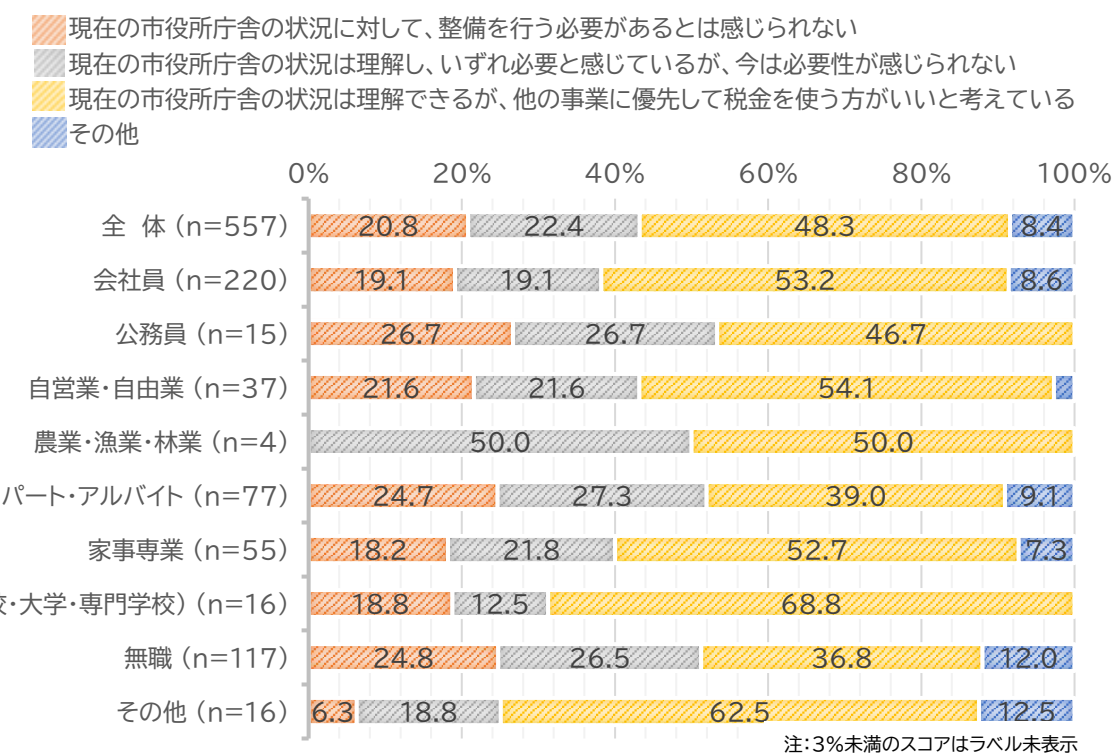
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- ・ 「整備を行う必要性を感じられない」の割合は1年未満50%、1～5年未満で31%と他期間より多い。



● 職業（問 4）別クロス集計

- ・ 農業・漁業・林業以外で大きな差はない。農業・漁業・林業では「整備を行う必要性を感じられない」がおらず、「理解できるが、他の事業に優先するほうがいい」が他職業より多いが、母数が4と少なく一定の傾向とは言い難い。



● 「４．その他」の主な記入内容

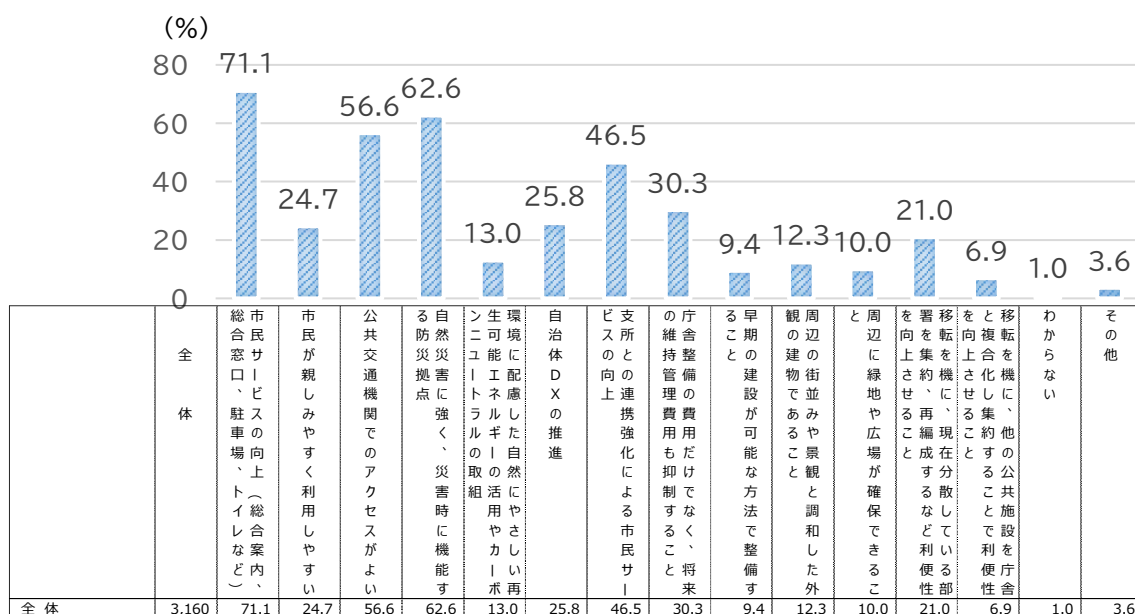
- ・ 県内の他の市庁舎に比べ県庁所在地としても狭隘であり、いずれ新築移転する必要性を感じている。現在、コロナ過で税収入も未定である中での整備は難しいと考える。
- ・ 財政がうるおってはいない市の中で上手にやりくりして下さっている日々だと思います。地震災害にそなえることは重要だと思いますが、大きな予算は子育て世帯、福祉を要する幅広い世帯（障害など）それらの人々を支える施設の方や、教育にまわす方が良いと考えています。
- ・ 建物を整備する費用をデジタル化推進に回してください。システム化したら場所も人もいなくなって、懸念の災害リスクもなくなります。大事な税金無駄使いしないでください。
- ・ このようなアンケートでは、整備の目的、費用がわからず、きれいな方がいい、安全な方がいいという声が多く寄せられる。古いことで、どのような事務効率の低下が起きているのか、新しく整備することの狙い、実現したいことを明確にして、市民に問うべき。
- ・ デジタル化について、その長所・短所を十分に体感して新庁舎の設計に反映して欲しいのですが、そのためできれば５年～１０年の様子見が望ましいと思います。対面重視になる可能性がゼロではないので。（庁舎の即時建設に反対している訳ではありません。）
- ・ デジタル化を進め、役所の人員整理、縮小
- ・ 市民サービスのデジタル化を推進する施策とそれを実行に移す戦略などソフト面の充実に傾注すべきと考える。
- ・ 空きビルなどを居抜きで使用すれば新たに建設する必要はない。
- ・ 後悔先にたたず。（安全第一）キケン地域として明確になっています 考えられる最善策で進めて下さい。

【問 18】市役所庁舎を整備する際にあなたが重要視することについてお伺いします。(最大5つ)

1. 市民サービスの向上（総合案内、総合窓口、駐車場、トイレなど）
2. 市民が親しみやすく利用しやすい
3. 公共交通機関でのアクセスがよい
4. 自然災害に強く、災害時に機能する防災拠点
5. 環境に配慮した自然にやさしい再生可能エネルギーの活用やカーボンニュートラル（CO2 排出削減）の取組
6. 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション:デジタルに不慣れな方でも誰もがデジタル化の恩恵が受けることができる、人に優しいデジタル化社会の実現）の推進
7. 支所との連携強化による市民サービスの向上
8. 庁舎整備の費用だけでなく、将来の維持管理費用も抑制すること
9. 早期の建設が可能な方法で整備すること
10. 周辺の街並みや景観と調和した外観の建物であること
11. 周辺に緑地や広場が確保できること
12. 移転を機に、現在分散している部署（保健所など）を集約、再編成するなど利便性を向上させること
13. 移転を機に、他の公共施設（ホール、スポーツ施設、文化施設など）を庁舎と複合化し集約することで利便性を向上させること
14. わからない
15. その他

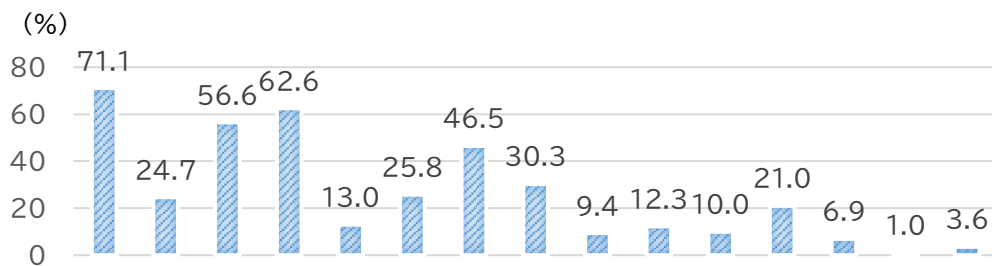
● 全体集計

- ・ 「市民サービスの向上」が最も多く 71.1%、次いで「防災拠点」62.6%、「公共交通でのアクセス」56.6%、「支所との連携強化」46.5%が多い。



● 年齢（問 1）別クロス集計

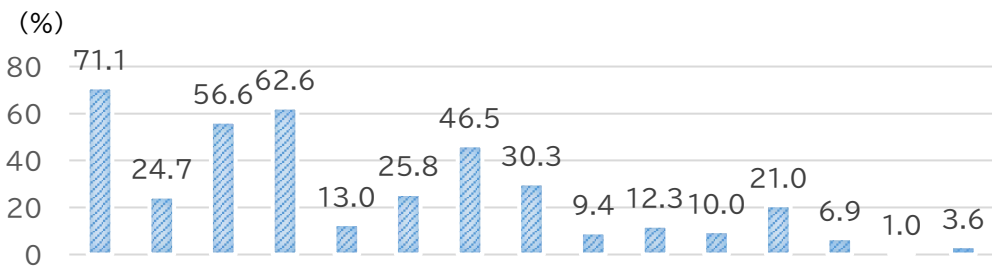
- ・「市民サービスの向上」「防災拠点」「公共交通でのアクセス」の大きな差はない。
- ・「支所との連携強化」の割合は18・19歳、20歳代、30歳代で少ない。



	全 体	市民サービスの向上（総合案内、総合窓口、駐車場、トイレなど）	市民が親しみやすく利用しやすい	公共交通機関でのアクセスがよい	自然災害に強く、災害時に機能する防災拠点	環境に配慮した自然にやさしい再生可能エネルギーの活用やカーボンの削減	自治体DXの推進	支所との連携強化による市民サービスの向上	庁舎整備の費用だけでなく、将来の維持管理費用も抑制すること	早期の建設が可能な方法で整備すること	周辺の街並みや景観と調和した外観の建物であること	周辺に緑地や広場が確保できること	移転を機に、他の公共施設を庁舎と複合化し集約することで利便性を向上させること	移転を機に、現在分散している部署を集約し、再編成するなど利便性を向上させること	わからない	その他
全体	3,160	71.1	24.7	56.6	62.6	13.0	25.8	46.5	30.3	9.4	12.3	10.0	21.0	6.9	1.0	3.6
18・19歳	47	57.4	25.5	51.1	57.4	23.4	25.5	27.7	36.2	8.5	19.1	17.0	8.5	4.3	0.0	2.1
20歳代	203	78.3	27.1	57.1	64.5	6.9	26.1	31.5	29.1	4.4	14.8	10.3	12.8	5.9	1.5	2.5
30歳代	344	74.7	23.8	48.8	64.2	12.5	21.2	36.3	32.3	5.8	13.4	12.5	17.4	5.5	0.6	5.5
40歳代	473	74.0	26.4	53.1	63.4	13.5	22.4	44.0	39.1	7.0	11.4	9.3	18.4	5.1	0.4	4.7
50歳代	550	70.7	23.6	55.5	68.5	13.3	29.3	43.6	36.0	6.2	10.7	8.2	17.1	5.3	0.4	4.4
60歳代	627	73.0	21.9	58.5	64.9	14.4	24.7	49.9	27.1	12.8	11.3	8.3	22.8	8.0	0.2	3.0
70歳以上	914	66.1	25.9	60.8	56.3	12.6	28.0	55.3	23.9	12.8	13.0	11.2	27.2	9.0	2.3	2.7

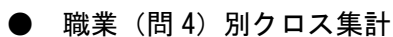
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



	全 体	市民サービスの向上（総合案内、総合窓口、駐車場、トイレなど）	市民が親しみやすく利用しやすい	公共交通機関でのアクセスがよい	自然災害に強く、災害時に機能する防災拠点	環境に配慮した自然にやさしい再生可能エネルギーの活用やカーボンプリントアウトの取組	自治体ＤＸの推進	支所との連携強化による市民サービスの向上	庁舎整備の費用だけでなく、将来の維持管理費用も抑制すること	早期の建設が可能で整備すること	周辺の建物であることと調和した外観の建物であること	周辺に緑地や広場が確保できること	移転を機に、他の公共施設を庁舎と複合化し集約することで利便性を向上させること	移転を機に、現在の分散している部署を集約し、再編成するなど利便性を向上させること	わからない	その他
全体	3,160	71.1	24.7	56.6	62.6	13.0	25.8	46.5	30.3	9.4	12.3	10.0	21.0	6.9	1.0	3.6
北部	196	65.8	26.0	51.0	61.7	14.8	27.6	59.7	26.5	10.7	8.7	7.7	28.1	4.1	1.0	3.1
西北部	425	73.2	24.5	56.2	65.9	14.1	25.6	51.3	28.0	10.4	13.6	7.3	22.6	6.8	0.9	3.5
中北部	439	72.9	27.1	55.4	62.6	12.5	25.7	39.9	28.5	10.0	13.9	13.4	20.0	7.5	2.1	1.6
中部	526	71.7	24.5	54.8	66.2	14.1	23.8	32.1	33.7	10.8	17.9	13.5	22.2	7.6	0.6	4.6
中南部	518	69.7	27.2	60.6	64.1	11.6	25.1	44.8	31.3	9.1	10.4	9.3	19.7	6.8	0.8	4.8
南部	382	72.0	23.0	57.1	61.0	11.8	25.1	55.0	28.8	8.6	10.7	9.2	21.2	7.3	0.5	4.5
東部	668	70.1	21.7	57.2	58.1	13.0	28.3	51.5	31.4	7.6	9.4	8.4	18.3	6.7	1.0	3.1

- ・ 大きな差はない。



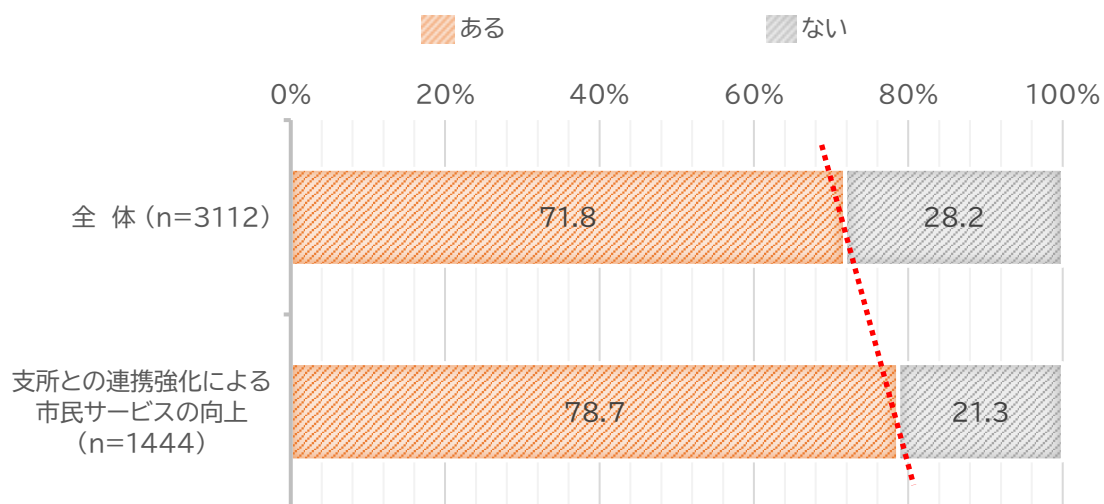
- ・ 大きな差はない。



※「支所との連携強化による市民サービスの向上」と回答した方の他設問の回答傾向

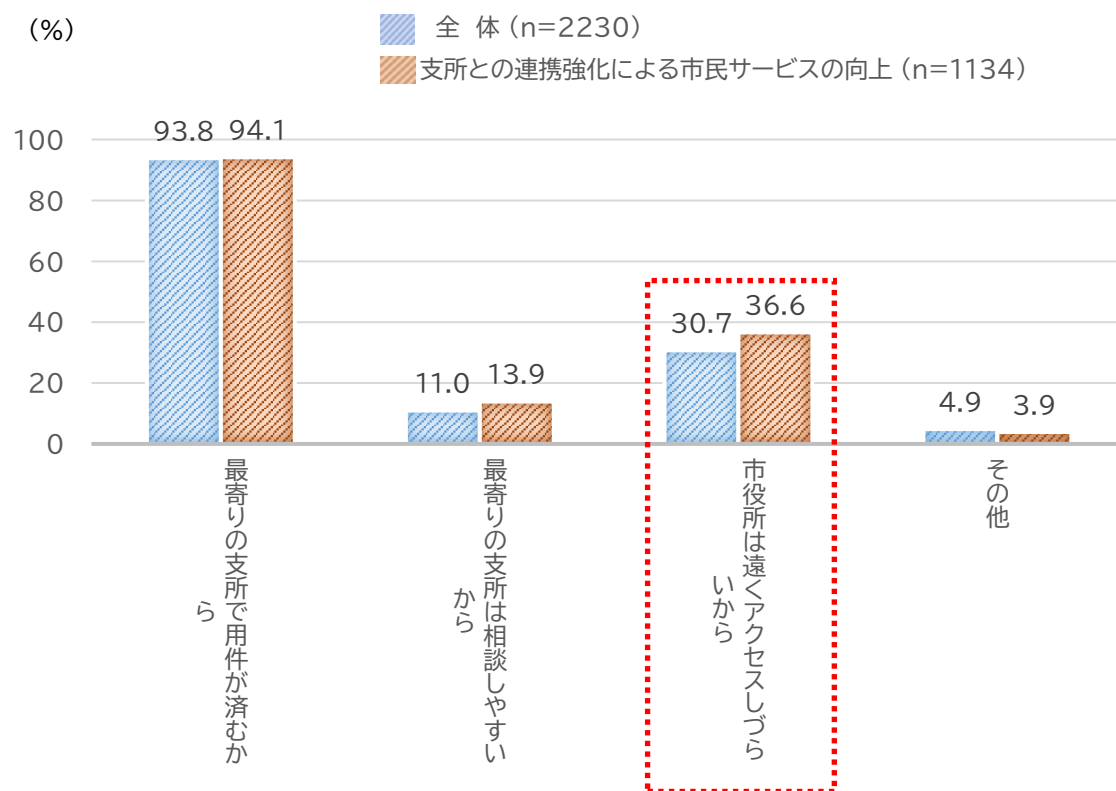
● 直近１年での支所利用（問１１）

- ・ 全体の傾向と大きな差はないが、「ある」と回答する割合がやや多い。



●（支所利用者のみ）市役所ではなく支所を利用する場合の理由（問１２）

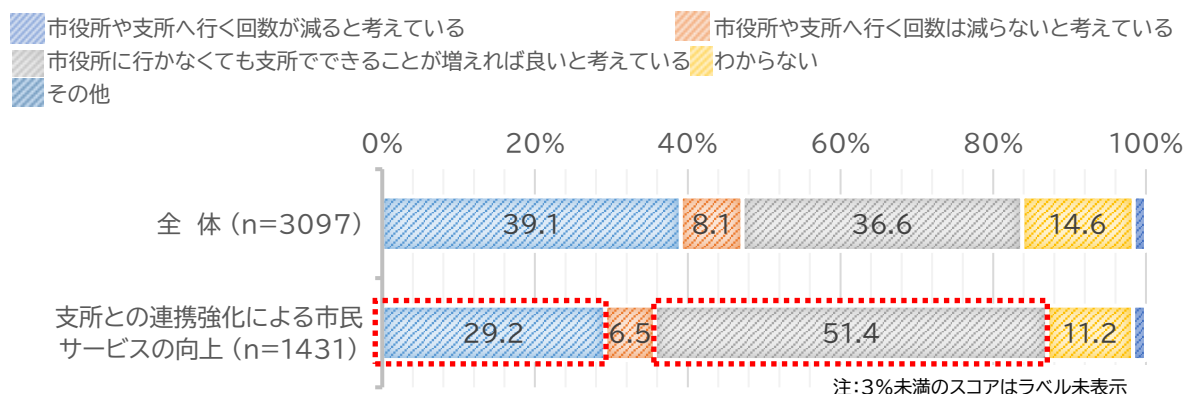
- ・ 大きな差はないが、「市役所は遠くアクセスしづらい」と回答する割合がやや多い。



※「支所との連携強化による市民サービスの向上」と回答した方の他設問の回答傾向

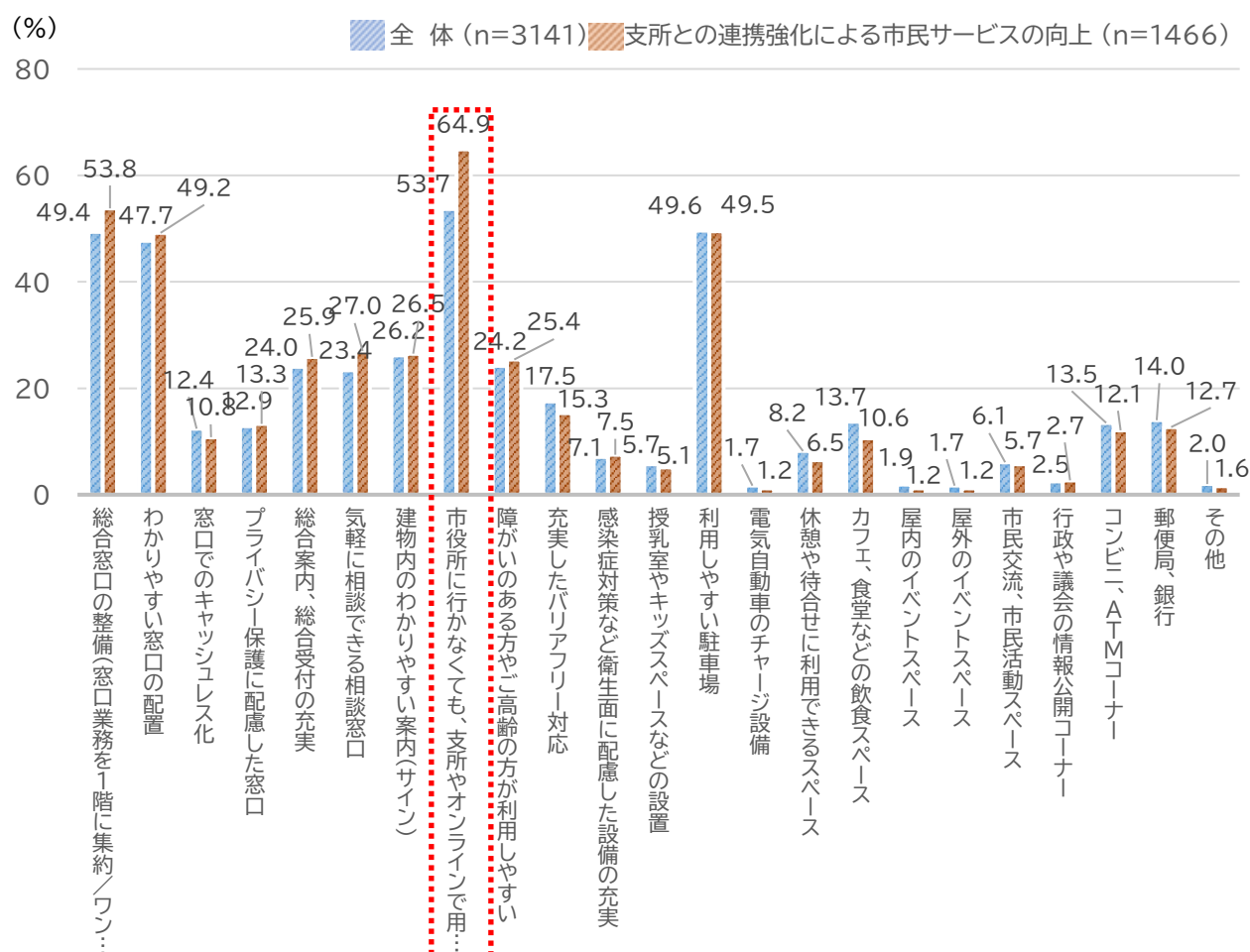
● デジタル化した市民サービスにより、市役所や支所へ行く回数が減ることに対する期待（問18）

- 「市役所や支所へ行く回数が減る」の割合が少なく、「市役所へ行かなくても支所で行くことが増えればよい」の割合が多い。



● 市役所庁舎を整備する際に求める具体的な機能（施設）（問19）

- 大きな差はないが、「市役所に行かなくても、支所やオンラインで用件が済むような環境整備」の割合が多い。



- 「１２．移転を機に、現在分散している部署（保健所など）を集約、再編成するなど利便性を向上させること」の主な記入内容（具体的な部署）
 - ・ 保健所
 - ・ ハローワーク
 - ・ 税務署
 - ・ 年金関係

- 「１３．移転を機に、他の公共施設（ホール、スポーツ施設、文化施設など）を庁舎と複合化し集約すること」の主な記入内容（具体的な公共施設）
 - ・ 図書館
 - ・ 市民会館
 - ・ 明日都
 - ・ スポーツ施設、ジム、プール、テニスコート

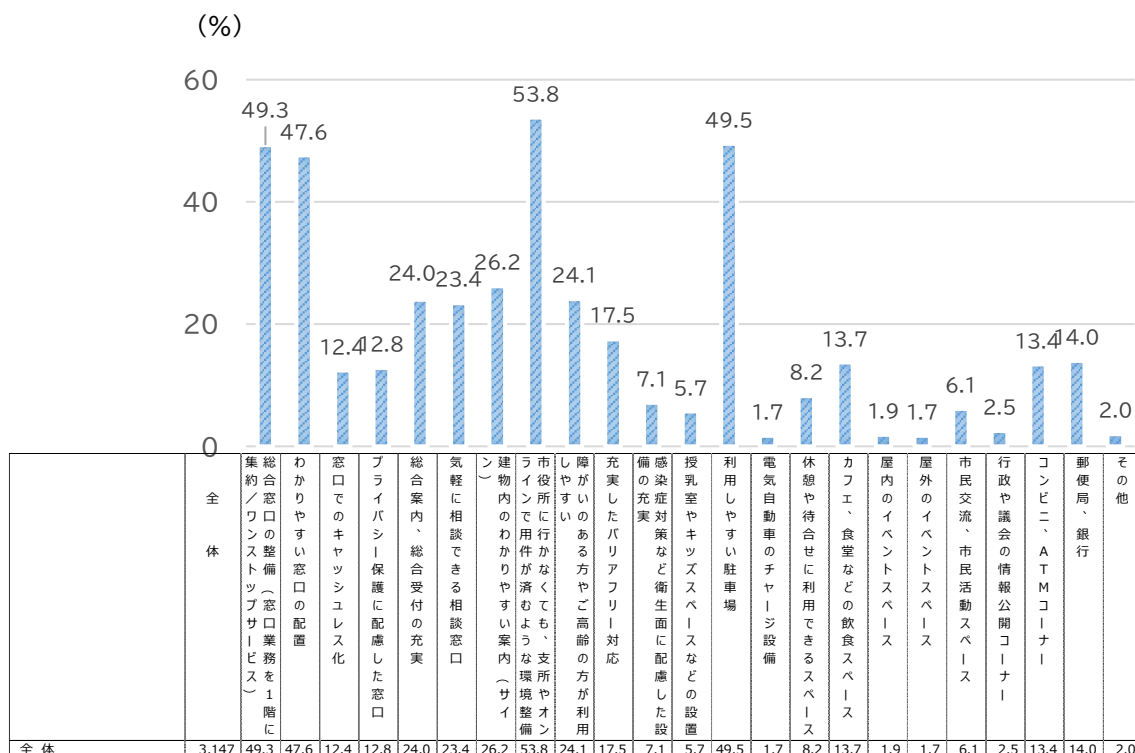
- 「１５．その他」の主な記入内容
 - ・ 消防署は大きなスペースで１ヶ所に集約するのではなく例えば火災の通達を受けたら５分以内に現場へ最初の消防車が着くことができるように散在させるべきである（早期消火活動が大切）
 - ・ 浜大津付近、大津駅周辺、膳所駅周辺のにぎわいを合わせて活性化できるとよい
 - ・ デジタル化の推進による窓口や待合スペースの拡大不用、災害対応について、先は市職員のスキルアップを優先
 - ・ 候補地があげられていますが皇子山公園エリアの緑を減らしてまで建設は望みません他の市区町村など参考にしたら安全で便利な庁舎を希望します
 - ・ 市役所より遠方にいる住民の存在を忘れないで欲しい。北部南部からの交通費用など
 - ・ 必要以上に業務部署を一極集中する必要はない。AIや通信ネットワークを使って簡素化しつつ、必要な部署など残して整備すべき。これからの時代はむしろ分散化させて、建物は縮少すべき。
 - ・ 滋賀県は車がないと移動しにくいことから、車で行きやすい大通り沿いにあると助かる。市役所は奥まっていて、利用しにくい。また、全体的に部署の廊下が暗く、保育園の話を聞きに行くときも、入りづらかった。もっと採光もされ、明るい雰囲気施設の施設になるとよい。
 - ・ 公共施設との複合化ではなく、商業施設との複合化が理想。そうすればその商業施設へのバスや駅や駐車場などが利用でき、アクセスの利便性が高まり高齢者も行きやすい。また忙しい主婦層は買い物のついでに、会社勤めの者も昼休みや帰りに利用しやすいと考える。

【問１９】【問１８】で答えいただいた内容に関連して、より具体的に、市所庁舎を整備する際に求める機能（施設）についてお伺いします。（最大５つ）

- １．総合窓口の整備（窓口業務を１階に集約／ワンストップサービス）
- ２．わかりやすい窓口の配置
- ３．窓口でのキャッシュレス化
- ４．プライバシー保護に配慮した窓口（相談室などの設置）
- ５．総合案内、総合受付の充実
- ６．気軽に相談できる相談窓口
- ７．建物内のわかりやすい案内（サイン）
- ８．市役所に行かなくても、支所やオンラインで用件が済むような環境整備
- ９．障がいのある方やご高齢の方が利用しやすい
- １０．充実したバリアフリー対応
- １１．感染症対策など衛生面に配慮した設備の充実
- １２．授乳室やキッズスペースなどの設置
- １３．利用しやすい駐車場
- １４．電気自動車のチャージ設備
- １５．休憩や待合せに利用できるスペース
- １６．カフェ、食堂などの飲食スペース
- １７．屋内のイベントスペース
- １８．屋外のイベントスペース
- １９．市民交流、市民活動スペース
- ２０．行政や議会の情報公開コーナー
- ２１．コンビニ、ＡＴＭコーナー
- ２２．郵便局、銀行
- ２３．その他

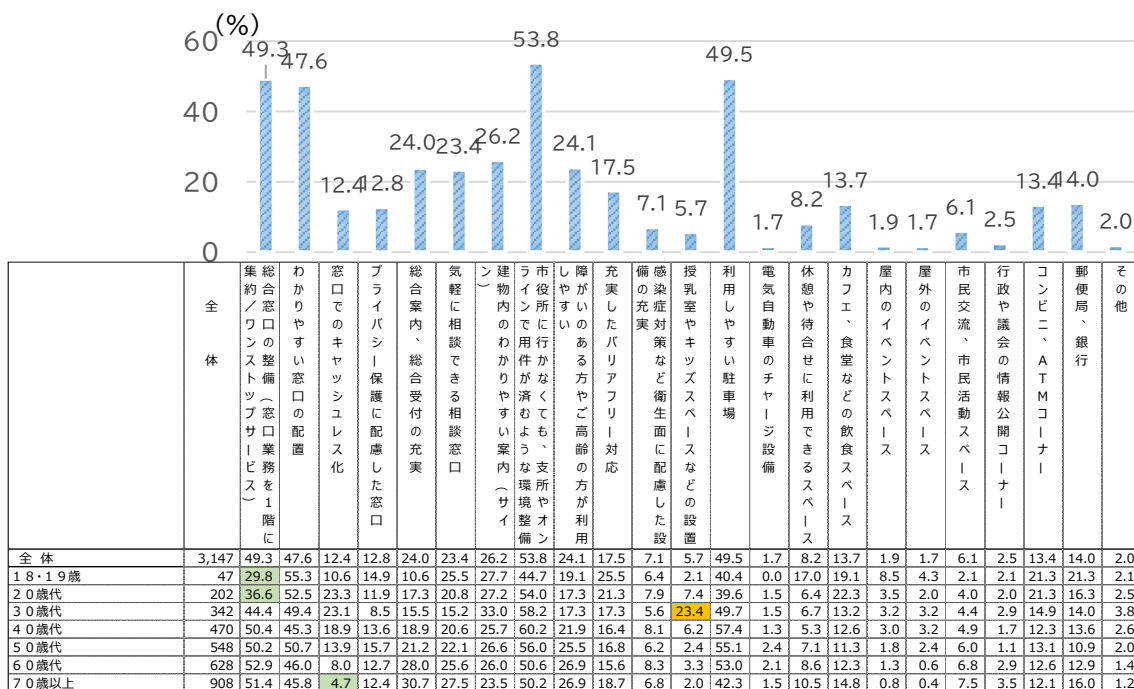
● 全体集計

- ・ 「支所やオンラインで用件が済む」が最も多く 53.8%、次いで「利用しやすい駐車場」49.5%、「総合窓口の整備」49.3%、「分かりやすい窓口の配置」47.6%が多い。



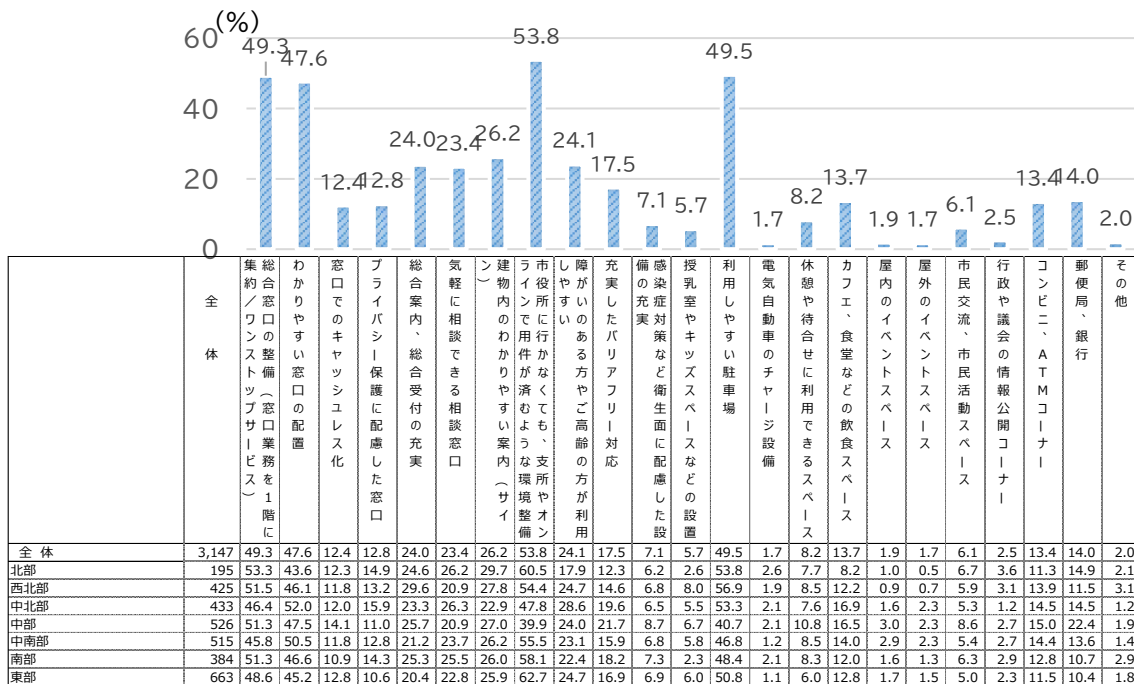
● 年齢（問1）別クロス集計

- ・ 「支所やオンラインで用件が済む」「利用しやすい駐車場」「総合窓口の整備」「分かりやすい窓口の配置」で大きな差はない。
- ・ 「授乳室・キッズスペース」が30歳代で他年齢より多い。



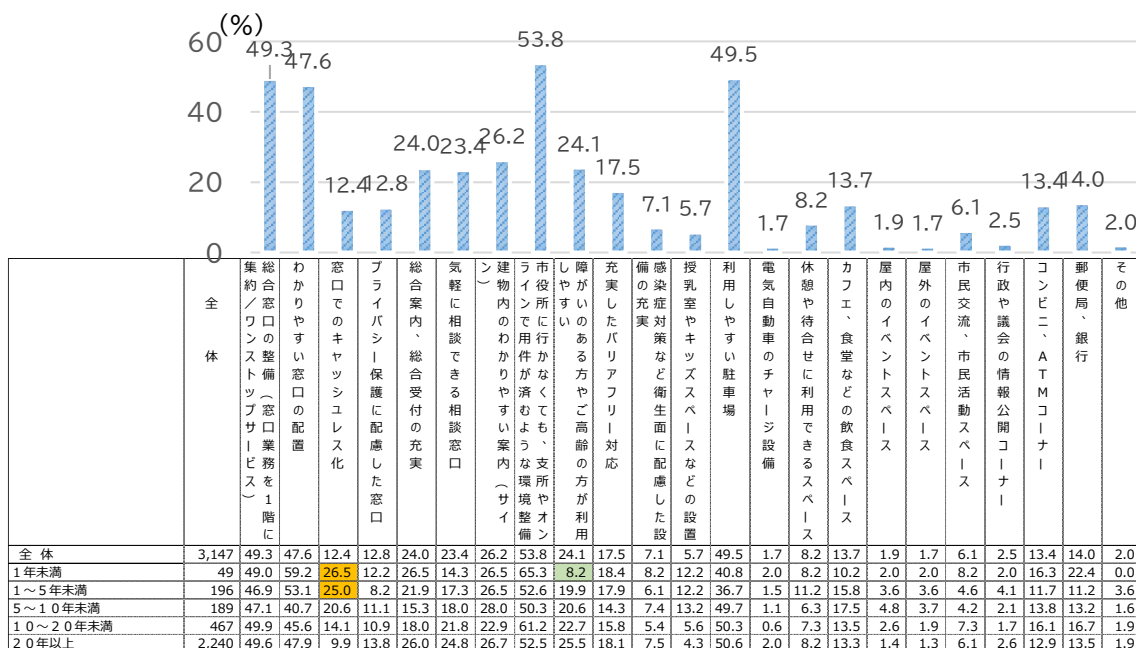
● 居住地区（問2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



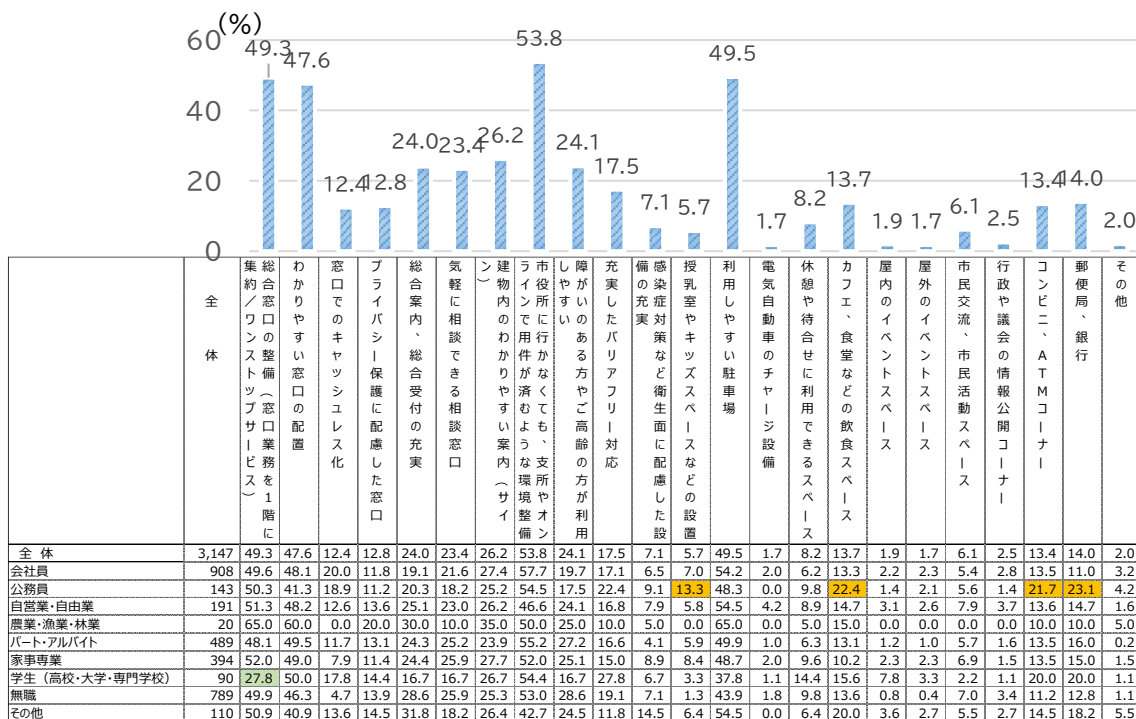
● 大津市居住期間（問3）別クロス集計

- ・ 「支所やオンラインで用件が済む」「利用しやすい駐車場」「総合窓口の整備」「分かりやすい窓口の配置」で大きな差はない。
- ・ 「窓口のキャッシュレス化」が1年未満、1～5年未満で他期間より多い。



● 職業（問4）別クロス集計

- ・ 公務員では、「授乳室やキッズスペース」「飲食スペース」「コンビニ・ATM」「郵便局・銀行」が他職業より多い。



● 「２３．その他」の主な記入内容

- ・ 綺麗なトイレ
- ・ キッチンカースペースの確保
- ・ プライバシーが守られる窓口
- ・ 庁舎内の色々な場所にベンチを置いてほしい
- ・ 総合窓口の土日利用化
- ・ 美術館を参考にされてはどうでしょうか。総合窓口より、各フロアの案内を充実させてはどうですか。入口の案内は〇階です、くらいで行った先の案内窓口が欲しいです
- ・ 商業施設との複合化が叶えば、新たに ATM やコンビニやカフェなどを設ける必要がなくなるので良いと思う。
- ・ 授乳室やキッズスペースなどの設置、利用しやすい駐車場については、市役所に行かなくても、支所やオンラインで用件が済むような環境整備が充実するのであれば重要性は下がると考えます。

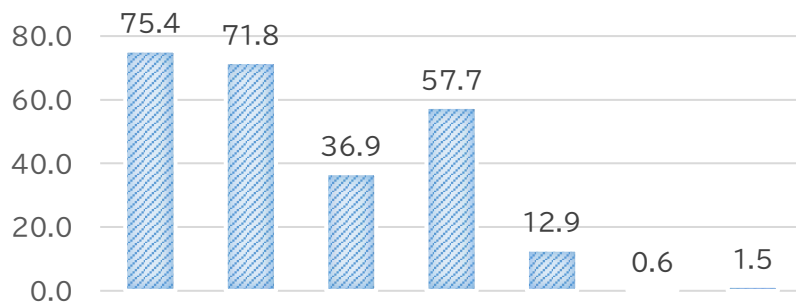
＜市役所庁舎の移転候補地のエリアについて＞

【問 20】市役所庁舎を整備する際の立地場所について、重要視することについてお伺いします。（複数選択可）

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関で来庁しやすいこと
2. 車でのアクセスがよく、駐めやすい駐車場が十分に確保されていること
3. 敷地の広さにゆとりがあり、防災広場などが十分確保できること
4. 災害の影響が少なく、災害時に庁舎機能を維持し続けることができること
5. まちづくりや賑わいの創出などに寄与できること
6. わからない
7. その他

● 全体集計

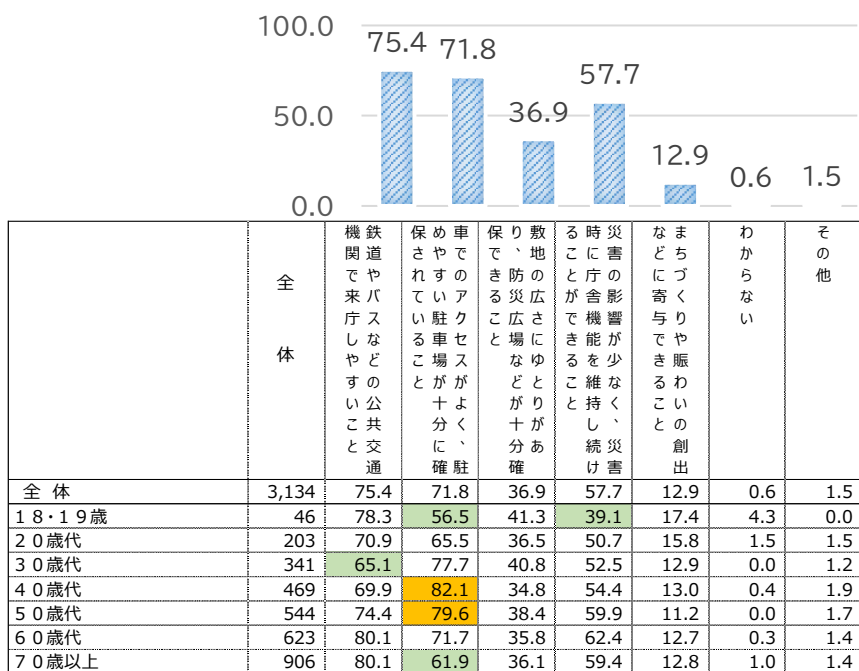
- ・ 「公共交通機関で来庁しやすいこと」が 75.4%で最も多く、次いで「車でのアクセスが良く駐めやすい駐車場が十分に確保されていること」71.8%、「災害時に庁舎機能を維持できること」57.7%が多い。



	全 体	機 関 で 来 庁 し や す い 公 共 交 通	鉄 道 や バ ス な ど の 交 通	保 め や す い 駐 車 場 が 十 分 に 確 保	車 で の ア ク セ ス が よ く 、 駐	敷 地 の 広 さ に ゆ と り が 十 分 あ り 、 防 災 広 場 な ど が 十 分 確 保	時 に 庁 舎 機 能 を 維 持 し 、 災 害	災 害 の 影 響 が 少 な く 、 災 害	な ど に 寄 与 で き る こ と の 創 出	ま ち づ く り や 賑 わ い の 創 出	わ か ら な い	そ の 他
全 体	3,134	75.4	71.8	36.9	57.7	12.9	0.6	1.5				

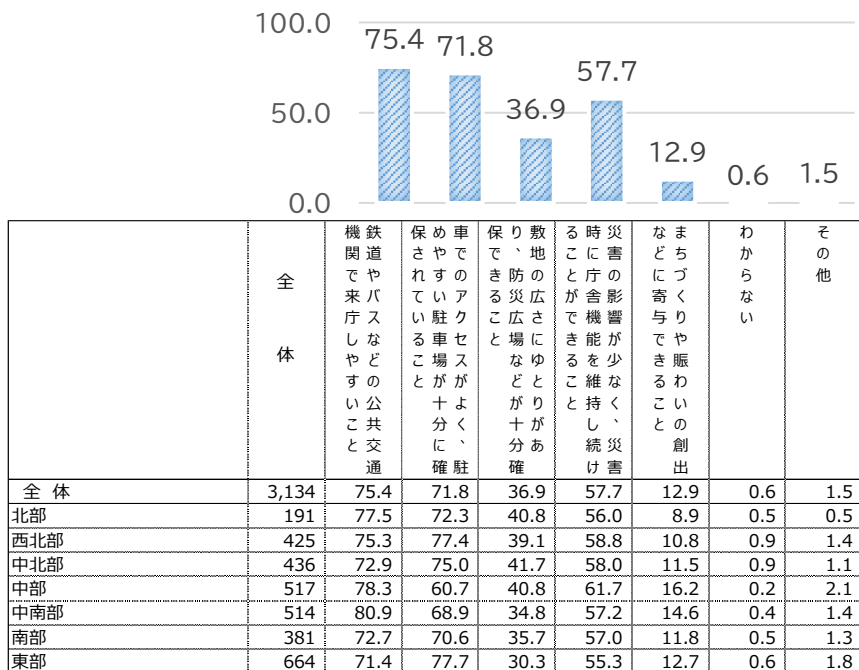
● 年齢（問1）別クロス集計

- 「車でへのアクセスが良く駐めやすい駐車場が十分確保されていること」は年齢による差が大きく、40歳代・50歳代の割合が他年齢より高いが、18・19歳と20歳代・70歳以上では他年齢より少ない。

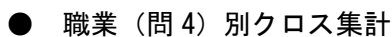


● 居住地区（問2）別クロス集計

- 大きな差はない。



・ 5~10 年未満では、「車でアクセスが良く駐めやすい駐車場が十分確保されていること」「災害時に庁舎機能を維持できること」が他期間より少ない。



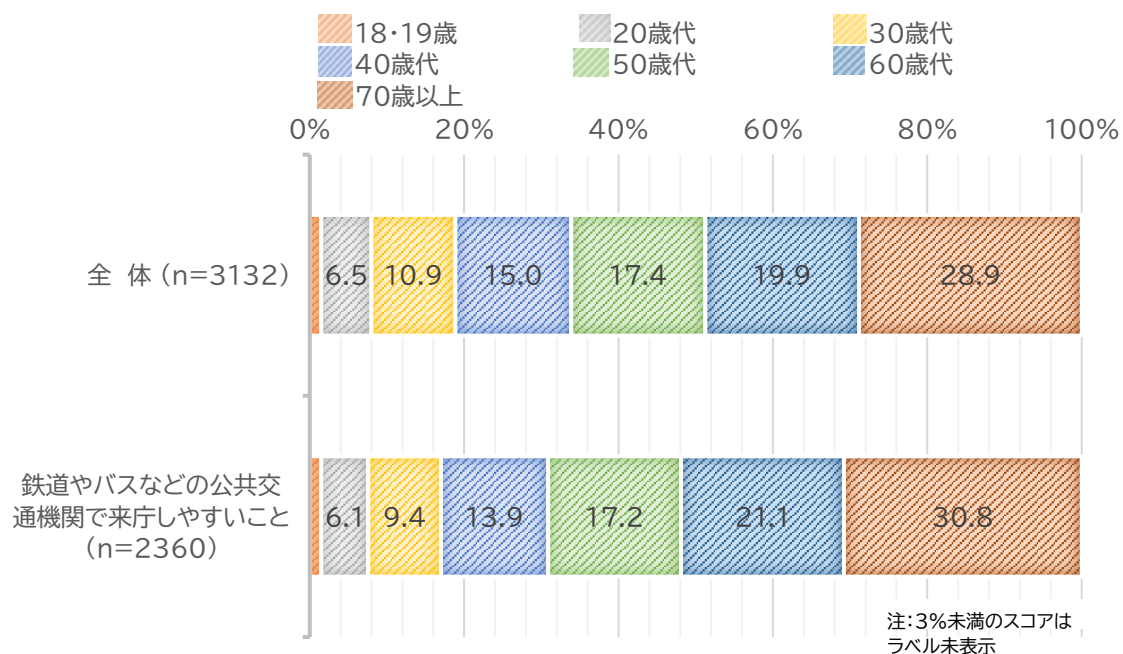
-
- | Level of Agreement | Percentage |
|--------------------|------------|
| Strongly agree | 75.4 |
| Agree | 71.8 |
| Disagree | 36.9 |
| Strongly disagree | 57.7 |
| No opinion | 12.9 |
| Don't know | 0.6 |

80

※「鉄道やバスなどの公共交通機関で来庁しやすいこと」と回答した方の他設問の回答傾向

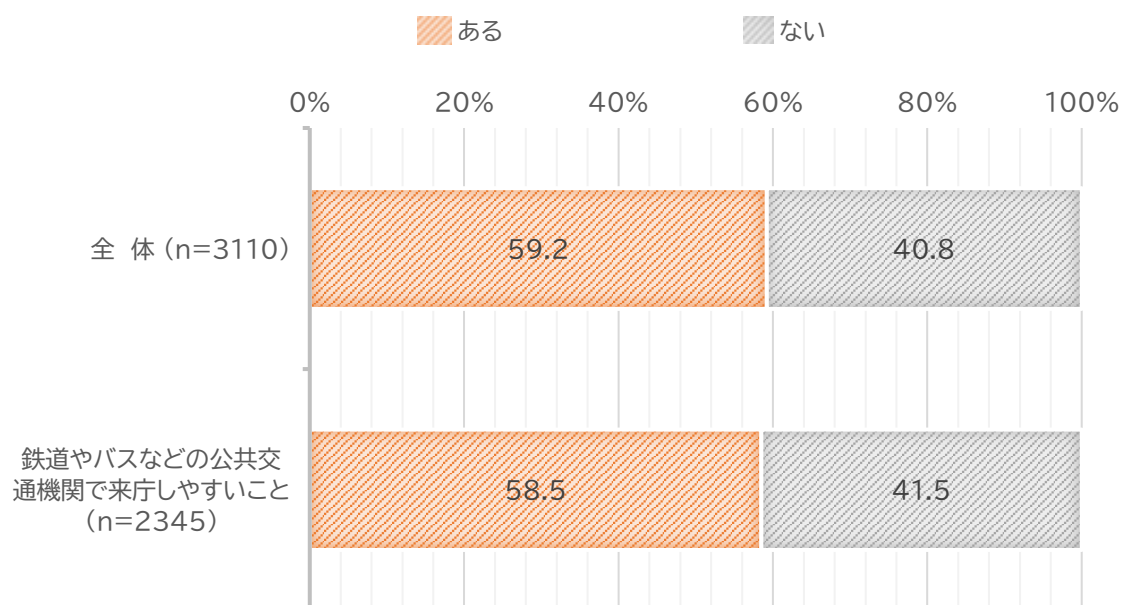
● 年齢（問 1）

- ・ 大きな差はない。



● 直近 1 年での市役所利用（問 5）

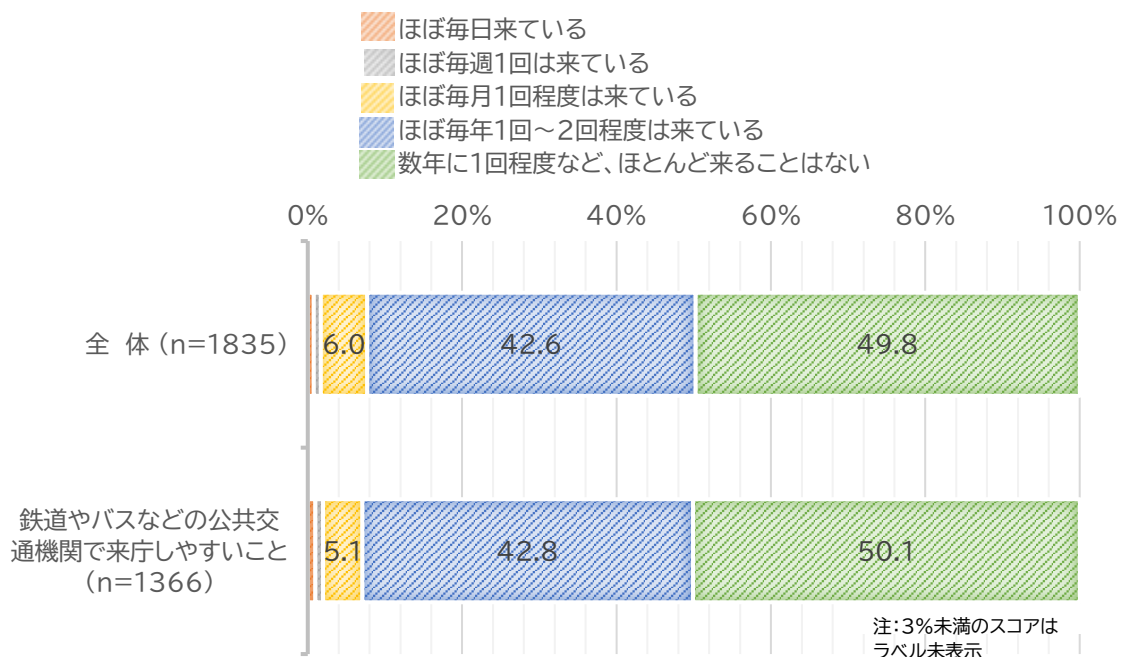
- ・ 大きな差はない。



※「鉄道やバスなどの公共交通機関で来庁しやすいこと」と回答した方の他設問の回答傾向

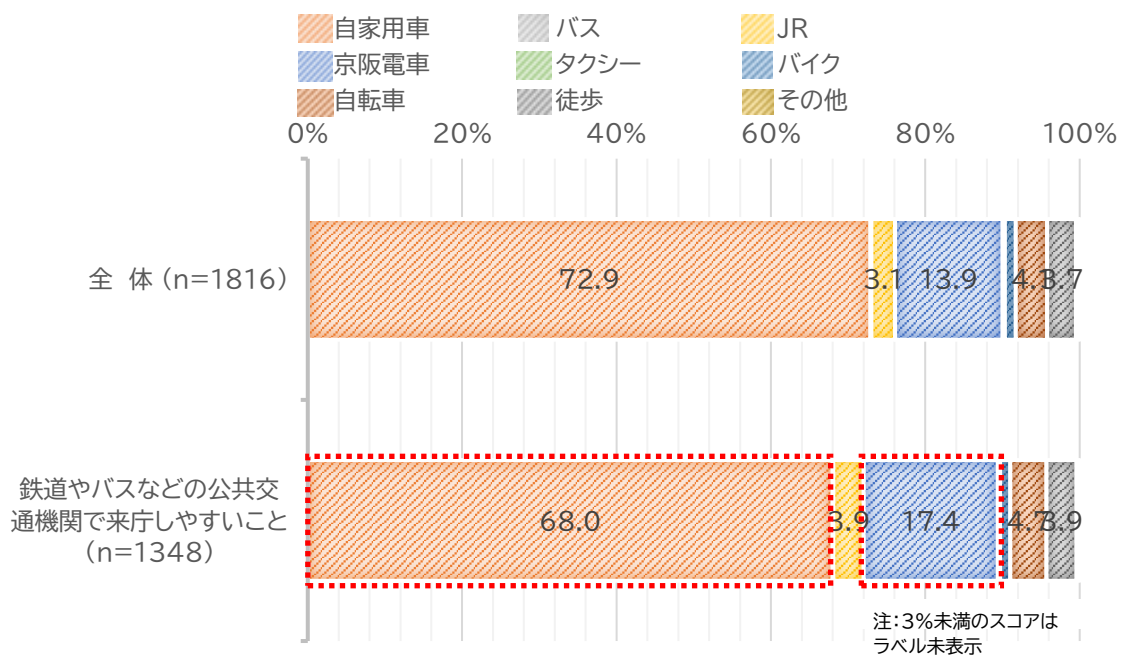
● 市役所利用者の利用頻度（問6）

- 大きな差はない。



● 市役所利用者が利用の際、一番よく利用する交通手段（問7）

- 大きな差はないが、自家用車がやや少なく、京阪電車がやや多い。



● 「7. その他」の主な記入内容

- ・ JR 大津駅からのアクセスがよいこと。
- ・ 市役所庁舎を整備する際の立地場所はすごく重要視する部分だと思う。書類1枚もらうだけに車で1時間、もっとかかる人もいる。
- ・ アーカスや琵琶湖ホテルをなくして新庁舎を建てるか県庁とつながっているのが良く思うので県庁近くでもよい。
- ・ 比叡平に住んでいますが一時間毎にバスがないのでとても不便です
- ・ きちんと専門家に相談して活断層など通っていない安全な地面をえらんで地震に強い市役所・消防を作ってほしい
- ・ 大津市は南北に長いため、南部、北部の方に片寄る事は良くないと思う。人口分布を考えて中部がいいのではと思います。
- ・ 大津の土地では色々詰め込むのは無理だと思うので、市役所には防災時の指示監督部署を作る。各地の防災拠点との連携や準備などをしっかりしたら良いと思います。
- ・ 公共交通機関の駅から低価格で利用できるアクセスバスを運行してほしい。コミュニティバスが運行されている市町村がうらやましい。

【問 2 1】市役所庁舎を整備する移転候補地のエリアについて、『優先して検討するおおよその候補地』は現位置周辺の『②皇子山総合運動公園エリア』を考えています。他に、『おおよその候補地』として『①皇子が丘公園エリア』、『③大津駅・県庁周辺エリア』、『④唐崎駅前エリア』も検討しています。どの場所が候補地のエリアとして望ましいかお伺いします。

(いずれか 1 つ)

- ①皇子が丘公園エリア/※公園の一部を想定しています。
- ②皇子山総合運動公園エリア/※公園の一部を想定しています。
- ③大津駅・県庁周辺エリア/※具体的な場所は検討中です。
- ④唐崎駅前エリア/※駅前の更地を想定しています。
- その他 ※図のエリア以外でも構いません。

○「優先して検討を行うおおよその候補地」、「おおよその候補地」をお示した上で、まずは、市民の皆様のご意見を伺うものです。
○実際に、各エリアで庁舎整備を行う場合には、具体的な場所の設定、用地の取得、様々な条件や課題の整理が必要となりますので、確定したものではありません。

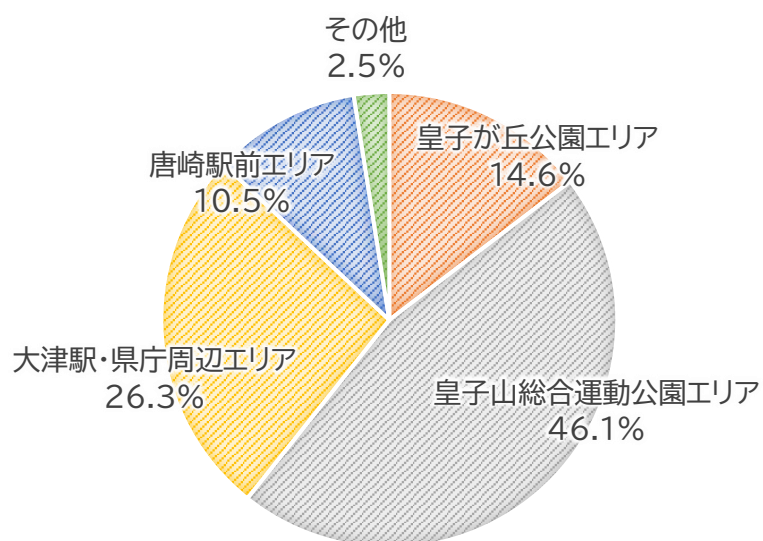
	①皇子が丘公園エリア	②皇子山総合運動公園エリア	③大津駅・県庁周辺エリア	④唐崎駅前エリア
立地場所	・「ＪＲ 大津京駅」、「京阪 大津京駅」に近い場所です。 ・今後も活用する予定の新館から少し離れた場所です。	・現在の市役所のすぐ東側で「京阪 大津市役所前駅」に隣接する場所です。 ・今後も活用する予定の新館に近い場所です。	・「ＪＲ 大津駅」と県庁を中心とした周辺の場所です。 ・県庁には近いですが、今後も活用する予定の新館から離れています。	・「ＪＲ 唐崎駅」のすぐ前にある場所です。 ・県庁や今後も活用する予定の新館から離れています。
備考	・公園の一部に庁舎を整備することで、一部使えなくなりますが、代わりとなる公園の設置を検討します。 ・一部土砂災害警戒区域に含まれています。	・公園の一部に庁舎を整備することで、一部使えなくなりますが、代わりとなる公園の設置を検討します。	・庁舎整備の場所の確保が難しく、具体的な場所は検討中です。	



● 全体集計

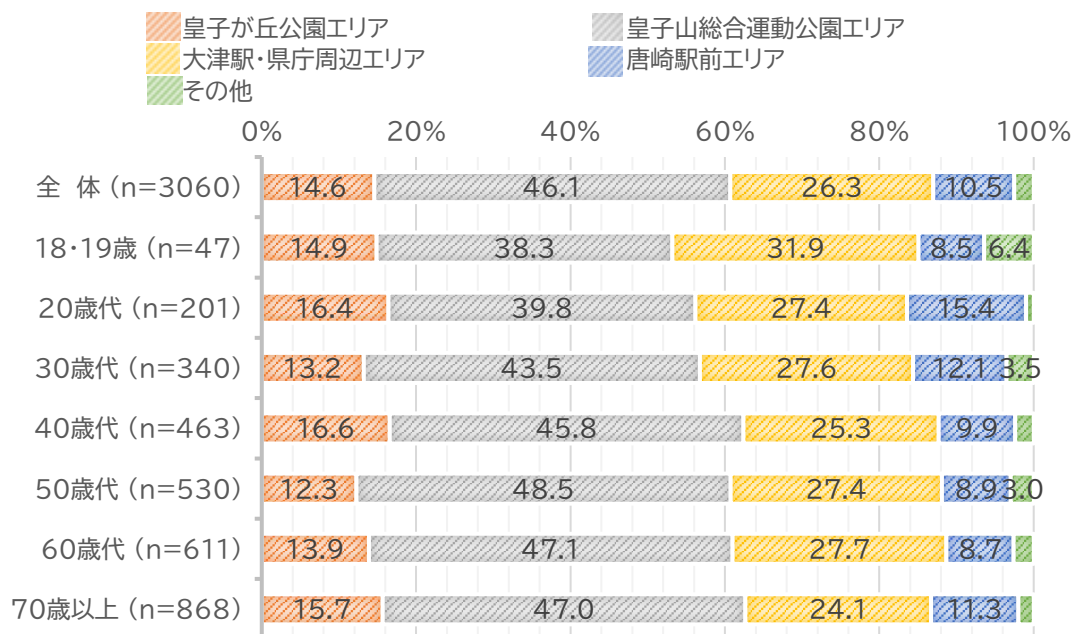
- ・ 皇子山総合運動公園エリアが 46.1%と最も多い。
- ・ 大津駅・県庁周辺エリアが 26.3%と次いで多い。

	全 体	皇 子 が 丘 公 園 エ リ ア	皇 子 山 総 合 運 動 公 園 エ リ ア	大 津 駅 ・ 県 庁 周 辺 エ リ ア	唐 崎 駅 前 エ リ ア	そ の 他
全 体	3,061	14.6	46.1	26.3	10.5	2.5



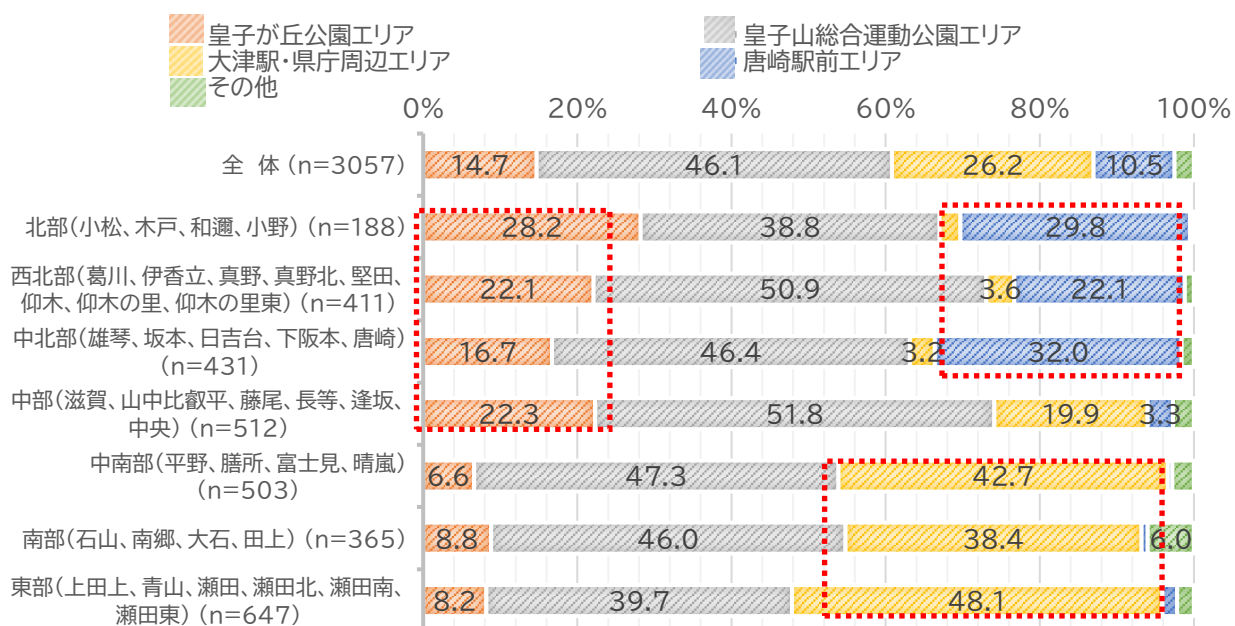
● 年齢（問1）別クロス集計

- 大きな差はない。



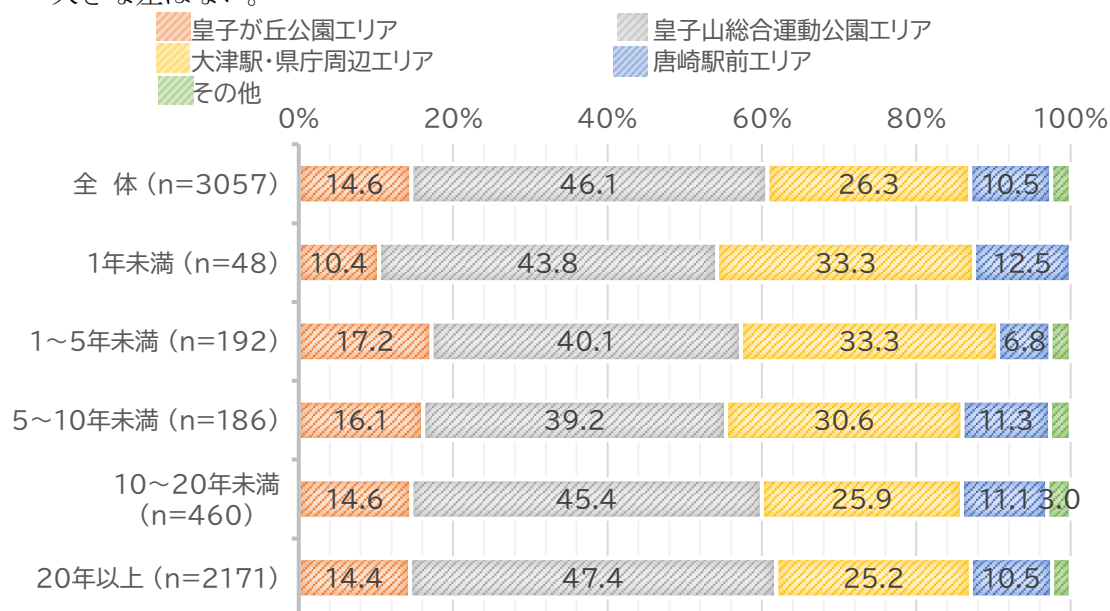
● 居住地区（問2）別クロス集計

- 皇子が丘公園エリアは、北部・西北部・中北部・中部で他地区より多い。
- 皇子山総合運動公園エリアは、地区の偏りがなく多い。
- 大津駅・県庁周辺エリアは中南部・南部・東部で他地区より多い。
- 唐崎駅前エリアは北部・西北部・中北部で他地区より多い。



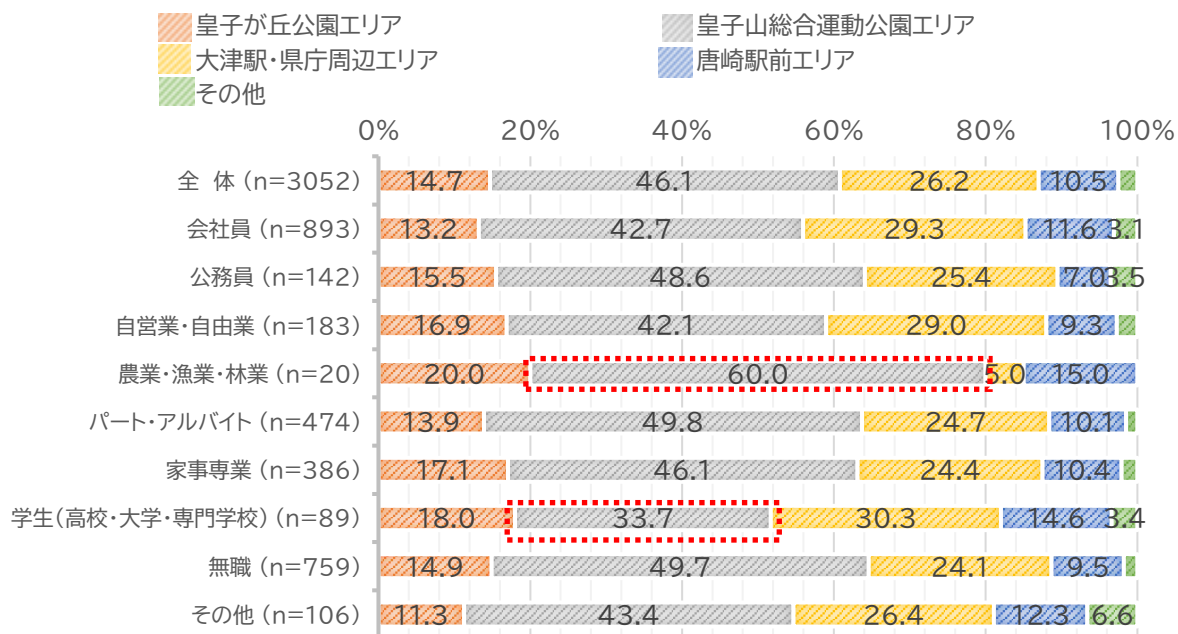
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- 大きな差はない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- 皇子山総合運動公園エリアは、農業・漁業・林業では 60.0%と他職業より多く、学生では 33.7%と他職業より少ない。



● 「5. その他」の主な記入内容

- 大津港周辺
- 浜大津周辺エリア
- 膳所駅周辺

<現在の市役所庁舎（本館・別館）について>

【問２２】現在の市役所庁舎（本館・別館）は佐藤武夫氏が設計を手掛けたものであり、2016年に『日本におけるモダン・ムーブメントの建築 197 選（DOCOMOMO Japan）』に選定され、一般社団法人日本建築学会から選定建物の歴史的価値の継承と保全について要望がありましたが、耐震工事や免震工事を行い市役所庁舎として使い続けることは、多額の費用を掛けても利便性が向上しないことから、移転建替えを基本に検討しています。庁舎整備を行う際に、本館、別館の建物の今後の取り扱いについてお伺いします。（いずれか１つ）

1. 新庁舎整備を機に解体する ※記憶や記録を継承していくための資料（アーカイブ）の保存については、今後検討を行います。
2. 費用は掛かるが耐震化を行い、市役所庁舎以外の用途で利用できるようにする
3. どちらともいえない

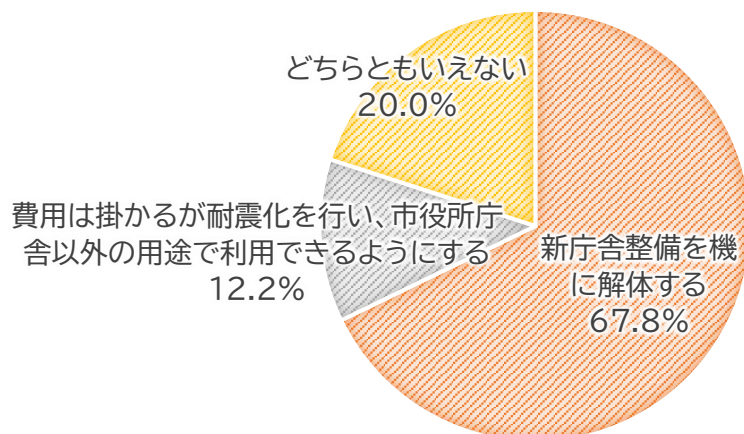
※「DOCOMOMO Japan」

モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成に記録調査および保存のための国際組織の日本支部

● 全体集計

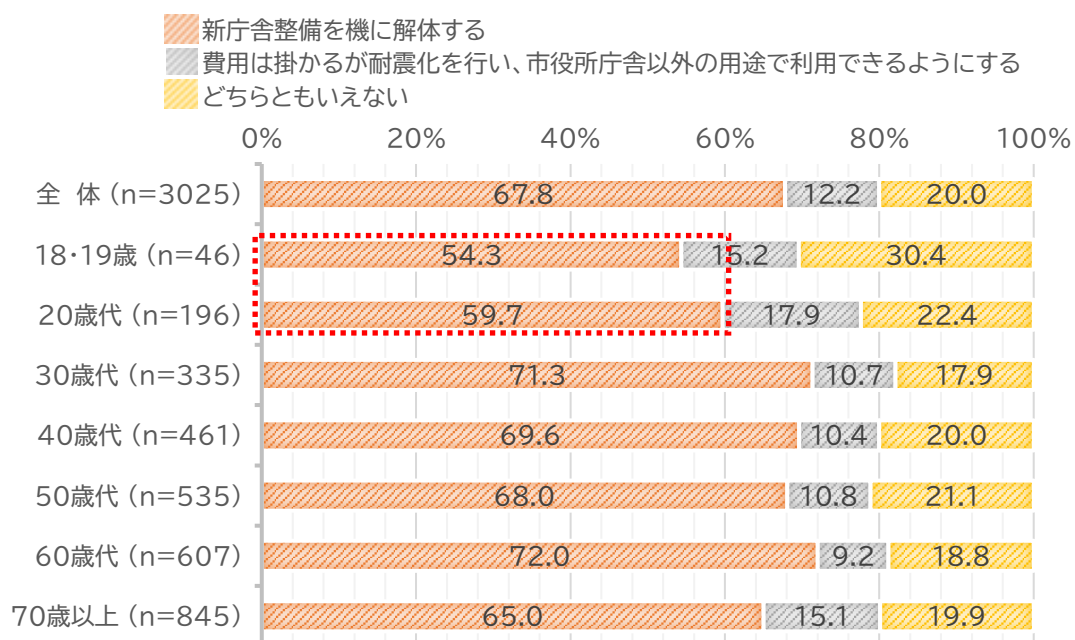
- ・ 「新庁舎整備を機に解体する」が 67.8%と最も多い。

	全 体	新 庁 舎 整 備 を 機 に 解 体 す る	で い 費 利 、 用 用 市 は で 役 掛 き 所 か る 庁 舎 が 以 耐 外 震 の 化 用 を 途 行	ど ち ら と も い え な い
全 体	3,026	67.8	12.2	20.0



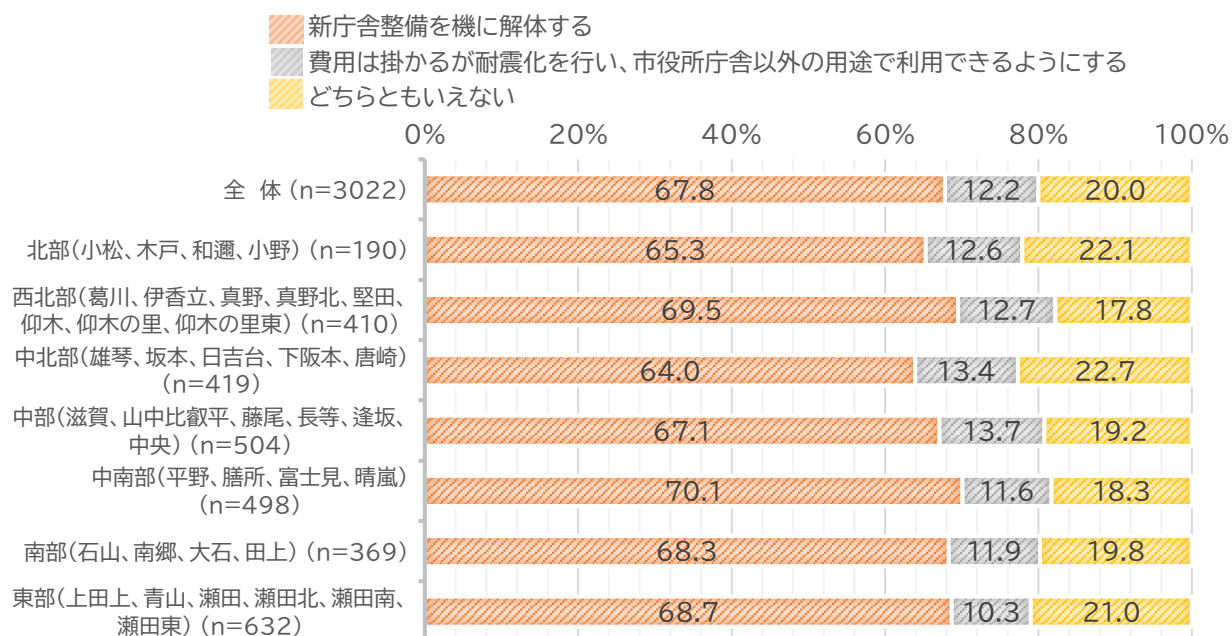
● 年齢（問 1）別クロス集計

- ・ 18・19 歳、20 歳代では「新庁舎整備を機に解体する」が他年齢より少ない。



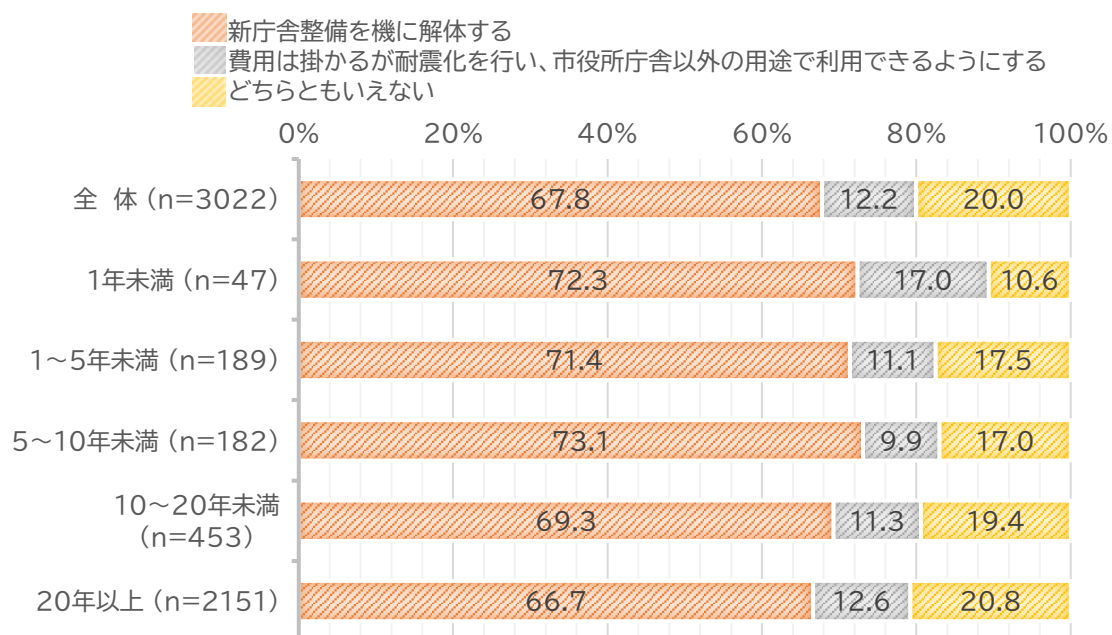
● 居住地区（問 2）別クロス集計

- ・ 大きな差はない。



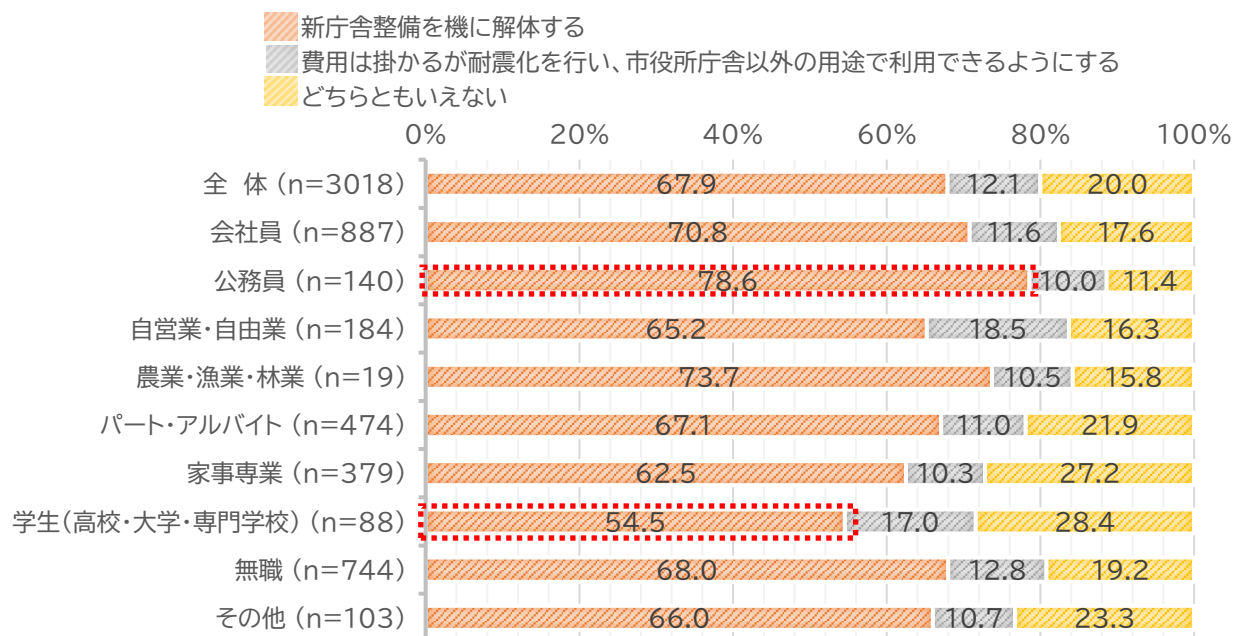
● 大津市居住期間（問 3）別クロス集計

- 大きな差はない。



● 職業（問 4）別クロス集計

- 「新庁舎整備を機に解体する」は、公務員では 78.6%と他職業より多く、学生では 54.5%と他職業より少ない。



【その他】 庁舎整備について、ご意見／ご提案を自由に記入してください。

(主な意見)

●庁舎整備の必要性

- ・ **庁舎の現状**：とにかく今の市役所は暗く、どこに何があるのか分かりづらい。中に、スタバなどのカフェがあり、交流スペースがあると、行きたくないという気持ちがなくなりそうです。トイレも汚くて、いつもがまんして帰ります。
- ・ **庁舎の現状**：大津市役所は暗いイメージがあり残念です。車を降りて目的の場所まで時間がかかり…カフェ、コンビニ、銀行等すぎてやっとな…それから上ったり下がったり、せっかく運動公園の近くにもあるので（公園の施設も利用していますので）公園がらみで明るいイメージにならないでしょうか。勝手な事言ってすみません。例草津市等近くに公園はありませんか保育所等近くにあり（キッズコーナーもあり）遊ばせに市役所行って用事も済ませる事もできますと聞いています。いろいろ大変だと思います御苦労もあるでしょう ありがとうございます。期待しております。
- ・ **庁舎の現状**：現在の庁舎内は余りにもせまく暗く、混雑している、見苦しい。テレビ等で見る他府県の新しい市庁舎の画面を見ると広く、明るくきれいで大津市もこうであればいいなあと思う。
- ・ **庁舎整備検討への理解**：このアンケートをいただき、庁舎整備にすごく悩まれているのだなと思いました。私が物心つく頃からずっとあり、古いのだろうなと思っていましたし、市役所は個性的な建物だなと子どもの頃からなんとなく思っていました。普段は支所ですませることがができますので、職員の方が働きやすいように、移転建替えするといいますが、建替えにお金がいきすぎて、他のサービスにお金が回らなくなることや、手当てなどの額が減ったりすることがないよう、おねがいします。
- ・ **生きたお金の使い方**：時代と共に私達を取り巻く環境が変わり考え方も柔軟に対応して行くべき 現在の庁舎にもお世話になりましたが、新しく利便性を重視してもバチは当たらないと思う 今を、そしてこれからを利用していく人達に優しい庁舎であります様に！！どっちもつかずにならない様にだけお願いしたい。税金は、これからの事に使って欲しい。生きたお金の使い方を望みます。

● **新しい庁舎の立地**

- ・ **JR で行ける立地**：市役所へ出向く際、鉄道で行く場合は JR から乗り換えが必要になり手間と感じてしまいます。できれば JR1 本で行ける場所へ検討頂けると有難いです。
- ・ **JR 大津駅近くの立地**：本館、別館との関連性を考えることなく、移転先を考えた方が良と思います。出来ることなら、JR 大津駅近くが望ましいと思います。京阪や湖西線の駅近くより、ずっと利便性が向上する。
- ・ **大津駅周辺の魅力づくり**：現在の JR 大津駅周辺は、県庁所在地、大津市の玄関口としてあまりにも淋しすぎる。市役所庁舎の移転も含め大津駅周辺を総合的に、魅力ある町づくりをしてほしい。災害時など県庁の近くに市庁舎があるメリットは大きいと思う
- ・ **南部住民の視点**：志賀町地域が編入されたとはいえ、南部に住む者にとっては浜大津をこえて北に進むことに抵抗があります。なぎさ公園再整備にからめて③県庁周辺エリアから湖岸にかけて人々がいこえる地域のなかに行政も存在するというような行政?文化の人の流れをつくれませんか？①皇子山地区はすでにスポーツゾーンとして公認されていると考えます。新市役所を中心に「おおつで生きる」ことの展開をはかっていたきたいものです。
- ・ **唐崎への立地**：唐崎は湖西線で京都駅まで約 15 分、湖西バイパスで京都や大阪へのアクセスも良く、静かで住みやすい町だと思います。最近是他府県からの移住者も多く、住宅街やマンションもたくさん建っています。ですが、唐崎駅周辺は商店も少なく閑散としており、駅前にコンビニすらない。万が一にも庁舎が唐崎に移転してくれたら、周辺に飲食店などが増えるのではないかという期待もあります。庁舎内に気軽に利用できるカフェや食堂、遊べる公園とかグランドゴルフ場など子供からお年寄りまでが利用できる施設を作るとか。例えばイオンモールみたいな巨大商業施設とコラボするとか。銀行、郵便局、診療所、歯医者、携帯ショップ、役所、スーパー、飲食店、雑貨店、衣料品店、靴屋、ドラッグストアー、100均などなど、1箇所で全て揃うと利用者は助かるし、便利だから人は集まると思います。逆に中途半端だと集まらない。あと、駐車場は無料にしてほしい。どこの市町村もしたことがない事をやって大津市の知名度を上げるのも良いと思います。

● **新しい庁舎に求められること**

- ・ **駐車場の確保**：大津市役所（現在の）は家からとても遠いため、車を利用しての来庁なので駐車場はきっちり確保して頂けるとありがたいです。あと、明日都のような子育てに関する部署？（相談）や、今回？のコロナワクチンの会場のような用途としても使えるような場所にして頂きたいです。
- ・ **無駄を省いた新庁舎整備**：デジタル化は便利で良いが高齢者にはハードルが高いし使いにくい。若年層にはデジタル化してもらうことで来庁の必要性がなくなる。このバランスをとりながらムダを省いた新庁舎を建設するのが望ましいと思う
- ・ **運動公園の確保**：運動公園及び丘公園は無くさないでいただきたい。それで無くとも中北地区には運動公園のような所が無い。大津港前広場唐崎駅前広場への移転が良い。市役所新館だけ残しても意味が無い。全て移転し今ある市役所の場所に新に運動施設を作るか運動公園用の駐車場にするのが良いと思います！
- ・ **災害・安全対策**：災害と安全対策優先、市民の利便サービスはその次。花折と琵琶湖西岸両断層による地震は避けられないと思う。耐震庁舎を、被災時の事を十二分に想定して強力な通信・電力・上下水・ガス等の設備配置を研究して実現して下さい。さらにヘリポート湖上交通の事も、もっと非常時シェルターにも転用出来る展開も考えた構造に、一般市民の立場だけで回答しました。取引ある出入業者の事も忘れずに！
- ・ **開放的な整備**：有名な建築家じゃなくていい！奇をてらったモダンな建物でなくていい！確かに現在の市役所はびっくりする程古くて暗いと思います。届手や手続などの用事がなくても一般の人も利用できるレストラン(ランチ)などがあれば多くの人に来て、職員の方も開放的な気分になれるのではないのでしょうか
- ・ **他市に自慢できる庁舎整備**：市役所は『市の顔』だと思います。今の建物も、趣と歴史が感じられて良いと思いますが、やはり有事の際に、市役所が崩壊もしくは崩壊する危険があるのは、市民にとっては不安でしかありません。市役所が災害にも動じない建物であれば、市民にとって生活だけでなく、心の支えとなります。そのうえで、より市民の生活に寄り添う機能を備え、ほかの市に住まう人にも自慢できるような素敵な市役所であれば、大津市民として喜ばしい事だと思います。
- ・ **実用性の重視**：オシャレでも華美でなくてもいいので、実用的な建物を期待します。市民としては普段使わないものなので、災害時にちゃんと機能する他は、普段居られる職員の労働環境(適切な間取り、空調の効き、使い勝手のいい会議室、窓口)を配慮下さい
- ・ **スケボーパークの整備**：転勤で大津市に来ましたが滋賀はとても住みやすく転勤地ランキングでナンバーワンです。若者にも親しみやすい交流の場である市役所として、スケボーパークとかあれば開かれた市役所モデルにもなると思います。東京オリンピック以降、年齢問わずスケボーを楽しむ人も増え、よく見かけますが皆さん滑るところがなく困っているみたいです。スケボー上手な市役所員とかカッコいいじゃないですか(///▽///)

- ・ **スポーツ公園機能の維持**：市役所の新庁舎整備のために、子供から大人までが野球・サッカー・テニス・水泳で多く利用している『皇子が丘公園エリア』や『皇子山総合公園エリア』が利用出来なくなったり、狭くなったりすることは絶対にやめていただきたいと思います。コロナ禍の状況が続き、特に子供達はスポーツや屋外での遊びから遠ざかってしまっていると強く感じます。小学校低学年の子供でも、家でオンラインゲームをして遊び、視力が下がって眼鏡をかけている子供さんが増えていると思います。近くの公園は皆、ボール遊び禁止です。この2つのエリアは、色々なスポーツの大会が頻繁に催される場所ですので、子供達が屋外でスポーツ出来る機会が減る原因とならないよう、このエリアへの移転は絶対に避けていただきたいと思っています。
- **支所・デジタル化の利用、今後の市役所・支所の役割**
 - ・ **支所の維持**：行政手続きができる支所を、減らさないでほしい。庁舎整備をしても、市役所を利用するのは、数年に1度。結局よく利用するのは、最寄りの支所という現状は変わりません。行政手続きができる支所を減らすのではなく、このまま残して下さい。瀬田南支所利用ですが、なくなるのは困ります。小さい子どもを連れて、瀬田支所まで行くのは大変すぎます。高齢の方や車を運転されない方もたくさんいます。デジタル化しても、高齢の方などには難しいです。私もいつかは年齢を重ねて、車も運転しなくなり、デジタル化についていけない時がきます。そう考えたら他人事ではありません。どうか、弱者の味方になって下さい。生まれも育ちも大津市で、この町が大好きです。このまま大好きな町であり続けてほしいです。
 - ・ **デジタル化による市民サービス向上**：一般窓口業務等はどんどんデジタル化して市民が来庁不要となるのが望ましく、実際に毎日登庁して働く方々（市役所職員）にとって機能的、能率的で働きやすい庁舎である事が一番で、それが市民サービスの向上につながると考えます。
 - ・ **デジタル化の推進**：支所の数を現在のままとするならば、市役所は規模を縮小して、デジタル化を進めてほしいです。それならば、狭い面積の高層の建物で十分であるため、有意な立地場所にできるのではないかと考えます。また、市民に開放された建物にするといったことは考えず、機能性重視で、安価に新築することを望みます。（近隣住民しか恩恵を受けることができないので）一般の会社員が利用しやすいよう、土曜・日曜・祝日に営業していただきたい。様々な利権等があると思いますが、可能な限り透明性のある公共工事としていただきたいです。

● 現庁舎の保全活用

- ・ **現庁舎の保全**：佐藤建夫氏の設計による建物で残す事が出来る貴重なものである。絶対残すべき2度と手に入らない建物です
- ・ **現庁舎の魅力**：京都から引越ししてきた時、街中にあるのではなく落ちついた場所に市役所があってそのたたずまいに感動したことを覚えています。もちろん交通の利便性を考えると移転が良いと思いますが、大津市を代表する建物だと思いますのでせめて移転はやめてほしいと思います。
- ・ **現庁舎の保全**：本館、別館については、他の設備、用途として利用できるように、していくことが必要であると思います。SDG'Sの観点からしても、歴史的な視点からしても残していくことが望ましい。
- ・ **現庁舎の利用**：現庁舎の利用について、近隣のスポーツ施設や公園、文化施設と連携し、合宿、トレーニングジム、会合サークル活動、飲食などの機能を持った施設の検討をしてください。ただし、皇子山運動公園に新庁舎を移転するなら、多目的グラウンド的なスペースもほしいです。それと、スケボー施設はぜひ整備を。
- ・ **現庁舎のエッセンス**：佐藤氏設計の建築は耐震強度が不十分で建て替えは仕方ないと思いますが、新市役所のデザインに今のエッセンスを取り入れて伝統を継承してほしい。
(神戸大丸のファサード建築の様な) 土地活用の観点から高層建築としてほしい。低層階のファサードは旧市庁舎のデザイン。低層階は例としてショッピング cafe と市図書館が一体となった施設。中高層階が市役所施設、最上階に大津市を眺望できる展望スペースとレストランを設け、大津市以外の方も観光目的で訪れ、大津の魅力を感じられるようにしてほしい。市役所に用事が無くても行きたくなる 場所 として整備し街の活気に寄与してほしい。

● その他

- ・ **公共施設全般の整備改修**：公共施設が全てボロボロなのが大津市の弱みでもあると思います。金沢から転居して来ましたが、大津市は市役所も学校も保育園も図書館も全てが古すぎると思いました。大津市の顔となる市役所を立て直していただいて、子どもたちの代も使いやすく綺麗な建物で引き継いでいけたらいいなと思います。皇子山運動公園も遊具がどんどん撤去されており、上の広場は坂道でボール遊びがしにくいです。しかし子育て世代にとっては、川遊び虫捕りができる数少ない貴重な公園なので、市役所の移転に伴い公園の遊具や市民プール、体育館も新しく整備してほしいです。
- ・ **市民活動の発展**：大津は滋賀の中でも大きな市ですし、もっと市役所、区役所などを充実させて行って欲しいです。初めてきた時に待合室の狭さ、古さに驚きました。建物は大きいのに勿体無いです。京都の青少年活動センターや、神戸の KIITO など、市民活動を発展させる場所を作って欲しいです。大津市は長く住むのにとってもいいところなのに、市民がつながる場所、学ぶ場所、困ったときに拠り所にする場所がほとんどありま

せん。移転の際にぜひ検討して欲しいです。

- ・ **早急な新庁舎整備推進**：現状を踏まえ早急に新庁舎整備を進めるべきである。移転先は皇子山総合運動公園①大津市の地形からほぼ中央②大津市と言えば京阪・皇子山でバス！③県庁近くへ引っ越す必要なし・耐震やバリアフリーはもちろん、今の世の中の流れから30年後50年後を見据えた＋αのものを取り入れた最先端の舎屋にしてもらいたい。それにより、周辺の発展から人口増につながれば。草津市の勢いを逆転する市の発展活気、人口増を期待します。
- ・ **他自治体の勤務経験からの提案**：某自治体で新庁舎整備後に配属されてから気がついたことを元にご提案いたします。まず、執務室の家具什器等が地震で倒れたりすることがないように、配置や固定を万全にし、職員の方や来庁者の方の命を守ってください。また、執務室内や来庁者用の通路のスペースも十分に確保し、職員の方も来庁者の方も安全に避難できるようにしてください。避難経路や出口のサインはハッキリしている方が親切だと思います。おしゃれより機能性です。次に役所としての機能を明確にするためにも、憩いの場などは最小限で良いと思います。市民の方は想定外の使用をされることもあるので、責任問題になる可能性があります。必要な場合は市民の憩い専用の場を別に用意の方が良いと思います。琵琶湖周航の歌のチャイムは残しておいていただくと大津市民として個人的に嬉しいです。トイレはできれば数を多目に、個室は広めに設置した方が市民の方も職員の方も双方にとって利便性が良くなると思います。最後に感染症対策、火災時に備えてしっかり換気、排煙できるようにしてください。新しい庁舎の整備については、限られた予算の中で様々なご意見があるかと思いますが、大津市が誇る庁舎になることを期待しております。

大津市役所の庁舎整備に関するアンケート

～アンケートをお願いするにあたり～



大津市役所庁舎（本館、新館、別館）のうち本館と別館は、耐震性能が不足しており、大規模な地震（震度6強～7程度）が起こった場合に、大きな被害（倒壊又は崩壊）が発生するおそれがあります。また、被災した場合には、来庁された市民の皆様や職員の安全性が確保できないだけでなく、災害活動やその後の復旧、復興にも支障をきたします。

本館と別館は耐震性能の課題に加えて、老朽化に伴い、大規模な修繕などの維持経費がかさむようになり、また、建築当時に比べて、志賀町との合併などにより業務が増えることで建物が手狭になり、市民の皆様が利用される窓口、待合のスペース、通路も十分に確保できない状況となっています。さらに、今般の新型コロナウイルス感染症対策という点でも十分なスペースが確保できない状況となっています。

機能面でも、障がいのある方やご高齢の方などに配慮したバリアフリーに一定対応しているもののご不便をおかけするような状況となっています。

このような課題を解決するために庁舎整備の検討を行ってまいりましたが、近年の地震が頻発している状況も踏まえて、大津市役所の庁舎整備の検討を今後より具体的に進めていくにあたり、『市役所庁舎の課題解決に向けた庁舎整備の考え方（5ページ）』をお示しした上で、無作為にお選びした一万の方を対象に、庁舎整備に対する市民の皆様のご意見を伺うことと致しました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですがご協力をお願い致します。

★『市役所庁舎の課題解決に向けた庁舎整備の考え方』の「移転建替え」、「移転候補地のエリア」などにつきましては、決定したものではありません。

まずは、市としての考え方をお示しした上で、市民の皆様にご意見をお伺いするものです。

★市役所庁舎の『現状』、『課題』、『市役所庁舎の課題解決に向けた庁舎整備の考え方』については、3～5ページをご覧ください。

★アンケートの回答方法は2ページをご覧ください。

★設問数は22問で、15分程度で回答いただけます。

【お問い合わせ先】

大津市役所総務部管財課 管理係

電話：077-528-2715（直通）

E-MAIL：otsu1204@city.otsu.lg.jp

～アンケートの回答方法について～

1 アンケートを回答いただくにあたり（情報提供）

(1) アンケートを回答いただくにあたり、次の資料を参考にしてください。

○3ページの『市役所庁舎および周辺の状況』

○4ページの『市役所庁舎の課題』

○5ページの『市役所庁舎の課題解決に向けた庁舎整備の考え方』

(2) 大津市ホームページに『庁舎整備の取り組み』に関する情報を掲載しています。

○大津市ホームページ

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/005/1204/g/choushaseibi/index.html>

検索 



2 回答方法

(1) アンケートは、必ずあて名の方がご記入ください。

※ご事情により、ご本人がご記入できない場合には、ご家族の方などがご本人の意思を反映してご記入ください。

※氏名の記入は必要ありません。

(2) ご記入は、ボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。

(3) お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。

(4) お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

(5) 同封の返信用封筒に「回答をご記入いただいたアンケート用紙」を入れて、
令和4年7月31日（日）までにお近くのポストにご投函ください。切手は不要です。

(6) インターネットでお答えいただくことも可能です。

アンケートはお手持ちのPCやスマートフォンから回答いただくことができます。

手順は別添ご協力の一助の「インターネットで回答いただく場合」をご参照ください。

※インターネット・アンケート用紙双方での回答は無効となりますのでご了承ください。

3 アンケートの記入やインターネットでの回答が困難な場合

別途対応させていただきますので「お問い合わせ先」までご連絡ください。

4 回答期限 令和4年7月31日（日） ※インターネットでの回答も同様です。

5 お問い合わせ先

アンケートに関すること、ご不明な点などのお問い合わせは下記あてにお願いします。

【担 当】大津市役所総務部管財課 管理係

電 話：077-528-2715（直通）

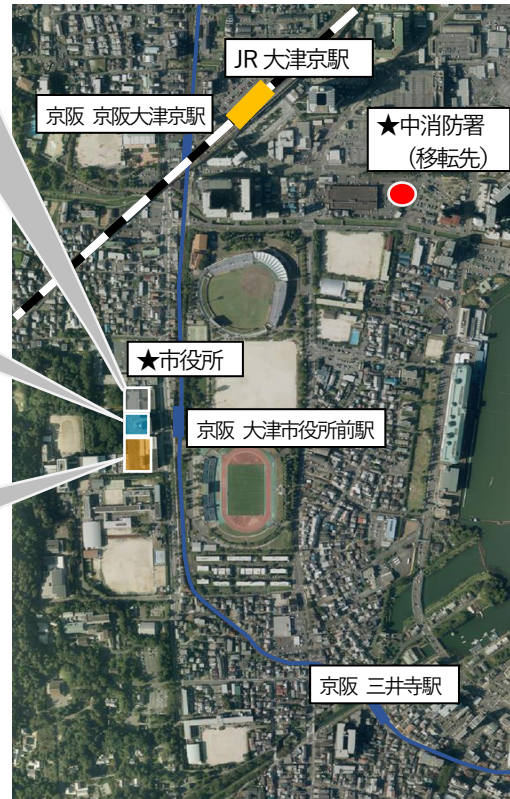
F A X：077-528-2626

E-MAIL：otsu1204@city.otsu.lg.jp

※電話による問い合わせ：平日（9：00～17：00）、土日祝を除く

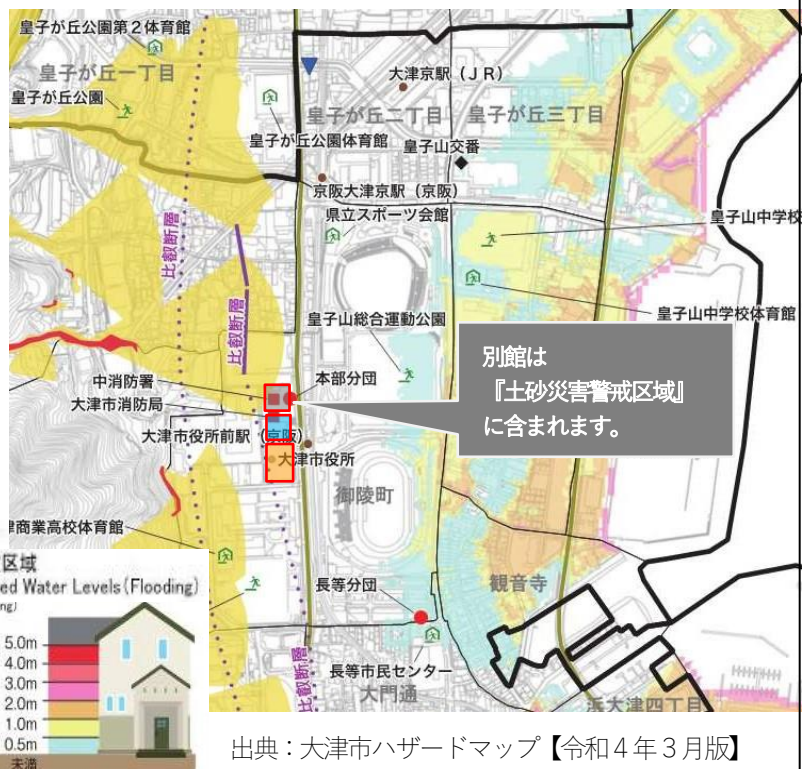
～市役所庁舎および周辺の状況～

	本 館	新 館	別 館
建築年月	昭和42年3月(築55年)	平成元年3月(築34年)	昭和46年4月(築51年)
階数	地上5階/地下1階	地上7階/地下1階	地上3階/地下1階
延床面積	15,160.41 m ²	10,947.81 m ²	6,250.54 m ²
建築面積	4,299.34 m ²	1,376.04 m ²	2,686.97 m ²
耐震性	×	○	×



凡 例
Legend

- 指定緊急避難場所
Emergency Evacuation Area
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
Emergency Evacuation Area and Evacuation Shelter (For Temporary Stay)
- 指定避難所
Evacuation Shelter (For Temporary Stay)
- 消防署
Fire Station
- 消防分団詰所
Fire Brigade Station
- 警察
Police Station
- 医療施設 (病院)
Medical Facility (Hospital)
- アンダーパス等
Underpass
- 土砂災害警戒区域
Sediment Disasters Caution Area
- 土砂災害特別警戒区域
Special Sediment Disasters Caution Area
- 地すべり防止区域
Landslide Prevention Area
- 活断層 (確実度Ⅰ)
Active Fault (Risk Factor 1)
- 活断層 (確実度Ⅱ)
Active Fault (Risk Factor 2)
- 活断層 (湖底)
Active Fault (Lake Bottom)
- 主要な道路 (国道・県道)
Main Route



出典：大津市ハザードマップ【令和4年3月版】

～市役所庁舎の課題～

- 1 大津市役所庁舎（本館、新館、別館）のうち、本館と別館の耐震性（地震に対する強さ）が不足しています。

大規模な地震（震度 6 強～7 程度）が起こった場合に、大きな被害（倒壊又は崩壊）が発生するおそれがあります。来庁された市民の皆様や職員の安全性が確保できないだけでなく、災害活動やその後の復旧、復興にも支障をきたします。

また、別館は土砂災害警戒区域に含まれるなど災害の危険性があります。

- 2 本館（築 55 年）、別館（築 51 年）の老朽化が進んでいます。

老朽化が進むことで、施設や設備の大規模な修繕が必要になり維持経費がかさむようになってい
ます。また、建築当時に比べて、障がいのある方やご高齢の方などに配慮したバリアフリーへの対応
が求められるようになり、一定対応しているもののご不便をおかけするような状況となっています。

- 3 執務スペースだけでなく市民の皆様にとっても狭く、窓口が分散し
わかりづらい、利用しにくい庁舎となっています。

建物が手狭なため、執務スペースだけでなく、市民の皆様が利用される窓口や待合のスペース、さ
らには、通路も十分に確保できない状況になっています。

また、窓口のある課の配置においても、利便性を考慮してまとまり良く配置することが困難となっ
ており、窓口が本館・新館・別館に分散しています。

○本館・別館の耐震診断結果と評価

平成 16 年（2004 年）に実施しました本館及び別館の耐震診断における、耐震性能を表す Is 値につい
ての評価です。

<Is 値の評価> 大規模な地震（震度 6 強～7 程度）に対する Is 値の評価

※国土交通省：「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針（H18.1）」

Is 値 0.6 以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する“危険性が低い”
Is 値 0.6 未満～0.3 以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する“危険性がある”
Is 値 0.3 未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する“危険性が高い”

⇒ 庁舎に求めている Is 値の目標は、0.9（構造体Ⅰ類「重要度係数 1.5」に相当）です。

<本館・別館の耐震診断結果（2004 年）>

本館（耐震診断結果：Is 値）		
階	南北方向	東西方向
5	0.31	0.35
4	0.12	0.16
3	0.14	0.18
2	0.14	0.19
1	0.10	0.15
B1	0.24	0.64

別館（耐震診断結果：Is 値）		
階	南北方向	東西方向
3	0.11	0.27
2	0.55	0.58
1	0.50	0.49
B1	0.65	0.68

～市役所庁舎の課題解決に向けた庁舎整備の考え方～

1 求められている市役所庁舎（コンセプト【仮】）について

- 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎
- 支所と連携した行政サービスネットワークの拠点としての庁舎
- 災害時に機能する防災拠点としての庁舎
- 環境に配慮した自然にやさしい庁舎

2 現在の市役所庁舎（本館・別館）の課題解決に向けて

本館の耐震化、免震化を行うことによる「コスト」や「市民の皆様の利便性向上」での優位性はなく、改修後の利用可能年数なども考慮し、耐震化、免震化は行わないことを基本に考えています。

臨時駐車場（隣接旧国有地）を活用して庁舎を建てる場合には、別館、北駐車場の解体、それに伴う仮庁舎の整備、駐車場の確保が必要となること、また、土砂災害の対策工事も必要となるなど課題が多いことから、現在地以外への移転建替えを基本に考えています。

移転建替えとすることで、土砂災害警戒区域に含まれない、災害のリスクが少ないエリアへ移転することができます。

3 現在の市役所庁舎（新館）の取り扱いについて

新館は新耐震基準を満たしていることから、今後も企業局を中心に活用することを基本に考えています。

4 移転候補地のエリアについて

移転候補地のエリアについては、「庁舎整備に必要な用地の確保の可能性」、「県庁や国の機関などとの行政機能の集約を意識した距離感」、「市域全域をカバーする行政サービスネットワークの拠点としての中心性」、「公共交通機関や幹線道路によるアクセス」、「災害リスクの状況」を総合的に判断し、『優先して検討するおおよその候補地』は現在の市役所すぐ東側にある『皇子山総合運動公園エリア』を考えています。他に、『おおよその候補地』として『皇子が丘公園エリア』、『大津駅・県庁周辺エリア』、『唐崎駅前エリア』も検討しています。

※庁舎整備を行う際に市民サービスに影響が生じないように、健全な財政運営、財源の確保に努めてまいります。

大津市役所の庁舎整備に関するアンケート

※ 当てはまる番号（数字）に○印をつけてください。

※ 選択肢の「その他」に回答された場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

◎はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

【問１】現在の年齢をお伺いします。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 | |

【問２】あなたのお住まいの地区についてお伺いします。 (いずれか1つ)

7. 北部（小松、木戸、和邇、小野）
8. 西北部（葛川、伊香立、真野、真野北、堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東）
9. 中北部（雄琴、坂本、日吉台、下阪本、唐崎）
10. 中部（滋賀、山中比叡平、藤尾、長等、逢坂、中央）
11. 中南部（平野、膳所、富士見、晴嵐）
12. 南部（石山、南郷、大石、田上）
13. 東部（上田上、青山、瀬田、瀬田北、瀬田南、瀬田東）



【問３】大津市に住まわれて通算何年になりますか。(いずれか1つ)

1. 1年未満
2. 1～5年未満
3. 5～10年未満
4. 10～20年未満
5. 20年以上

【問４】あなたのご職業についてお伺いします。(いずれか1つ)

1. 会社員
2. 公務員
3. 自営業・自由業
4. 農業・漁業・林業
5. パート・アルバイト
6. 家事専業
7. 学生（高校・大学・専門学校）
8. 無職
9. その他（ ）

◎市役所や支所の利用状況についておたずねします。

＜市役所の利用状況について＞

【問5】 この1年で『市役所』を利用されたことがありますか。(いずれか1つ)

- 3. ある ⇒ 【問6】 へお進みください
- 4. ない ⇒ 【問11】 へお進みください

【問6】 どのくらいの頻度で市役所を利用されていますか。(最も近いと思うもの1つ)

- 1. ほぼ毎日来ている
- 2. ほぼ毎週1回は来ている
- 3. ほぼ毎月1回程度は来ている
- 4. ほぼ毎年1回～2回程度は来ている
- 5. 数年に1回程度など、ほとんど来ることはない

【問7】 市役所を利用される際に、一番よく利用される交通手段をお伺いします。
(いずれか1つ)

- 1. 自家用車 2. バス 3. JR 4. 京阪電車 5. タクシー 6. バイク 7. 自転車
- 8. 徒歩 9. その他(具体的にお書きください:)

【問8】 どのような用件で市役所を訪れましたか。（複数選択可）

＜個人的な要件＞

1. マイナンバーカード（交付・受取）
2. 戸籍、住民票、印鑑証明など
3. 税金の申告、納付、相談、証明など
4. 国民健康保険・国民年金の届出など
5. 介護保険の届出など
6. 障害者支援の相談、手続きなど
7. 生活保護の相談、手続きなど
8. 幼児の保育、子育て支援に関すること
9. 市営住宅に関すること
10. 学校の手続きや教育相談に関すること
11. 自治会や地域活動の相談に関すること
12. その他（具体的にお書きください：)

＜仕事などの要件＞

13. 仕事などの用件（よく訪問する部署と用件をお伺いします。上位4つまで）

(部署 _____ / 要件 _____)

(部署 / 要件)

(部署 / 要件)

(部署 _____ / 用件 _____)

【問 9】 これまで市役所を利用された際に、施設面や環境面でご不満・ご不便を感じたことについてお伺いします。(複数選択可)

1. 駐車場が足りない
 2. 駐車スペースが狭く駐めにくい
 3. 目的の窓口や部署がどこにあるかわかりにくい
 4. 一つの窓口で用件が済まず、何か所も回らなければならない
 5. 待合スペースや通路が狭い
 6. 階段や段差が多く、ご高齢の方、障がいのある方などへの配慮が足りない(バリアフリー対応)
 7. トイレやバリアフリースイートの場所がわからない
 8. 窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない
 9. 授乳室、ベビーベッドなど乳幼児に対する設備が足りない
 10. 庁舎内の空調が悪く、寒いときや暑いときがある
 11. 市民が気軽に会議や打合せなどで利用できる場所がない
 12. 友人などと時間を過ごせる場所(喫茶店・食堂など)、気軽に休憩できる場所がない(少ない)
 13. 立地場所が悪い
 14. 公共交通の便が悪い
 15. 庁舎内が暗い、汚れている
 16. 特に不満や不便を感じたことはない
 17. その他の困ったこと
- (具体的にお書きください:)

【問 10】 支所ではなく市役所を利用される場合の理由をお伺いします。(複数選択可)

1. 支所ではなく市役所でしかできない目的があったから
2. 支所で手続きが完了せず市役所に行くことになったから
3. 支所ではできること、できないことが不明だったため、市役所の方が良いと考えたから
4. その他(具体的にお書きください:)

＜支所の利用状況について＞

【問 11】 この1年で『支所』を利用されたことがありますか。(いずれか1つ)

1. ある ⇒ 【問 12】 へお進みください
(どこの支所を利用されましたか。支所名:)
2. ない ⇒ 【問 13】 へお進みください

【問 12】 市役所ではなく支所を利用される場合の理由をお伺いします。(複数選択可)

1. 最寄りの支所で用件が済むから
2. 最寄りの支所は相談しやすいから
3. 市役所は遠くアクセスしづらいから
4. その他(具体的にお書きください:)

<デジタル化した市役所サービスの利用について>

【問１３】 オンライン手続き、キャッシュレス、LINE チャットなど、デジタル化した市民サービスは利用されていますか。(いずれか１つ)

1. 利用している ⇒【問１４】へお進みください
2. 利用していない ⇒【問１５】へお進みください
3. 今は利用していないが、今後利用してみたいと考えている⇒【問１５】へお進みください。
4. わからない ⇒【問１５】へお進みください

【問１４】 デジタル化した市民サービスの利用で市役所や支所に行く回数は減りましたか。(いずれか１つ)

1. 減った
2. あまり変わらない

【問１５】 今後、市民サービスのデジタル化がさらに進むことで、市役所や支所へ行く回数が減ることに対して期待しますか。(いずれか１つ)

1. 市役所や支所へ行く回数が減ると考えている
2. 市役所や支所へ行く回数は減らないと考えている
3. 市役所に行かなくても支所でできることが増えれば良いと考えている
4. わからない
5. その他 ()

◎市役所庁舎の整備の『必要性』・『重要視すること』・『求める機能』についておたずねします。

【問１６】 今後、市役所庁舎の整備を進めていくことを前提にアンケートに回答いただいています。改めて、その必要性に対するお考えをお伺いします。(いずれか１つ)

1. 現在の市役所庁舎の状況を踏まえても、新たに庁舎を整備する必要はない
⇒【問１７】へお進みください
2. 現在の市役所庁舎の状況を踏まえると、新たに庁舎を整備する必要がある
⇒【問１８】へお進みください

※市役所庁舎の整備は次の点から必要と考えています。(P 4 参照)

○本館・別館は耐震性能が不足していて、大規模な地震(震度6強～7程度)が起こった場合に、大きな被害(倒壊又は崩壊)が発生するおそれがあります。

○老朽化が進むことで、施設や設備の大規模な修繕が必要になり維持経費がかさむようになり、また、障がいのある方や高齢の方などに配慮したバリアフリーに一定対応しているもののご不便をおかけするような状況となっています。

○執務スペースだけでなく市民の皆様にとっても狭く、窓口が分散しわかりづらい、利用しにくい庁舎となっています。

【問 17】 市役所庁舎を整備する必要性がないと思う理由をお伺いします。(いずれか1つ)

1. 現在の市役所庁舎の状況に対して、整備を行う必要があるとは感じられない
2. 現在の市役所庁舎の状況は理解し、いずれ必要と感じているが、今は必要性を感じられない
3. 現在の市役所庁舎の状況は理解できるが、他の事業に優先して税金を使う方がいいと考えている
4. その他（具体的にお書きください）

⇒ **【その他】**：『庁舎整備について、ご意見／ご提案を自由に記入してください。』

へお進みください （16ページ）

※【問16】で『2：現在の市役所庁舎の状況を踏まえると、新たに庁舎を整備する必要がある』を選択された方は、次のページの【問18】以降にお進みください。⇒

【問 18】 市役所庁舎を整備する際にあなたが重要視することについてお伺いします。
(最大5つ)

1. 市民サービスの向上（総合案内、総合窓口、駐車場、トイレなど）
2. 市民が親しみやすく利用しやすい
3. 公共交通機関でのアクセスがよい
4. 自然災害に強く、災害時に機能する防災拠点
5. 環境に配慮した自然にやさしい再生可能エネルギーの活用やカーボンニュートラル（CO2 排出削減）の取組
6. 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション: デジタルに不慣れな方でも誰もがデジタル化の恩恵を受けることができる、人に優しいデジタル化社会の実現）の推進
7. 支所との連携強化による市民サービスの向上
8. 庁舎整備の費用だけでなく、将来の維持管理費用も抑制すること
9. 早期の建設が可能な方法で整備すること
10. 周辺の街並みや景観と調和した外観の建物であること
11. 周辺に緑地や広場が確保できること
12. 移転を機に、現在分散している部署（保健所など）を集約、再編成するなど利便性を向上させること
（具体的な部署をお書きください： ）
13. 移転を機に、他の公共施設（ホール、スポーツ施設、文化施設など）を庁舎と複合化し集約することで利便性を向上させること
（具体的な公共施設をお書きください： ）
14. わからない
15. その他（具体的にお書きください： ）



【問１９】 【問１８】で答えいただいた内容に関連して、より具体的に、市役所庁舎を整備する際に求める機能（施設）について伺います。（最大５つ）

1. 総合窓口の整備（窓口業務を1階に集約／ワンストップサービス）
2. わかりやすい窓口の配置
3. 窓口でのキャッシュレス化
4. プライバシー保護に配慮した窓口（相談室などの設置）
5. 総合案内、総合受付の充実
6. 気軽に相談できる相談窓口
7. 建物内のわかりやすい案内（サイン）
8. 市役所に行かなくても、支所やオンラインで用件が済むような環境整備
9. 障がいのある方やご高齢の方が利用しやすい
10. 充実したバリアフリー対応
11. 感染症対策など衛生面に配慮した設備の充実
12. 授乳室やキッズスペースなどの設置
13. 利用しやすい駐車場
14. 電気自動車のチャージ設備
15. 休憩や待合せに利用できるスペース
16. カフェ、食堂などの飲食スペース
17. 屋内のイベントスペース
18. 屋外のイベントスペース
19. 市民交流、市民活動スペース
20. 行政や議会の情報公開コーナー
21. コンビニ、ＡＴＭコーナー
22. 郵便局、銀行
23. その他（具体的にお書きください）

◎市役所庁舎の『移転候補地のエリア』について具体的におたずねします。

【問２０】市役所庁舎を整備する際の立地場所について、重要視することについてお伺いします。（複数選択可）

1. 鉄道やバスなどの公共交通機関で来庁しやすいこと
2. 車でのアクセスがよく、駐めやすい駐車場が十分に確保されていること
3. 敷地の広さにゆとりがあり、防災広場などが十分確保できること
4. 災害の影響が少なく、災害時に庁舎機能を維持し続けることができること
5. まちづくりや賑わいの創出などに寄与できること
6. わからない
7. その他（ ）

【問 2 1】市役所庁舎を整備する移転候補地のエリアについて、『優先して検討するおおよその候補地』は現位置周辺の『②皇子山総合運動公園エリア』を考えています。他に、『おおよその候補地』として『①皇子が丘公園エリア』、『③大津駅・県庁周辺エリア』、『④唐崎駅前エリア』も検討しています。

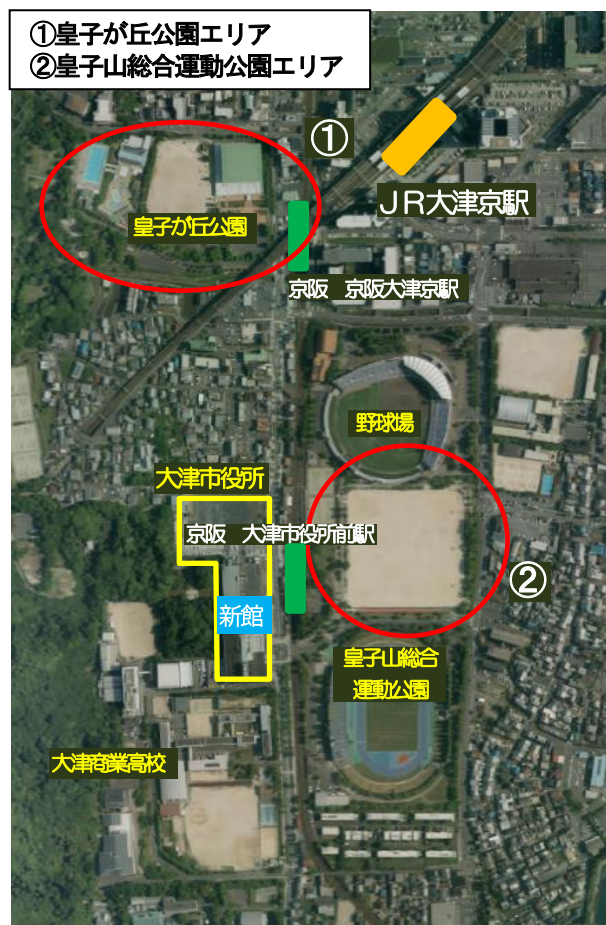
どの場所が候補地のエリアとして望ましいかお伺いします。(いずれか1つ)

1. ①皇子が丘公園エリア/※公園の一部を想定しています。
2. ②皇子山総合運動公園エリア/※公園の一部を想定しています。
3. ③大津駅・県庁周辺エリア/※具体的な場所は検討中です。
4. ④唐崎駅前エリア/※駅前の更地を想定しています。
5. その他 ※図のエリア以外でも構いません。

○「優先して検討を行うおおよその候補地」、「おおよその候補地」をお示した上で、
まずは、市民の皆様のご意見を伺うものです。

○実際に、各エリアで庁舎整備を行う場合には、具体的な場所の設定、用地の取得、様々な条件や課題の整理が必要となりますので、確定したものではありません。

	①皇子が丘公園エリア	②皇子山総合運動公園エリア	③大津駅・県庁周辺エリア	④唐崎駅前エリア
立地場所	・「JR 大津京駅」、「京阪 大津京駅」に近い場所です。 ・今後も活用する予定の新館から少し離れた場所です。	・現在の市役所のすぐ東側で「京阪 大津市役所前駅」に隣接する場所です。 ・今後も活用する予定の新館に近い場所です。	・「JR 大津駅」と県庁を中心とした周辺の場所です。 ・県庁には近いですが、今後も活用する予定の新館から離れています。	・「JR 唐崎駅」のすぐ前にある場所です。 ・県庁や今後も活用する予定の新館から離れています。
備考	・公園の一部に庁舎を整備することで、一部使えなくなりますが、代わりとなる公園の設置を検討します。 ・一部土砂災害警戒区域に含まれています。	・公園の一部に庁舎を整備することで、一部使えなくなりますが、代わりとなる公園の設置を検討します。	・庁舎整備の場所の確保が難しく、具体的な場所は検討中です。	



○皇子が丘公園（大津市皇子が丘一丁目）

皇子が丘公園は本市を代表する6つの都市基幹公園のうちの一つであり、市民のレクリエーションやスポーツの拠点として、また、憩いの場として親しまれています。

【公園開設年】 昭和36年

【公園施設の種類】 総合公園

【公園面積】 16.1ha

【公園施設（代表的なもの）】

第一体育館、第二体育館、テニスコート、50m プール、温水プール、弓道場

【備 考】

大津市地域防災計画に基づく指定緊急避難場所（皇子が丘公園全体）、皇子が丘公園体育館と同公園第2体育館が指定避難所に指定されています。

○皇子山総合運動公園（大津市御陵町）

皇子山総合運動公園は本市を代表する6つの都市基幹公園のうちの一つであり、県民・市民のスポーツの拠点として広く利用されており、その中でも、野球場及び陸上競技場においては、滋賀県を代表する運動施設であります。

【公園開設年】 昭和34年

【公園施設の種類】 運動公園

【公園面積】 15.1ha

【公園施設（代表的なもの）】

野球場（硬式野球公式戦開催可能球場）、陸上競技場（日本陸上競技連盟公認競技場）
テニスコート、多目的グラウンド

【備 考】

大津市地域防災計画に基づく指定緊急避難場所（皇子山総合運動公園全体）に指定されています。

※次のページの【問22】にお進みください。⇒

◎現在の市役所庁舎（本館・別館）についておたずねします。

【問 2 2】現在の市役所庁舎（本館・別館）は佐藤武夫氏が設計を手掛けたものであり、2016 年に『日本におけるモダン・ムーブメントの建築 197 選（DOCOMOMO Japan）』に選定され、一般社団法人日本建築学会から選定建物の歴史的価値の継承と保全について要望がありましたが、耐震工事や免震工事を行い市役所庁舎として使い続けることは、多額の費用を掛けても利便性が向上しないことから、移転建替えを基本に検討しています。庁舎整備を行う際に、本館、別館の建物の今後の取り扱いについてお伺いします。

（いずれか 1 つ）

1. 新庁舎整備を機に解体する

※記憶や記録を継承していくための資料（アーカイブ）の保存については、今後検討を行います。

2. 費用は掛かるが耐震化を行い、市役所庁舎以外の用途で利用できるようにする

3. どちらともいえない

※「DOCOMOMO Japan」

モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成に記録調査および保存のための国際組織の日本支部

【その他】 庁舎整備について、ご意見／ご提案を自由に記入してください。

※アンケートは以上で終わりです。

※ご協力ありがとうございました。



【お問い合わせ先】

大津市役所総務部管財課 管理係

電 話：077-528-2715（直通）

E-MAIL：otsu1204@city.otsu.lg.jp